

2021.08.06 作成

2021 年 7 月分新聞書評



闇の盾～政界・警察・芸能界の守り神と呼ばれた男～

寺尾 文孝 著

講談社

人知れず「権力者」たちが処理してきた事件、トラブルの数々。その陰には必ず、この男がいた。危機管理会社・日本リスクコントロール社長の寺尾文孝が、闇に包まれていた仕事の全てを明かす。

2021/6./ 350p

978-4-06-523878-3

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/07/03



キリギリスのしあわせ

トーン・テレヘン 著

新潮社

森のはずれのキリギリスの店には、今日もまたどうぶつたちがやってくる。誰のことも失望させたくないキリギリスは、なんでも取り揃えてどうぶつたちを迎える。大人のための<どうぶつ物語>。

2021/4./ 158p

978-4-10-506993-3

本体 ¥1,430〔税込〕



産経新聞 2021/07/03



ふたつのドイツ国鉄～東西分断と長い戦後の物語～(人文知の復興 2)

?澤 歩 著

NTT出版

ドイツ国鉄・ライヒスバーンは、第二次世界大戦後の東西ドイツ分断の時代、西ドイツ国鉄と東ドイツ国鉄にわかれ、それぞれの道を歩む。ふたつの大組織の変遷と、鉄道に人生をかけた人々のドラマを克明に描く。

2021/3./ 268p

978-4-7571-4358-6

本体 ¥2,860〔税込〕



産経新聞 2021/07/04



わたしのかみがた

樋勝 朋巳 著

ブロンズ新社

わたしの髪型についてお話しします。帽子をとると、三つ編みをたくさん編んで、上にくるくるっとのせてみた髪型なの。びっくりした? わたしはこの髪型がとっても気に入っているの。どうしてこの髪型になったかという...。

2021/6./ 1 冊(ページ
付なし)

978-4-89309-692-0

本体 ¥1,430〔税込〕



産経新聞 2021/07/04

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は 2021 年 5 月時点での税込み価格です。



「脱炭素」は?だらけ

杉山大志 著
産経新聞出版

予算と権限を持つ省庁、補助金に群がる企業、温暖化で災厄が起きるといふ「成果」を発表する研究者、ホラー話に仕立てて儲けるメディア…。IPCC や日本政府の審議会 で委員を務める著者が「脱炭素」のあらゆる欺瞞を暴く。

産経新聞 2021/07/04

2021:6./ 283p
978-4-8191-1399-1
本体 ¥1,540〔税込〕



三人の女たちの抗えない欲望

リサ・タッデオ 著
早川書房

高校時代に恋愛関係だった教師に裏切られたマギー、夫の望みで夫婦以外を交えた性生活を送るスローン、夫との別居を決意したところで高校時代の恋人に再会したリナ。8年越しの取材で女性のリアルを描いたノンフィクション。

産経新聞 2021/07/04

2021:3./ 423p
978-4-15-210008-5
本体 ¥2,640〔税込〕



アルプスの少女ハイジ(光文社古典新訳文庫 KA シ 11-1)

ヨハンナ・シュピリ 著
光文社

両親を亡くした少女ハイジは、アルプスの山小屋で暮らす祖父のもとに預けられ、山の生活を満喫。だが、足の不自由な令嬢の遊び相手を務めるため、都会の裕福な家に住み込むことに…。スイス文学の名作の新訳。挿絵も多数収録。

産経新聞 2021/07/04

2021:6./ 651p
978-4-334-75445-7
本体 ¥1,540〔税込〕



黒牢城～Arioka Citadel case～

米澤 穂信 著
KADOKAWA

織田信長に叛旗を翻して有岡城に立て籠もった荒木村重は難事件に翻弄される。村重は、土牢の囚人にして織田方の軍師・黒田官兵衛に謎を解くよう求めた。事件の裏には何が潜むのか。『カドブンノベル』他掲載に加筆修正。

産経新聞 2021/07/04、朝日新聞 2021/07/25

2021:6./ 445p
978-4-04-111393-6
本体 ¥1,760〔税込〕



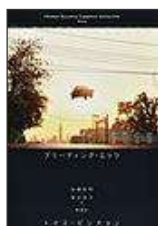
生老病死

山折 哲雄 著
KADOKAWA

生き恥をさらすか、晩節を汚すか。日本を代表する宗教研究者が、みずからの心身に向き合いつつ、「その時」へと向かう日々のなかで綴る、円熟のエッセイ。『朝日新聞』土曜版 bc 連載を書籍化。

産経新聞 2021/07/04、東京・中日新聞 2021/07/04、読売新聞 2021/07/04

2021:5./ 245p
978-4-04-400654-9
本体 ¥1,540〔税込〕



フリーディング・エッジ(Thomas Pynchon Complete Collection 2013)

トマス・ピンチョン 著
新潮社

2001 年春、マンハッタン。企業の不正会計調査を生業とするマキシーンがひょんなことから覗き込んだネットの深部には、あまりにも危険なテロの予兆が…。運命の9月11日を挟んで、マキシーンとその家族たちの1年を描く。

産経新聞 2021/07/04、日本経済新聞 2021/07/17

2021:5./ 701p
978-4-10-537214-9
本体 ¥4,510〔税込〕





室町は今日もハードボイルド〜日本中世のアナーキーな世界〜

清水 克行 著
新潮社

僧侶は武士を呪い殺し、農民は合戦を繰り広げ、浮気された妻は相手の女を襲撃-。中世の日本人は実は凶暴でアナーキーだった! 自力救済、信仰等を主題に、中世人の衝撃的な逸話の数々を紹介。『小説新潮』連載を加筆・修正。

2021:6./ 253p
978-4-10-354161-5
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/07/04、毎日新聞 2021/07/24



ひとりでおとまり(こどものとも絵本)

まるやま あやこ 著
福音館書店

はじめて、友だちの家におとまりすることになった、6 才のまり。お部屋で遊んだり、2 人だけでお風呂に入ったり、楽しいことがいっぱい! でもちょっぴり不安になることも...。「はじめてのおとまり」をみずみずしく描く。

2019:10./ 31p
978-4-8340-8504-4
本体 ¥990〔税込〕



産経新聞 2021/07/08



世阿弥最後の花

藤沢 周 著
河出書房新社

永享6年、幽玄の美で室町の世を瞠目させた72歳の世阿弥元清が、咎なくして佐渡へと流された。彼の地でどう生き、何を見つけたのか。最晩年に到達した至高の舞いと、秘められた「まことの花」の謎と真実に迫る物語。

2021:6./ 353p
978-4-309-02968-9
本体 ¥2,200〔税込〕



産経新聞 2021/07/10



論語入門〜心の安らぎに〜

加地 伸行 著
幻冬舎

リーダーとは何か? 死といかに向き合うか? 理不尽の世をどう生きるか? 世界の見方を豊かにするために、論語の読み方と論語を通して見た世界を丁寧に解説する。

2021:6./ 249p
978-4-344-03692-5
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/07/11



災害とたたかう大名たち(角川選書 651)

藤田 達生 著
KADOKAWA

地震、火事、水害、干魃、疫病...。度重なる危機に、江戸時代の大名たちはどう立ち向かったのか。幕府安定化に尽力した外様大藩・藤堂藩の記録を中心に、藩がいかに領民を守っていたのかを読み解く。

2021:4./ 252p
978-4-04-703708-3
本体 ¥1,870〔税込〕



産経新聞 2021/07/11



江戸東京ご利益事典

長沢利明 著
笠間書院

東京都内にある民間信仰・庶民信仰の対象としての「ご利益神仏」を 638 取り上げ、その効験とご利益、信仰の生まれた歴史的経緯などをわかりやすく解説する。地域別、ご利益別、祭神・本尊別索引付き。

2021:6./ 504p
978-4-305-70942-4
本体 ¥2,530〔税込〕



産経新聞 2021/07/11



シャルル・ドゴール～歴史を見つめた反逆者～

ミシェル・ヴィノック 著

作品社

フランスに大統領を中心とする強力な行政府を持つ体制を実現させたシャルル・ドゴール。2度の危機(対独戦の敗北、アルジェリア戦争)と度重なる暗殺をくぐり抜けたその生涯を、重要な歴史の転換点に絞って活写する。

2021:7./ 214p

978-4-86182-857-7

本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/07/11



マルチの子

西尾潤 著

徳間書店

夢を持てず毎日を過ごしていた真瑠子は、ある日「磁力と健康セミナー・無料開催」という貼り紙を目にする。それは地獄への扉だった。マルチ商法にハマった女性の“乱高下人生”をリアルに描く、ノンストップサスペンス。

2021:6./ 429p

978-4-19-865301-9

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/07/11



クローズアップ藝大(河出新書 031)

国谷 裕子／東京藝術大学 著

河出書房新社

芸術家の創造の源とは。学生や社会に何を伝えようとしているのか。国谷裕子が東京藝術大学で教鞭をとる芸術家&専門家にインタビューし、芸術の可能性に迫る。東京藝術大学ホームページ連載「クローズアップ藝大」を書籍化。

2021:5./ 311p

978-4-309-63132-5

本体 ¥990〔税込〕



産経新聞 2021/07/11



西成で生きる～この街に生きる 14 人の素顔～

花田 庚彦 著

彩図社

西成とは大阪市西成区の北部にある萩之茶屋、太子、山王、天下茶屋北、花園北を中心とした小さい地域のこと。そこに暮らす 2 万 5 千人以上の人たちを陰で支えるドヤ管理人、看護師など 14 人を取り上げ、その素顔と本音に迫る。

2021:3./ 287p

978-4-8013-0514-4

本体 ¥1,650〔税込〕



産経新聞 2021/07/11



緊急事態 TOKYO1964～聖火台へのカウントダウン～

夫馬 信一 著

みずき書林

1964 年の東京オリンピック。その開会式までの数か月、関係者に苦難と混乱が次から次へと降りかかった。開会式当日の聖火ランナー 10 人を中心に、様々な人間模様と知られざる事実を、未発表写真や貴重な証言を交えて綴る。

2021:6./ 301p

978-4-909710-18-5

本体 ¥3,080〔税込〕



産経新聞 2021/07/11



本当の自由を手に入れるお金の大学

両@リベ大学長 著

朝日新聞出版

「貯める・稼ぐ・増やす・守る・使う」という、お金にまつわる 5 つの力を鍛えて、自由な生活を手に入れよう! 月 10 万円の節約の仕方、年収 100 万円アップの秘訣など、お金の悩みを解決する方法を伝授する。

2020:6./ 269p

978-4-02-331878-6

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/07/17



本当はごはんを作るのが好きなのに、しんどくなった人たちへ

コウケンテツ 著

ぴあ

今日ではもう、作る気力も体力も残っていない。それでも作らなければならなくてしんどい…。そんな「おうちごはんを作る人」の気持ちに寄り添った書き下ろしエッセイ集。料理が本当に楽になる実用レシピも紹介する。

2020/9./ 189p

978-4-8356-3982-6

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/07/17



エンジョイ!終活

菊田 あや子 著

幻冬舎メディアコンサルティング

終活は人生を謳歌するために必要な明るく前向きなもの。母親の介護と看取りで実感した終活の大切さを紹介しながら、具体的な終活や理想の人生終いについて語る。Q&Aも収録。

2021/6./ 182p

978-4-344-93269-2

本体 ¥880〔税込〕



産経新聞 2021/07/18



哀愁 1964年東京五輪三つの物語〜マラソン、柔道、体操で交錯した人間ドラマとその後〜

別府育郎 著

ベースボールマガジン社

1964年、終戦の混乱からわずか19年の東京で開催されたオリンピック。円谷幸吉と君原健二、神永昭夫と猪熊功、ベラ・チャスラフスカと遠藤幸雄。昭和の東京五輪に関わった人々の証言や物語を新聞記者が伝える。

2021/6./ 166p

978-4-583-11380-7

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/07/18



世界自然遺産やんばる〜希少生物の宝庫・沖縄島北部〜(朝日新書 822)

湊和雄／宮竹貴久 著

朝日新聞出版

世界自然遺産へ。世界的な希少生物の宝庫である沖縄島北部・やんばる(山原)。ヤンバルクイナなどの天然記念物から、そこにしかない固有種まで、美しいビジュアルとともに彼らの特異性の進化と生態を紹介する。

2021/7./ 191p

978-4-02-295075-8

本体 ¥1,100〔税込〕



産経新聞 2021/07/18



誰があなたを護るのか〜不安の時代の皇〜

青山繁晴 著

扶桑社

126代にわたって続いている日本の天皇陛下。だが、母系の皇位継承を行うと、天皇家ではない天皇陛下が即位されることになる。日本の至宝を護るために理解しておかねばならないことを、ストーリーマンガを通して丁寧に説く。

2021/6./ 220p

978-4-594-08840-8

本体 ¥1,760〔税込〕



産経新聞 2021/07/18



母

青木 さやか 著

中央公論新社

嫌いな母から逃げるように飛び出した東京、タバコ、パチンコ、男、“笑い”の先輩、そして、自分より大事な存在となった娘…。こじれた人生をほどいていく、ヒューマンストーリー。WEB『婦人公論 jp』連載を加筆し書籍化。

2021/5./ 261p

978-4-12-005431-0

本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/07/18



河合隼雄～物語とたましい～(STANDARD BOOKS)

河合 隼雄 著
平凡社

人の心などわかるはずがない。100%正しい忠告はまず役に立たない。灯を消す方がよく見えることがある…。心理療法の第一人者・河合隼雄が、人間の不思議と豊かさを語る。河合隼雄をもっと知るためのブックガイドも掲載。

2021.5./ 219p
978-4-582-53179-4
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/07/18、東京・中日新聞 2021/07/25



50 歳になりまして

光浦 靖子 著
文藝春秋

50 歳目前にカナダ留学を決心した著者。そこへコロナパンデミックがやってきて…。コロナ禍での変化や更年期のとまどいなどを綴った書き下ろしエッセイ集。『文藝春秋』掲載の「留学の話」も収録。

2021.5./ 206p
978-4-16-391378-0
本体 ¥1,485〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



がっかり妖怪大図鑑～情けなくてかわいいから、もっと好きになる!～

村上 健司 著
誠文堂新光社

人に〇〇〇を食わせるリングのお化け? 化けタヌキなのにおんぶ好き? アマビエのそっくりさん? 有名な妖怪から、あまり知られていない妖怪まで、がっかり妖怪たちをイラストとともに紹介します。

2021.7./ 191p
978-4-416-52196-0
本体 ¥1,320〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



ビア・マーグス～ビールに魅せられた修道士～

ギュンター・テメス 著
サウザンブックス社

貧しい農民の子ニクラスは、修道士となりビール造りに励む。教皇も一目置く<ビールの魔術師>と呼ばれるまでになった彼に敵意を燃やし、執拗に命を狙う者が…。中世修道院でのビール醸造をめぐる物語。

2021.7./ 397p
978-4-909125-28-6
本体 ¥2,640〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



読んでほしい

おぎす シングレ 著
幻冬舎

長年の目標だった、長編小説をついに書き上げた。誰かに、読んでほしい。誰でもいいから、読んでほしい。誰に会っても、自分の話を切り出せない。この小説は、誰かに読んでもらえる日が来るのだろうか!?

2021.7./ 238p
978-4-344-03796-0
本体 ¥1,540〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



「ポスト・アメリカニズム」の世紀～転換期のキリスト教文明～(筑摩選書 0212)

藤本 龍児 著
筑摩書房

現代社会を突き動かす「総かり立て体制」と、社会に底流し続け、時に政治をも動かす宗教。この 2 つの視座から、現代世界を主導してきたアメリカ文明に光を当て、「ポスト・アメリカニズム」の世紀を展望する。

2021.5./ 394p
978-4-480-01730-7
本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



淀川長治映画ベスト 1000 決定版新装版

岡田 喜一郎 編

淀川 長治 著

河出書房新社

映画の伝道師・淀川長治が愛した洋画・邦画のオールタイム・ベスト 1000 を完全網羅。映画愛に貫かれた、1 作品 300 字の映画鑑賞事典。1948?1997 のベスト 10 付き。DVD、BD の最新情報も掲載する。

2021:4./ 393p

978-4-309-29138-3

本体 ¥3,135〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



祈り〜上皇后・美智子さまと歌人・五島美代子〜

濱田 美枝子／岩田 真治 著

藤原書店

美智子さまの歌の指導をし、初めて胎動を歌に詠んだ“母の歌人”五島美代子の生涯を、研究の第一人者が綴る。さらに NHK ディレクターが、上皇后・美智子さまの類稀な御歌の世界を、その激動の歩みを辿りつつ紹介する。

2021:6./ 402p

978-4-86578-307-0

本体 ¥2,970〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



ヒトコブラクダ層ぜっと<下>

万城目 学 著

幻冬舎

自衛隊 PKO 部隊の一員としてイラクに派遣された三つ子。彼らを待ち構えていたのは砂漠の底に潜む巨大な秘密、そして絶体絶命の大ピンチだった! ジェットコースターエンターテインメント。『小説幻冬』掲載を加筆修正。

2021:6./ 490p

978-4-344-03800-4

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



水と踊れ

岩井 圭也 著

新潮社

亡き恋人の幻影に導かれ、瀬戸和志は交換留学生として再び香港の地を踏んだ。さまざまな出会いを経て、次第に浮かび上がる都市の実相、そして恋人の過去。<帰郷>の時が近づく中、和志は民主化運動の狂騒へ引きずり込まれ...

2021:6./ 398p

978-4-10-354131-8

本体 ¥2,420〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



ヒトコブラクダ層ぜっと<上>

万城目 学 著

幻冬舎

貴金属泥棒で大金を手にした三つ子の前に、ライオンを連れた謎の女が現れた時、彼らの運命は急転する。砂漠の地で三つ子が目撃する驚愕の展開とは!? ジェットコースターエンターテインメント。『小説幻冬』掲載を加筆修正。

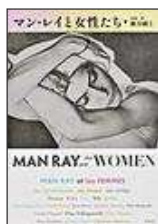
2021:6./ 445p

978-4-344-03799-1

本体 ¥1,980〔税込〕



産経新聞 2021/07/25



マン・レイと女性たち

平凡社

20 世紀を代表する万能の写真家マン・レイ。自由に生きたミューズたちとの交流から、天才の生涯と豊かな作品世界を浮かび上がらせる。Bunkamura ザ・ミュージアム等開催の同名展覧会の図録。

2021:7./ 271p

978-4-582-20722-4

本体 ¥2,750〔税込〕



産経新聞 2021/07/31



象の皮膚

佐藤 厚志 著

新潮社

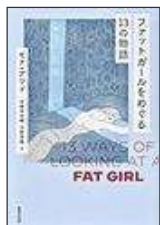
非正規雇用、学校のいじめ、カスタマーハラスメント、そして東日本大震災…。アトピーの痒みに支配された女性書店員・五十嵐凛の生きづらい日常を、圧倒的リアリティで描く。『新潮』掲載を書籍化。

朝日新聞 2021/06/30

2021.6./ 140p

978-4-10-354111-0

本体 ¥1,650〔税込〕



ファットガールをめぐる13の物語

モナ・アワド 著

書肆侃侃房

自分の体のサイズをめぐる悩みを抱えるエリザベスは、同じようなコンプレックスをもつ女性たちとも関わって生きている。ダイエットに取り組み、彼女は次第に?せていくのだが…。モナ・アワドのデビュー作。

朝日新聞 2021/06/30

2021.5./ 283p

978-4-86385-461-1

本体 ¥1,980〔税込〕



問題=物質(マター)となる身体〜「セックス」の言説的境界について〜

ジュディス・バトラー 著

以文社

ジェンダーと同じく、セックスは言説によって構築されるものなのか。そのとき身体の物質性はいかに理解されるのか。セックス、ジェンダー、人種、クィアをめぐる身体の物質性を問題化した、「ジェンダー・トラブル」に続く書。

朝日新聞 2021/06/30

2021.5./ 18p,425p

978-4-7531-0362-1

本体 ¥4,620〔税込〕



坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

朝日新聞 2021/07/03

1999.1./ 350p

978-4-16-710576-1

本体 ¥803〔税込〕



ロジックツリー<下>(WINGS COMICS)

雁須磨子 著

新書館

兄と同じ相手を好きになったり、同級生から告白されたり、慣れぬ恋愛に悩む螢(けい)。だが、高校卒業後に出会った不器用な新人小説家・小関がどうにも放っておけなくなり……。胸に沁み入る完結巻！

朝日新聞 2021/07/03

2021.5./ 219p

978-4-403-62323-3

本体 ¥759〔税込〕



ロジックツリー<上>(WINGS COMICS)

雁須磨子 著

新書館

8人兄弟の5番目で苦労性の次女・螢(けい)は、兄弟に振り回される日々。そんな中、次兄の同級生である編集者の柚木(ゆぎ)が気になり始める……。螢の成長と大瀬良家の家庭の事情を描いた上下巻、同時発売！

朝日新聞 2021/07/03

2021.5./ 220p

978-4-403-62322-6

本体 ¥759〔税込〕





人間の土地 改版(新潮文庫 サ-1-2)

サン＝テグジュペリ 著

新潮社

“我慢しろ……ぼくらが駆けつけてやる!……ぼくらのほうから駆けつけてやる!ぼくらこそは救援隊だ!” Sahara 砂漠の真っ只中に不時着遭難し、渇きと疲労に打克って、三日後奇蹟的な生還を遂げたサン＝テグジュペリの勇気の源泉とは……。職業飛行家としての劇的な体験をふまえながら、人間本然の姿を星々や地球のあいだに探し、現代人に生活と行動の指針を与える世紀の名著。

朝日新聞 2021/07/03

1998:10./ 208p

978-4-10-212202-0

本体 ¥649〔税込〕



デミアン 改版(新潮文庫)

ヘルマン・ヘッセ 著

新潮社

朝日新聞 2021/07/03

2007:5./ 254p

978-4-10-200102-8

本体 ¥572〔税込〕



人間であることをやるな

半藤 一利 著

講談社

明治人のリアリズム、石橋湛山が示す理想の力、昭和天皇の懊悩、そして宮崎駿の問い。「昭和史の語り部」が言い残した、軽妙にみえて重い教訓のことばをまとめる。

朝日新聞 2021/07/03

2021:4./ 153p

978-4-06-523552-2

本体 ¥1,430〔税込〕



タバコ産業の政治経済学～世界的展開と中国の現状～

丸川 知雄／李 海訓／徐 一睿 著

昭和堂

20 世紀以降のグローバルなタバコ産業に多方面から光を当て、その全体像を描く。また、世界のタバコ消費の 4 割を占める中国における農業・産業・政策の現状を解明する。

朝日新聞 2021/07/03

2021:5./ 7p,248p

978-4-8122-2024-5

本体 ¥4,290〔税込〕



茶筌の旗(新潮文庫 ふ-46-21)

藤原 緋沙子 著

新潮社

大名好みの極上茶を仕立てる御茶師の修業に励む綸。そこへ徳川・豊臣決戦近しの報が。茶園を守り、生き抜くにはどちら方につくべきか。女御茶師・綸のひたむきな半生を描く本格時代長篇。

朝日新聞 2021/07/03

2021:6./ 366p

978-4-10-139166-3

本体 ¥737〔税込〕



台北プライベートアイ

紀 蔚然 著

文藝春秋

劇作家兼大学教授の呉誠は鬱々として楽しまず、台北の裏路地に隠遁し私立探偵の看板を掲げるが、猟奇殺人犯の濡れ衣を着せられ…。台湾を代表する劇作家が放つ、初めてのハードボイルド探偵小説。

朝日新聞 2021/07/03

2021:5./ 383p

978-4-16-391367-4

本体 ¥1,980〔税込〕





リニア新幹線と南海トラフ巨大地震〜「超広域大震災」にどう備えるか〜 (集英社新書 1071)

石橋 克彦 著
集英社

30年以内の発生確率が70?80%とされる南海トラフ巨大地震。活断層の密集地帯を走るリニア中央新幹線は、新たな災害を誘発する可能性が高い。地震学の知見に基づいて、その危険性を警告する。

朝日新聞 2021/07/03

2021:6./ 237p
978-4-08-721171-9
本体 ¥924〔税込〕



かおかおばあ〜あかちゃん研究からうまれた絵本〜

山口 真美 著
KADOKAWA

ぱち、ぱちん、ばあ! コントラストの強い白と黒の目、口の配置で、生まれてすぐからあかちゃんは顔を認識する。あかちゃんの発達順に構成し、あかちゃんとお母さんの反応を実験して作られた新感覚の絵本。

朝日新聞 2021/07/03

2019:11./ 32p
978-4-04-107032-1
本体 ¥1,078〔税込〕



「顔」の進化〜あなたの顔はどこからきたのか〜 (ブルーバックス B-2159)

馬場 悠男 著
講談社

顔とは何か。なぜそこに「部品」が集まっているのか。ヒトの顔はなぜ違うのか。どう進化したのか。ヒトの白眼はなぜ目立つのか。人類学の第一人者が、顔のあらゆる疑問を読み解く。顔に関する不思議が満載。

朝日新聞 2021/07/03

2021:1./ 270p
978-4-06-522231-7
本体 ¥1,100〔税込〕



最終飛行

佐藤 賢一 著
文藝春秋

「星の王子さま」の作者、サン＝テグジュペリは作家であり、飛行士だった。ナチス占領下、武器を積まず、自分が傷つけられる危険だけを背負いながら飛ぶ偵察飛行を繰り返すが。『オール讀物』連載に加筆修正。

朝日新聞 2021/07/03

2021:5./ 524p
978-4-16-391372-8
本体 ¥2,420〔税込〕



るるぶ宇宙〜探査の最前線から未来の旅行プランまで徹底ガイド〜 (JTBのMOOK)

JTBパブリッシング

国際宇宙ステーションを大特集。また、探査の最前線から未来の旅行プランまでを紹介し、JAXA 筑波宇宙センターなど日本の宇宙スポットを案内する。宇宙スペシャルグラビアも掲載。データ:2021年1月現在。

朝日新聞 2021/07/03

2021:4./ 95p
978-4-533-14449-3
本体 ¥1,100〔税込〕



私の顔はどうしてこうなのか〜骨から読み解く日本人のルーツ〜

溝口 優司 著
山と溪谷社

顔かたちの違いは偶然か、必然か。ホモ・サピエンスの顔かたちと、気温など環境要因との関係に関する最近の分析結果を紹介。顔かたちがいかに環境によって左右されながら形成されてきたのか、その歴史をたどる。

朝日新聞 2021/07/03

2021:2./ 192p
978-4-635-13013-4
本体 ¥1,430〔税込〕





ナポレオン<1> 台頭篇

佐藤 賢一 著
集英社

一代でフランス皇帝に上り詰めたナポレオンの一生を描く。1 は、幼少期からイタリア方面軍司令官として数々の戦争に歴史的勝利を収めるまでの躍進期を描く。集英社WEB 文芸『RENNABURO』掲載を書籍化。

2019.8./ 525p
978-4-08-771197-4
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



未完のファシズム〜「持たざる国」日本の運命〜 (新潮選書)

片山 杜秀 著
新潮社

天皇陛下万歳! 大正から昭和の敗戦へと、時代が下がれば下がるほど、日本人はなぜ神がかっていったのか。第一次世界大戦に衝撃を受けた軍人たちの戦争哲学を読み解き、近代日本のアイロニカルな運命を描き出す。

2012.5./ 346p
978-4-10-603705-4
本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



元禄お犬姫 (中公文庫 も 26-4)

諸田 玲子 著
中央公論新社

「生類憐みの令」のもと、野犬も「お犬様」と呼ばれた時代。猛犬でもたちどころに手なずけてしまう、ひとりの娘がいた。犬と人間が巻き起こす、怪事件、大騒動…。人呼んで「お犬姫」が、江戸の町を駆け抜ける!

2021.5./ 322p
978-4-12-207071-4
本体 ¥792〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



演劇入門〜生きることは演じること〜 (集英社新書 1072)

鴻上 尚史 著
集英社

「空気」を読むばかりで「同調圧力」に負けてしまう日本人に足りないのは「芝居」。演劇的な思考や感性がいかに関心役に役立つか、演劇の創り方を通じて語り、自己表現やコミュニケーション能力を磨く方法を伝授する。

2021.6./ 267p
978-4-08-721172-6
本体 ¥968〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



東京を捨てる〜コロナ移住のリアル〜 (中公新書ラクレ 726)

澤田 晃宏 著
中央公論新社

人気移住地はどこか? 地域おこし協力隊とは? 「コロナ移住」の当事者が、コロナ移住者や移住支援団体、地方自治体などを取材したルポルタージュ。国や自治体の補助金などの情報や、移住で直面する課題にも触れる。

2021.4./ 253p
978-4-12-150726-6
本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



彼らはどこにいるのか〜地球外知的生命をめぐる最新科学〜

キース・クーパー 著
河出書房新社

宇宙の「生命居住可能領域」や「技術痕跡」の研究が加速して、いよいよ地球外知的生命探査は次のステージへ! 宇宙科学のトップランナーへ取材を重ね、心理学・人類学・歴史学などの知見をも駆使して大胆に予測する。

2021.4./ 368p, 15p
978-4-309-25423-4
本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



お父さん、まだだいじょうぶ?日記

加瀬 健太郎 著
リトル・モア

2 度目の緊急事態宣言。「家で子どもとだけ話してたら、なんかオモロない人間になりそうやわ」と妻に言うと、「もともとそんなオモロないで」と言われた。不安も笑いもますます快調! 家族のユカイな写真日記、第2弾。

2021:4./ 207p
978-4-89815-541-7
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 8 9 8 1 5 4 1 7 *

朝日新聞 2021/07/03



東南アジア史 10 講(岩波新書 新赤版 1883)

古田 元夫 著
岩波書店

ASEAN による統合の深化、民主化の進展と葛藤…。多様な人びと・文化が往来し、東西世界の交流の要となってきた東南アジア。その通史を、最新の研究成果にもとづき、東アジア史・世界史との関連もふまえて解説する。

2021:6./ 8p,281p,7p
978-4-00-431883-5
本体 ¥990〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 8 8 3 5 *

朝日新聞 2021/07/03



くまの根〜隈研吾・東大最終講義 10 の対話〜

隈 研吾 編
東京大学出版会

建築家・隈研吾が、上野千鶴子、原研哉ら各界第一線で活躍する協働者・恩師・友人ら22人と創作のルーツを語る。「家族とコミュニティの未来」「歴史と継承」など10のテーマを収録。東京大学での最終連続講義を書籍化。

2021:5./ 6p,408p,6p
978-4-13-063818-0
本体 ¥3,300〔税込〕
* 9 7 8 4 1 3 0 6 3 8 1 8 0 *

朝日新聞 2021/07/03



膠を旅する

内田あぐり／青木茂／上田邦介／金子朋樹／北澤智豊／北澤憲昭／小金沢智／後藤秀聖／朴亨國／山本直彰 著
国書刊行会

動物の皮屑を原料とする日本画の伝統画材「膠」。北方先住民族の狩猟と皮なめし文化、牛と鹿から?いだ一枚皮からの膠づくりについて記すほか、膠の研究を続ける画材店へのインタビュー等も収録する。屠場などの写真あり。

2021:5./ 237p
978-4-336-07184-2
本体 ¥4,180〔税込〕
* 9 7 8 4 3 3 6 0 7 1 8 4 2 *

朝日新聞 2021/07/03



中世ヨーロッパ〜ファクトとフィクション〜

ウィンストン・ブラック 著
平凡社

中世は暗黒時代だった。中世の人々は魔女を信じ、火あぶりにした。中世ヨーロッパの名だたるフィクション(虚構)を取り上げ、それらがどのように構築されたかを解説。さらに実際に起きたことを一次史料を交えて解明する。

2021:4./ 380p
978-4-582-44713-2
本体 ¥3,520〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 2 4 4 7 1 3 2 *

朝日新聞 2021/07/03



女たちのポリティクス〜台頭する世界の女性政治家たち〜(幻冬舎新書 ふ-21-1)

ブレイディ みかこ 著
幻冬舎

ポリティクスという究極の「男社会」で、各国の女性指導者たちはどのように闘い、上り詰めていったのか。その政治的手腕を、激動の世界情勢と共に解き明かす。大幅に遅れる日本の問題にも言及する。『小説幻冬』掲載を書籍化。

2021:5./ 262p
978-4-344-98623-7
本体 ¥990〔税込〕
* 9 7 8 4 3 4 4 9 8 6 2 3 7 *

朝日新聞 2021/07/03



陸軍中野学校と沖縄戦〜知られざる少年兵「護郷隊」〜(歴史文化ライブラリー 466)

川満 彰 著
吉川弘文館

激戦地沖縄に潜伏した 42 名の陸軍中野学校出身者。そのもとに集められた「護郷隊」の少年兵や住民は、どのように戦争に巻き込まれたのか。元兵士や関係者らの証言や回想から、陸軍中野学校がいかに関与したかを描く。

2018.5./ 6p,229p
978-4-642-05866-7
本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



いのちがけ〜加賀百万石の礎〜(講談社文庫 す 49-1)

砂原 浩太朗 著
講談社

桶狭間、長篠、賤ヶ岳。名だたる戦場を駆け抜け、貫き通した忠義の生涯。そして、主君の肩越しに見た信長、秀吉、家康ら天下人の姿…。常に前田利家に付き従い幾度もその危機を救った男、村井長頼の生涯を、端正な文体で綴る。

2021.5./ 454p
978-4-06-523462-4
本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



江戸式マーケ〜400年前なのに最先端!〜

川上 徹也 著
文藝春秋

越後屋はなぜタダで番傘を配ったのか。大丸はなぜ焼き討ちにあわなかったのか。近江商人はなぜ江戸で成功したのか。江戸時代の商人たちの、マーケティング戦略・イノベーション・ビジネスモデルなどをわかりやすく解説する。

2021.6./ 237p
978-4-16-391385-8
本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



サバイバルする皮膚〜思考する臓器の7億年史〜(河出新書 030)

傳田 光洋 著
河出書房新社

生物と外界を隔てる最大のインターフェイス<皮膚>はいかにして脳を進化させたのか? 0 番目の脳とも呼ばれる皮膚。日本の皮膚研究の第一人者が生命誕生から歴史を辿り、ホモ・サピエンス最大の神秘「意識」誕生の謎に迫る。

2021.5./ 249p,11p
978-4-309-63131-8
本体 ¥946〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



ジェンダーで見るヒットドラマ〜韓国、アメリカ、欧州、日本〜(光文社新書 1137)

治部 れんげ 著
光文社

エンタメ性の高い連続ドラマには、必ずその国の世相が反映される。「半沢直樹」のパワハラがいまだにウケる日本はヤバイ!? 欧米ドラマで夫がすぐに捨てられる理由は? 世界各国のドラマ 22 本をジェンダー視点で読み解く。

2021.6./ 327p
978-4-334-04545-6
本体 ¥1,034〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03



硝子戸のうちそと

半藤 末利子 著
講談社

作家の松岡護と夏目漱石の長女筆子の4女であり、昭和史研究家の夫・半藤一利の妻である著者が、一族の思い出、自身の住む町と友、そして夫との別れを綴る。『味覚春秋』『サンデー毎日』掲載を書籍化。

2021.4./ 267p
978-4-06-523551-5
本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03、読売新聞 2021/07/18



日本語とにらめっこ～見えないぼくの学習奮闘記～

モハメド・オマル・アブディン／河路 由佳 著

白水社

鍼灸を学ぶためにスーダンからやってきた全盲の青年は、どうやって日本語を身につけたのか。本を読むことすらできなかった彼が、日本語の書き手になるまでの苦闘を語る。テキストデータ引換券付き。

2021/4/ 217p

978-4-560-08898-2

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03、日本経済新聞 2021/07/10



尊皇攘夷～水戸学の四百年～(新潮選書)

片山 杜秀 著

新潮社

日本を近代国家に導いた「尊皇」感情の起点はどこにあるのか? 「水戸黄門」徳川光圀から三島由紀夫の自決まで。近代の夜明けを齎した熱病のごときナショナリズムの源流をすべて解き明かす。『新潮 45』他連載を加筆・改題。

2021/5/ 476p

978-4-10-603868-6

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03、日本経済新聞 2021/07/10



沖縄戦の子どもたち(歴史文化ライブラリー 526)

川満 彰 著

吉川弘文館

少年兵・学徒隊への動員、学童疎開、集団自決、戦争孤児…。太平洋戦争末期の沖縄で、激しい戦禍に遭った少年少女たち。彼らの体験や視点を通し、二度と戦争を起こさないために何ができるのかを考える。

2021/6/ 7p,230p

978-4-642-05926-8

本体 ¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2021/07/03、毎日新聞 2021/07/03



堤清二 罪と業～最後の「告白」～(文春文庫 こ46-1)

児玉 博 著

文藝春秋

この家族を支配したのは、愛か、狂気か。放埒の限りを尽くした父と、暴君と化した異母弟。セゾングループを率いた堤清二が、死の前に明かした堤一族の栄華と崩壊の悲劇。

2021/6/ 198p

978-4-16-791711-1

本体 ¥770〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



キリンの保育園～タンザニアでみつめた彼らの仔育て～(新・動物記 1)

齋藤 美保 著

京都大学学術出版会

動物たちに魅せられた若手研究者たちがその姿を追い求め、行動や社会、生態を明らかにしていくドキュメンタリー。ミオンボ林の片隅でみつめたキリンの親仔たちの物語を瑞々しく描き出す。

2021/6/ 245p

978-4-8140-0333-4

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



アンチレイシストであるためには(&books)

イブラム・X・ケンディ 著

辰巳出版

アメリカ社会に蔓延るレイシズム(人種主義)の構造や本質を、著者みずからの体験を織り交ぜながら解き明かす。さまざまな差別について深く考え、改善していくための指針となるガイドブック。

2021/6/ 381p

978-4-7778-2773-2

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



大人も知らない?ふしぎ現象事典

「ふしぎ現象」研究会 編
マイクロマガジン社

テストの前の日になると部屋の掃除がしたくなる。本屋にいるとなぜかトイレに行きたくなる…。身の回りによくある現象や体の不思議な現象の名前を紹介。楽しいイラストや、ふしぎ現象コラムも掲載する。

2021:7./ 127p
978-4-86716-159-3
本体 ¥1,100〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



武器を持たないチョウの戦い方〜ライバルの见えない世界で〜(新・動物記 2)

竹内 剛 著
京都大学学術出版会

動物たちに魅せられた若手研究者たちがその姿を追い求め、行動や社会、生態を明らかにしていくドキュメンタリー。武器を持たないチョウという動物に、なぜ闘争が成り立つのかをテーマにした研究をまとめる。

2021:6./ 243p
978-4-8140-0337-2
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



シブヤで目覚めて

アンナ・ツィマ 著
河出書房新社

プラハの大学で日本文学を専攻するヤナは、謎の作家・川下清丸の小説にのめり込んでいる。そのとき渋谷では「分裂」した17歳のヤナが、幽霊となって街に閉じ込められていた。鍵を握る謎の作家の秘密とは?

2021:4./ 377p
978-4-309-20826-8
本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



英文学者坪内逍遙

亀井 俊介 著
松柏社

人文学の危機が叫ばれる昨今。「融会自在」な学風を打ち立てた坪内逍遙の英文学活動は、学ぶべきところ無限にあるように思える。英文学者としての坪内逍遙の代表的な翻訳や著作を読み直し、検討・評価する。

2021:4./ 205p
978-4-7754-0276-4
本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



偉い人ほどすぐ逃げる

武田 砂鉄 著
文藝春秋

偉い人が?をついて真っ先に逃げ出し、「それどころではない」のに五輪中止が即断されず、言葉の劣化はますます加速。...これでいいのか? 武田砂鉄が「現代の危うさ」に警鐘を鳴らす。『文学界』掲載を書籍化。

2021:5./ 261p
978-4-16-391375-9
本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



雨のことば辞典(講談社学術文庫 2239)

倉嶋 厚／原田 稔 著
講談社

主として現代で使われている日本語のなかから、「雨」にまつわることば 1190 余語を選び、50 音順に配列。エッセイ的な記述を取り入れた、読んでおもしろい辞典。近年の雨のことばを解説した文庫版あとがきを追加。

2014:6./ 266p
978-4-06-292239-5
本体 ¥1,034〔税込〕



朝日新聞 2021/07/10



夏の迷い子

泉 麻人 著
中央公論新社

ホロ苦い思い出、熱中したあのこと、バカ騒ぎの日々、苦楽味わった仕事、そして定年。60 年生きた男達の、今日まで、そして明日からを描いた短編集。『アンデル 小さな文芸誌』ほか掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2021/07/10

2020/6./ 189p
978-4-12-005316-0
本体 ¥1,760〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 3 1 6 0 *



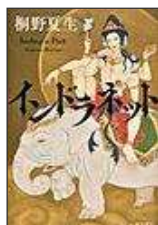
昆虫学者の目のツケドコロ～身近な虫を深く楽しむ～

井手 竜也 著
ベレ出版

一匹の気になる昆虫との出会いは、ときに世界の見え方さえ変えてしまう。アゲハチョウやモンシロチョウ、トンボやセミ、バッタやカブトムシといった身近な昆虫たちをとおして、虫たちのおもしろくて奥深い世界を紹介する。

朝日新聞 2021/07/10

2021/5./ 268p
978-4-86064-657-8
本体 ¥2,090〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 0 6 4 6 5 7 8 *



インドラネット

桐野 夏生 著
KADOKAWA

美しく聡明なカリスマ性を持つ同級生、空知がカンボジアで消息を絶った。取り柄のないことにコンプレックスを抱いてきた晃は、愛しい友人を追い、東南アジアの混沌に飛び込むが…。『小説野性時代』連載を加筆し単行本化。

朝日新聞 2021/07/10

2021/5./ 373p
978-4-04-105604-2
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 1 0 5 6 0 4 2 *



消された信仰～「最後のかくれキリシタン」-長崎・生月島の人々～(小学館文庫 ひ 18-1)

広野 真嗣 著
小学館

新・世界遺産から黙殺された島があった！ かくれキリシタンの歴史に光を当てた、長崎「潜伏キリシタン関連遺産」だが、長崎県が作ったパンフレットからは生月島の存在が消されていて…。カトリック史の重大タブーに迫る。

朝日新聞 2021/07/10

2021/5./ 283p
978-4-09-407015-6
本体 ¥726〔税込〕
* 9 7 8 4 0 9 4 0 7 0 1 5 6 *



方向音痴って、なおるんですか？

吉玉サキ 著
交通新聞社

迷わないためのコツを伝授してもらったり、地図の読み方を学んでみたり、地形に注目する楽しさを教わったり…。方向音痴の克服を目指して悪戦苦闘した軌跡を綴る。Web『さんたつ by 散歩の達人』連載を改題し加筆修正。

朝日新聞 2021/07/10

2021/5./ 190p
978-4-330-02421-9
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 3 3 0 0 2 4 2 1 9 *



沖縄アンダーグラウンド～売春街を生きた者たち～(集英社文庫 ふ 38-1)

藤井 誠二 著
集英社

沖縄の「売春街」で売春に従事する女性、風俗店経営者、ヤクザなどに取材した著者が、彼らの肉声を描き出し、街の内実と市民社会からの偏見の構造を明らかにする。沖縄のもう一つの戦後史。書き下ろし追補章を加えて文庫化。

朝日新聞 2021/07/10

2021/5./ 463p
978-4-08-744250-2
本体 ¥990〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 4 4 2 5 0 2 *



イサム・ノグチの空間芸術～危機の時代のデザイン～

松木裕美 著

淡交社

世界を股にかけて活躍した、20 世紀アメリカの彫刻家イサム・ノグチ。彼が参加した様々なプロジェクトを当時のアメリカ社会が抱えた諸問題の中に置き直し、作家の思い、企画者の意図、政治・経済・社会的な文脈から考察する。

朝日新聞 2021/07/10

2021.4./ 255p

978-4-473-04422-8

本体 ¥2,970〔税込〕



とことん解説人体と健康ビジュアルホルモンのはたらきパーフェクトガイド (NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編

キャサリン・ウイトロック／ニコラ・テンブル 著

日経ナショナルジオグラフィック社

ホルモンは体のどこで作られ、どのように作用するのか、私たちにどう影響しているのかをビジュアルに解説。人生の段階や生活の場面ごとのホルモンの働きや、バランスを欠いた場合の問題、健やかに過ごすためのヒント等も紹介。

朝日新聞 2021/07/10

2021.5./ 191p

978-4-86313-500-0

本体 ¥2,750〔税込〕



小説 8050

林 真理子 著

新潮社

完璧な人生を送っているように見える大澤正樹には秘密がある。彼の長男・翔太は 7 年間も自宅に引きこもっていた。娘が相手家族に結婚を反対されたことから正樹は息子と向き合う決意をするが…。『週刊新潮』連載を加筆・改稿。

朝日新聞 2021/07/10

2021.4./ 397p

978-4-10-363111-8

本体 ¥1,980〔税込〕



雲を愛する技術(光文社新書 923)

荒木 健太郎 著

光文社

豊富な写真と雲科学の知見から、身近な存在でありながらよく知られていない雲の実態に迫り、その心を読み解く。雲研究者の著者が留まるところを知らない愛と情熱を注いだサイエンス読み物。解説動画が見られる QR コード付き。

朝日新聞 2021/07/10

2017.12./ 331p, 7p

978-4-334-04329-2

本体 ¥1,320〔税込〕



空がおしえてくれること

蓬? 大介 著

幻冬舎

テレビで人気の気象予報士による書き下ろしエッセイ集。「降水確率の正しい意味とは?」「虹の見つけ方」「気象キャスターの役割」など、知られざる空の奇跡から、気象キャスターの生態まで、クスツと笑えて役に立つ話が満載。

朝日新聞 2021/07/10

2019.10./ 227p

978-4-344-03523-2

本体 ¥1,540〔税込〕



宗教と過激思想～現代の信仰と社会に何が起きているか～(中公新書 2642)

藤原 聖子 著

中央公論新社

イスラム、キリスト教、仏教、ユダヤ教、ヒンドゥー教、神道などから、過激とされた宗教思想をとりあげ、わかりやすく解説。マルコム X、ジョン・ブラウンらの思想を分析し、通底する「過激」の本質を明らかにする。

朝日新聞 2021/07/10、日本経済新聞 2021/07/10

2021.5./ 11p, 242p

978-4-12-102642-2

本体 ¥946〔税込〕





フルーツポンチ村上健志の俳句修行

村上健志 著
春陽堂書店

なんとなく俳句を始めた芸人・村上健志が、無理難題なテーマが飛び出す句会に参加した記録。多数の俳人が登場する 17 の句会等を解説とともに収録。特別対談やコラム、書き下ろしの巻頭俳句も掲載。『好書好日』連載を書籍化。

朝日新聞 2021/07/11

2021:4./ 337p
978-4-394-99006-2
本体 ¥1,980〔税込〕



しあわせは食べて寝て待て 1(Akita Lady's Comics デラックス)

水風 トリ 著
秋田書店

持ち込み後、即連載が決定した「しあわせは食べて寝て待て」。免疫系の病気を持っている麦巻さとこ。週 4 回のパート暮らし。お医者さんから「婚活でも」と勧められたけれど、さとこが決めたのは家賃の安い団地への引っ越し！面倒見の良いすぎる大家・鈴さんとその息子・司との交流や、団地ののどかな時間に心身ともに癒やされて…。

朝日新聞 2021/07/17

2021:4./ 168p
978-4-253-16082-7
本体 ¥748〔税込〕



智恵子抄 改版(新潮文庫)

高村 光太郎 著
新潮社

朝日新聞 2021/07/17

2003:11./ 179p
978-4-10-119602-2
本体 ¥473〔税込〕



みんな自分らしくいるための初めてのLGBT(ちくまプリマー新書 377)

遠藤 まめた 著
筑摩書房

恋愛における変なルール、個性を尊重するわりには厳しい校則、友だちの範囲…。私たちを取り巻く「当たり前」から自由になれるよう、性の多様性について考える。

朝日新聞 2021/07/17

2021:6./ 207p
978-4-480-68403-5
本体 ¥902〔税込〕



沖縄平和ネットワーク大島和典の歩く見る考える沖縄

大島 和典 著
高文研

沖縄県内の戦跡や基地を、「平和ガイド」として 14 年間に 1000 回以上案内してきたスペシャリストが、平和を希求する「沖縄の見方・歩き方」の奥義を伝授する。

朝日新聞 2021/07/17

2021:7./ 157p
978-4-87498-763-6
本体 ¥1,760〔税込〕



拠るべなき時代に～自選エッセイ集～

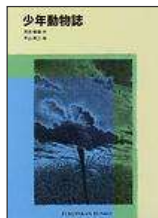
後藤 正治 著
ブレーンセンター

移植医療の歳月、寡黙な知の大家・山崎正和、古書店の家族史…。ノンフィクション作家・後藤正治が自ら選んだ近年の時評・人物論・作家論・書評・エッセイ等を収録する。

朝日新聞 2021/07/17

2021:5./ 379p
978-4-8339-0408-7
本体 ¥2,420〔税込〕





少年動物誌(福音館文庫)

河合雅雄 著

福音館書店

小動物たちの息づかいが、人間の生活のすぐかたわらで感じられたふるさと・丹波篠山を舞台に、少年と動物の交流を生き生きと描く。「蛇わたり」「タヒバリ」など10編を収録。再刊。

朝日新聞 2021/07/17

2002:6./ 317p

978-4-8340-1809-7

本体 ¥770〔税込〕



犬もとき読書日記

石山蓮華 著

晶文社

電線愛好家・石山蓮華が、できないこと、読書記録、若い女性としてまなざされる苛立ちを、時にひりひりと、あっけらかんとつづる。『ホンシェルジュ』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2021/07/17

2021:6./ 187p

978-4-7949-7267-5

本体 ¥1,650〔税込〕



大地の建築 アンサンブル・スタジオ

アンサンブル・スタジオ:アントン・ガルシア=アブリル、デボラ・メサ 著

TOTO出版

地球規模の視点と自然と響きあうような力強い造形、独自の工法を軸に、建築の可能性を追求する建築家ユニットの作品集。大地の建築をテーマに、リサーチ・設計・建設プロセスを写真や図版で紹介する。

朝日新聞 2021/07/17

2021:6./ 201p

978-4-88706-390-7

本体 ¥3,300〔税込〕



家族進化論

山極 寿一 著

東京大学出版会

家族はどのようにして生まれ、どこへ向かうのか? 人類がアフリカから旅立って 180 万年、悠久の時間のなかにその起源と進化のストーリーをたどる。日本の霊長類学が追い続けた壮大なテーマに迫る。

朝日新聞 2021/07/17

2012:6./ 358p,22p

978-4-13-063332-1

本体 ¥3,520〔税込〕



溺死した老猫〜黄春明選集〜

西田 勝 編

黄春明 著

法政大学出版局

貧困や差別、環境破壊や自然災害にも翻弄される台湾庶民の哀歓をユーモラスに描き続けてきた作家・黄春明。表題作ほか、「青番爺さんの話」など代表的な短編小説全 10 篇と、編訳者によるインタビュー等を収録する。

朝日新聞 2021/07/17

2021:5./ 3p,276p

978-4-588-49039-2

本体 ¥2,860〔税込〕



やってみよう!車中泊〜カラー版〜(中公新書ラクレ 730)

大橋 保之 著

中央公論新社

車の中に泊まるって、自分だけの秘密基地みたいでワクワクする! 快眠のための装備、便利アイテム、車中泊にオススメの場所やマナー、一步上の愉しみ方など、車中泊の魅力と快適に過ごすためのノウハウを紹介する。

朝日新聞 2021/07/17

2021:7./ 215p

978-4-12-150730-3

本体 ¥1,210〔税込〕





種から種へ命つながるお野菜の一生

鈴木純 著

雷鳥社

普段目にしている野菜の姿は、どれも命の途中のほんのひとコマ。ごま、とうもろこし、きゅうり、ミニトマト、ブロッコリーなど、さまざまな野菜の一生を追った、6年間の記録。詳細な成長過程をカラー写真で紹介する。

2021.6./ 303p

978-4-8441-3776-4

本体 ¥2,640〔税込〕



朝日新聞 2021/07/17



働くことの人類学～活字版～

松村圭一郎／コクヨ野外学習センター 編

黒鳥社

7人の文化人類学者がそれぞれのフィールドで体験した様々な「働き方」とは。仕事と自由をめぐる8つの対話を収録。ポッドキャスト番組で公開されたエピソードと、2020年11月開催のイベントの内容を基に書籍化。

2021.6./ 301p

978-4-9911260-6-2

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/07/17



#駄言辞典～早く絶版になってほしい～

日経 xwoman 編

日経BP社

古いステレオタイプによって生まれたひどい発言を「駄言」と名付け、どんな発言が駄言なのか、その発言の何が問題なのかを明らかにする。キーパーソン6人への駄言についてのインタビュー、駄言との向き合い方も紹介。

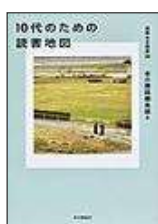
2021.6./ 311p

978-4-296-10947-0

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/07/17



10代のための読書地図(別冊本の雑誌 20)

本の雑誌編集部 編

本の雑誌社

「朝の読書」「夏の読書感想文」対応の、10代におすすめするベスト100座談会や、ジャンル別ブックガイドを収録。全国書店員がおすすめする10代に読んでほしい本&読んでおきたかったと後悔した本なども紹介する。

2021.6./ 279p

978-4-86011-459-6

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/07/17



サボる哲学～労働の未来から逃散せよ～(NHK出版新書 658)

栗原 康 著

NHK出版

なぜ心身を消耗させながら、やりたくない仕事をし、生きるためのカネを稼ぐのか。「働かざるもの食うべからず」は本当に正しいのか。稀代のアナキスト文人が、資本主義下の労働倫理を解体し、そこから逃亡する道を拓く。

2021.7./ 286p

978-4-14-088658-8

本体 ¥1,023〔税込〕



朝日新聞 2021/07/17



イングランド・イングランド(創元ライブラリ Lハ3-1)

ジュリアン・バーンズ 著

東京創元社

ひとりの富豪が思いついたテーマパーク・イングランドには、王室も、二階建てバスも、ロビン・フッドも、イングランドのすべてが揃っていた。となると、本物のイングランドは必要なのか? アイロニーと諷刺に満ちた小説。

2021.5./ 394p

978-4-488-07083-0

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/07/17



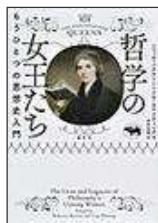
うさことば辞典

グラフィック社編集部 編
グラフィック社

モフ充、玉兎、うさぎの笑い…。家の中でうさぎと共に暮らす現代のうさ飼いさんの「うさことば」から、野山を駆ける美しい野生動物としてうさぎを見ていた昔の人々のことばまで、うさぎにまつわる、かわいいことばを収録。

朝日新聞 2021/07/17

2021:6./ 143p
978-4-7661-3462-9
本体 ¥1,540〔税込〕



哲学の女王たち～もうひとつの思想史入門～

リサ・ホワイティング／レベッカ・バクストン 編
晶文社

男性の名前ばかりがずらりと並ぶ哲学の歴史。しかしその陰には、知的活動に一生をかけた数多くの有能な女性哲学者たちがいた。知の歴史に大きなインパクトを与えながらも、見落とされてきた 20 人の女性思想家たちを紹介する。

朝日新聞 2021/07/17

2021:5./ 249p
978-4-7949-7264-4
本体 ¥2,200〔税込〕



映画評論家への逆襲(小学館新書 399)

荒井 晴彦／森 達也／白石 和彌／井上 淳一 著
小学館

SNS を通じて誰でも映画評論家になれる時代に脚本家・映画監督は異議を唱える。ならば脚本家、映画監督はどんな視点で映画を観るのか。劇映画監督、ドキュメンタリー監督、脚本家と、出自の違う 4 人が映画について語り合う。

朝日新聞 2021/07/17

2021:6./ 285p
978-4-09-825399-9
本体 ¥990〔税込〕



通訳者たちの見た戦後史～月面着陸から大学入試まで～(新潮文庫 と-16-2)

鳥飼玖美子 著
新潮社

日本人は開国と共にやってきた英語とどう向き合ってきたのか。アポロ月面着陸の生中継で同時通訳者として華々しくデビューし、NHK の英会話番組に長年出演する著者が、自らの来し方と先人達の軌跡を辿り、戦後秘史を紐解く。

朝日新聞 2021/07/17

2021:6./ 398p
978-4-10-145922-6
本体 ¥781〔税込〕



陶芸は生きがいになる(新潮新書 911)

林 寧彦 著
新潮社

ふと見学した陶芸教室に通ううち、土いじりの解放感と自分の手で作る達成感、釉薬の不思議に憑かれ…。会社員からプロの陶芸家になった著者が、趣味として陶芸を始めた人に向け実体験を元にアドバイス。陶芸の喜びを伝える。

朝日新聞 2021/07/17

2021:6./ 223p
978-4-10-610911-9
本体 ¥836〔税込〕



ゴリラ 第2版

山極 寿一 著
東京大学出版会

フィールドワークが拓く「人類を超えた動物たち」の世界。なぜアフリカまで出かけて野生のゴリラを調査するのか。霊長類学の世界的名リーダーがゴリラから得た感動と不思議を伝える、情熱の動物記。新しい知見を加えた第 2 版。

朝日新聞 2021/07/17

2015:8./ 248p,38p
978-4-13-063344-4
本体 ¥3,190〔税込〕





デスカトリボカ

佐藤 究 著
KADOKAWA

鬼才・佐藤究が放つ、クライムノベルの新究極、世界文学の新次元！ メキシコのカルテルに君臨した麻薬密売人のバルミロ・カサソは、対立組織との抗争の果てにメキシコから逃走し、潜伏先のジャカルタで日本人の臓器ブローカーと出会った。二人は新たな臓器ビジネスを実現させるため日本へと向かう。川崎に生まれ育った天涯孤独の少年・土方コシモはバルミロと出会い、その才能を見出され、知らぬ間に彼らの犯罪に巻き込まれていく——。海を越えて交錯する運命の背後に、滅亡した王国〈アステカ〉の恐るべき神の影がちらつく。人間は暴力から逃れられるのか。心臓密売人の恐怖がやってくる。誰も見たことのない、圧倒的な悪夢と祝祭が、幕を開ける。第34回山本周五郎賞受賞。

朝日新聞 2021/07/17

2021.2./ 553p
978-4-04-109698-7
本体 ¥2,310〔税込〕



野生のごちそう〜手つかずの食材を探す旅〜(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 4-1)

ジーナ・レイ・ラ・サーヴァ 著
亜紀書房

アフリカの密林で野生肉の違法取引を追い、有名レストラン「noma」で蟻を食べ、スウェーデンの森でヘラジカを狩り、屠る。環境人類学者がグルメの行き着く先を体当たりで探求する、思索に満ちた冒険ノンフィクション。

朝日新聞 2021/07/17、日本経済新聞 2021/07/17

2021.5./ 369p
978-4-7505-1696-7
本体 ¥2,420〔税込〕



スターリン〜独裁者の新たなる伝記〜

オレグ・V・プレヴニョーク 著
白水社

ソ連崩壊後30年、スターリンに直接由来する文書館史資料に基づき、独裁者の全貌に肉薄し、彼が生きた時代を解き明かす。ロシアの世界的権威による、学識と読みやすさを兼ね備えた大作。

朝日新聞 2021/07/17、日本経済新聞 2021/07/17、読売新聞 2021/07/24、日本経済新聞 2021/07/24

2021.6./ 533p, 69p
978-4-560-09850-9
本体 ¥5,060〔税込〕



O 脚の膝〜歌集〜(現代短歌クラシックス 07)

今橋愛 著
書肆侃侃房

ゆれているうすむらさきがこんなにもすべてのことをゆるしてくれる「外人と話してるみたい」あの人が言う私には「愛人」ときこえる 2003年刊の表題歌集に2015年刊「星か花を」を併録。

朝日新聞 2021/07/18

2021.6./ 203p
978-4-86385-465-9
本体 ¥1,870〔税込〕



臨死体験<上>(文春文庫)

立花 隆 著
文芸春秋

まばゆい光、暗いトンネル、亡き人々との再会—死の床から奇跡的に蘇った人々が、異口同音に語る不思議なイメージ体験。その光景は、本当に「死後の世界」の一端なのだろうか。人に超能力さえもたらすという臨死体験の真実を追い、著者は、科学、宗教、オカルトの垣根を超えた、圧倒的な思考のドラマを展開する。

朝日新聞 2021/07/25

2000.3./ 490p
978-4-16-733009-5
本体 ¥913〔税込〕





臨死体験<下>(文春文庫)

立花 隆 著
文芸春秋

科学はどこまで臨死体験の核心に迫りうるのか。生物学者や神経学者は、様々な実験や仮説によってそのメカニズムの解明に挑み、成果をあげてきた。しかし、なお謎は残る。蘇生した人々はなぜ、本来、知るはずのない事実を知ってしまうのだろうか…。構想、取材、執筆に五年。発表と同時に大反響を呼んだ著者渾身の大作。

2000:3./ 526p
978-4-16-733010-1
本体 ¥913〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



アメリカ社会の人種関係と記憶～歴史との対話～

樋口 映美 著
彩流社

白人優位の人種差別が社会秩序に刻まれるアメリカ社会。その歴史的変遷を複雑な動態として個々人のレベルで捉えようと、1970年代末から2020年までに書いた作品を収録する。

2021:5./ 350p,49p
978-4-7791-2756-4
本体 ¥4,950〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



ホワイティ・フラジリティ～私たちはなぜレイシズムに向き合えないのか？～

ロビン・ディアンジェロ 著
明石書店

優越感と権利意識から生じる「白人の心の脆さ(ホワイティ・フラジリティ)」という現象を説明し、白人はなぜ人種問題に向き合えないのかを問い、白人による黒人差別の構造を解明する。

2021:6./ 253p
978-4-7503-5206-0
本体 ¥2,750〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



声をあげます(チョン・セランの本 03)

チョン・セラン 著
亜紀書房

地球の滅亡、感染症、種の絶滅、大量消費…。解決の鍵は未来にある！文明社会の行きづまりを軽やかに描き出し、今を生きる女性たちにエールを送る、シリアスでポップな SF 短編全 8 編を収録。

2021:6./ 277p
978-4-7505-1698-1
本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



スケルトン・キー(角川文庫 み 39-4)

道尾 秀介 著
KADOKAWA

19歳の僕は、週刊誌記者の危険な仕事を請け負っている。僕のような人間をサイコパスと言うらしい。“もうひとりの僕”が顔を出さないように気をつけて生きているが…。ノーストップ・ミステリ。

2021:6./ 291p
978-4-04-111330-1
本体 ¥704〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<下>

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著
河出書房新社

生物はただのアルゴリズムであり、コンピューターが人類のすべてを把握する。生物工学と情報工学の発達によって、資本主義や民主主義、自由主義は崩壊し…。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

2018:9./ 284p
978-4-309-22737-5
本体 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



ホモ・デウス～テクノロジーとサピエンスの未来～<上>

ユヴァル・ノア・ハラリ、柴田 裕之 著

河出書房新社

人類は不死と幸福、神性を目指し、神のヒト「ホモ・デウス」へと自らをアップグレードする。そのとき、富む者と貧しい者との格差は、創造を絶するものとなる。人類の未来を、かつてないスケールで描く。

2018.9./ 265p

978-4-309-22736-8

本体 ¥2,090〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



火のないところに煙は(新潮文庫 あ-97-2)

芦沢 央 著

新潮社

作家の「私」は、突然「神楽坂を舞台にした怪談」を依頼され、驚愕する。心に封印し続けた悲劇は、まさにその地で起こったのだ。私は迷いつつも、事件を小説として発表することで情報を集めようとするが...

2021.7./ 287p

978-4-10-101432-6

本体 ¥649〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



歴史のなかの人びと～出会い・喚起・共感～

樋口 映美 編

彩流社

歴史の記録に残されていない人びと、未解決事件...。歴史研究者たちが「人」に立ち返り、史料から多様な人びとの営みを掘り起こし、その日常を紡ぐ。「歴史を知る・学ぶ・考える」ことの面白さを呼び起こす一冊。

2020.4./ 196p,30p

978-4-7791-2666-6

本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



全裸監督～村西とおる伝～(新潮文庫 も-46-2)

本橋 信宏 著

新潮社

人生、死んでしまいたいときには下を見ろ! おれがいる。前科 7 犯。借金 50 億。米国司法当局から懲役 370 年求刑。奇跡の男か、稀代の大ボラ吹きか。“AV の帝王”と呼ばれた男・村西とおるの半生を描く。

2021.5./ 868p

978-4-10-101982-6

本体 ¥1,265〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



スモールワールズ

一穂 ミチ 著

講談社

夫婦円満を装う主婦と、家庭に恵まれない少年。初孫の誕生に喜ぶ祖母と娘家族。向き合うことができなかった父と子...。誰かの悲しみに寄り添いながら、愛おしい喜怒哀楽を描く連作集。『小説現代』掲載を単行本化。

2021.4./ 299p

978-4-06-522269-0

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



ラジオの残響～ヘビリスナー聴く語り記～

川野将一 著

双葉社

すべての本音は、そのタレントにとっての城である「ラジオ番組」で常に語られてきた。早朝も深夜も地方局も FM もくまなく聴き続け、芸能人たちの本音を追い続けた著者が、パーソナリティーたちの濃密なドラマを綴る。

2021.6./ 767p

978-4-575-31627-8

本体 ¥3,300〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



ふくしま原発作業員日誌～イチエフの真実、9年間の記録～

片山夏子 著
朝日新聞出版

人類史でも未曾有の原発事故から9年。高線量下で日当 6500 円、作業員の被ばく隠し、がん発病と訴訟…。箝口令が敷かれた作業員たちを取材し、福島第一の「現場」に迫った記録。『東京新聞』連載に加筆して書籍化。

朝日新聞 2021/07/25

2020:2./ 460p
978-4-02-251667-1
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 0 2 2 5 1 6 6 7 1 *



陰謀の日本近現代史(朝日新書 800)

保阪正康 著
朝日新聞出版

いつの世も、知恵と知恵の戦いが歴史をつくる。時にそれを「陰謀」という。ルーズベルトが日本に仕掛けた罠、西郷隆盛が見誤った「会津の恨み」など、近現代史の第一人者が「真実」を史料と証言で徹底的に解明する。

朝日新聞 2021/07/25

2021:1./ 300p
978-4-02-295109-0
本体 ¥979〔税込〕
* 9 7 8 4 0 2 2 9 5 1 0 9 0 *



沼で溺れてみたけれど

ひらりさ 著
講談社

不倫、ママ活、スピリチュアル…。愛・社会・しがらみをめぐる沼に溺れた女たちが、その先で見つけたものとは？ 女たちの“お金”と“欲望”をのぞくインタビューエッセイ集。『FRaU web』連載を加筆・修正。

朝日新聞 2021/07/25

2021:7./ 221p
978-4-06-522805-0
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 2 8 0 5 0 *



天皇と東大<4> 大日本帝国の死と再生(文春文庫 た 5-22)

立花 隆 著
文藝春秋

大日本帝国の解体、天皇の人間宣言、東京帝国大学の変質…。昭和 20 年 8 月、日本は劇的に変貌した。あの戦争はなぜ始まり、なぜ大敗北を喫するに至ったのか。解体を回避した天皇制と東京帝国大学の功罪を問う。完結篇。

朝日新聞 2021/07/25

2013:2./ 483p,43p
978-4-16-733022-4
本体 ¥838〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 7 3 3 0 2 2 4 *



生命海流～GALAPAGOS～

福岡伸一 著
朝日出版社

「生命」「進化」とは何か。生物学者・福岡伸一がダーウィンの足跡をたどり、生命の本質に迫るガラパゴス航海記。絶海の孤島で繰り広げられる大自然の営みと進化の不思議を、ユーモア溢れる文章と美しい写真で描き出す。

朝日新聞 2021/07/25

2021:6./ 253p
978-4-255-01241-4
本体 ¥2,090〔税込〕
* 9 7 8 4 2 5 5 0 1 2 4 1 4 *



見知らぬ人(創元推理文庫 M ク 28-1)

エリー・グリフィス 著
東京創元社

タルガース校の旧館は、かつて伝説的作家ホルンドの邸宅だった。クレアは同校の教師をしながらホルンドの研究をしているが、ある日、親友である同僚が殺害される。遺体のそばにはホルンドの短編の文章が書かれたメモが…。

朝日新聞 2021/07/25

2021:7./ 508p
978-4-488-17003-5
本体 ¥1,210〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 8 1 7 0 0 3 5 *



石橋湛山の65日

保阪 正康 著
東洋経済新報社

昭和31年、わずか65日で終わった石橋湛山政権。反骨の言論人が、戦後、政治家の道を歩み、首相の座を降りるまでの激動の保守政治の史実を克明に描き、短命に終わった「まぼろしの政権」が日本人に投げかけた謎に迫る。

朝日新聞 2021/07/25

2021.3./ 333p
978-4-492-06192-3
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 4 9 2 0 6 1 9 2 3 *



人新世の「資本論」(集英社新書 1035)

斎藤 幸平 著
集英社

気候変動、コロナ禍…。人類の経済活動が地球を破壊する「人新世」=環境危機の時代。唯一の解決策は、潤沢な脱成長経済である。晩期マルクスの思想をヒントに、危機の解決策と豊かな未来社会への道筋を具体的に描き出す。

朝日新聞 2021/07/25

2020.9./ 375p
978-4-08-721135-1
本体 ¥1,122〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 2 1 1 3 5 1 *



HONZ が選んだノンフィクション～決定版～

成毛 眞 著
中央公論新社

サイエンス、医学・心理学、生物・自然、教養・雑学、アート・スポーツ、社会、事件・事故、歴史、ビジネス…。ノンフィクション書評サイト『HONZ』が10年間に紹介したレビューから、選りすぐりの100冊を掲載する。

朝日新聞 2021/07/25

2021.7./ 366p
978-4-12-005448-8
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 0 0 5 4 4 8 8 *



宇宙からの帰還 新版(中公文庫 た20-10)

立花 隆 著
中央公論新社

宇宙から地球を見る。この特異な体験をした人間の内面には、いかなる変化がもたらされるのか。12名の宇宙飛行士の衝撃に満ちた内的体験を、卓越したインタビューにより鮮やかに描き出す。毛利衛のエッセイを収録した新版。

朝日新聞 2021/07/25

2020.8./ 403p
978-4-12-206919-0
本体 ¥946〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 2 0 6 9 1 9 0 *



天皇と東大<3> 特攻と玉砕(文春文庫 た5-21)

立花 隆 著
文藝春秋

「天皇機関説」排撃の風潮が漂う中、軍部は政治支配を確立し、日本社会はテロと戦争に覆い尽くされていく。敗色が濃くなる中で敢行された「特攻」と「玉砕」。何が国民をあの悲劇に導いたのか。東大の思想的責任を鋭く問う。

朝日新聞 2021/07/25

2013.1./ 533p
978-4-16-733021-7
本体 ¥785〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 7 3 3 0 2 1 7 *



ギャンブル害～食欲な業界と政治の欺瞞～

レベッカ・キャシディ 著
ビジネス教育出版社

ギャンブル産業はいまや多国籍企業が運営するビッグビジネスへと変貌を遂げている。ギャンブル企業の巧妙な駆け引きと政府の失敗、被害者が被る精神的陥穽について、20年にわたる膨大かつ綿密な現場取材により明らかにする。

朝日新聞 2021/07/25

2021.6./ 388p, 38p
978-4-8283-0863-0
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 8 2 8 3 0 8 6 3 0 *



中世哲学講義<第1巻> 昭和41年-44年度

川添信介 編

山田晶 著

知泉書館

山田晶が京都大学文学部で昭和41年から昭和58年まで毎年開講した「西洋中世哲学史概説」を講義手稿にもとづいて編集。第1巻は、昭和41年度前期講義から昭和44年度講義までを収録する。総目次、聖書・人名索引も掲載。

2021:7./

21p,421p,12p

978-4-86285-341-7

本体 ¥4,400〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



モダン語の世界へ〜流行語で探る近現代〜(岩波新書 新赤版 1875)

山室 信一 著

岩波書店

1910?30年代、モガ・モボが登場した日本では、新奇な言葉と文化が奔流のようにあふれ出た。博覧強記で知られる歴史学者が、当時の流行語を軸に、人々の思想や風俗、日本社会の光と影を活写する。モダン語辞典一覧付き。

2021:4./

14p,329p,37p

978-4-00-431875-0

本体 ¥1,144〔税込〕



朝日新聞 2021/07/25



すべてがFになる〜The perfect insider〜(講談社文庫)

森 博嗣 著

講談社

密室から飛び出した死体。究極の謎解きミステリイ。コンピュータに残されたメッセージに挑む犀川助教授とお嬢様学生・萌絵。孤島のハイテク研究所で、少女時代から完全に隔離された生活を送る天才工学博士・真賀田四季(まがたしき)。彼女の部屋からウェディング・ドレスをまとい両手両足を切断された死体が現れた。偶然、島を訪れていたN大助教授・犀川創平(さいかわそうへい)と女子学生・西之園萌絵(にしのもえ)が、この不可思議な密室殺人に挑む。新しい形の本格ミステリイ登場。

1998:12./ 522p

978-4-06-263924-8

本体 ¥869〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



俳句部、はじめました〜さくら咲く一度っきりの今を詠む〜(岩波ジュニアスタートブックス)

神野 紗希 著

岩波書店

五七五の定型のリズムに乗せ、季語の力を借りて詠む世界でいちばん短い詩「俳句」。十代で俳句に出会い、作句を続ける著者が、その魅力と作る楽しさを伝授する。

2021:3./ 6p,120p

978-4-00-027233-9

本体 ¥1,595〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



夜行秘密

カツセマサヒコ 著

双葉社

それは、彼女と僕だけの秘密です-。川谷絵音率いるバンド「indigo la End」の同名アルバムに収録されている楽曲14曲をベースに書き下ろした、激情の恋愛譚。

2021:7./ 244p

978-4-575-24421-2

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



世界の天変地異～本当にあった気象現象～(NATIONAL GEOGRAPHIC)

ナショナル ジオグラフィック 編

マッティン・ヘードベリ 著

日経ナショナルジオグラフィック社

異常気象はなぜ起こるのか? いつ起こるのか? 気候と世界の天候はどのように関係しているのか? 世界各地で見られる天変地異を迫力ある写真で紹介し、わかりやすく解説する。

2021:6./ 193p

978-4-86313-495-9

本体 ¥2,970〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



まっている。(講談社の創作絵本)

村上 康成 著

講談社

釣りをするボク。魚がかかるのを待っている。クモは巣にエサがかかるのを待っていて、花はハチやチョウがとまってくれるのを待っていて…。「待つ」時間の豊かさを教えてくれる絵本。

2020:7./ 32p

978-4-06-520094-0

本体 ¥1,540〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



誰の日本時代～ジェンダー・階層・帝国の台湾史～(サピエンティア 62)

洪郁如 著

法政大学出版局

植民地統治は、当時の台湾の人々の生活とその戦後をどのように規定していったのか。語られなかった、書かれなかった日本時代にフォーカスし、個人史と家族史を中心に新たな視座を提供する。

2021:6./ 14p,294p

978-4-588-60362-4

本体 ¥3,080〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



原因において自由な物語

五十嵐 律人 著

講談社

人気作家・二階堂紘季には、誰にも言えない秘密があった。露呈すれば、すべてを失う。しかし、その秘密と引き換えにしても、書かねばならない物語に出会ってしまい…。書き下ろしミステリ。

2021:7./ 351p

978-4-06-523400-6

本体 ¥1,815〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



帰れない山(CREST BOOKS)

パオロ・コニエッティ 著

新潮社

牛飼いの少年との出会い、冒険、父の孤独と遺志、友との心地よい沈黙と信頼。北イタリア、モンテ・ローザ山麓を舞台に、本当の居場所を求めて彷徨う 2 人の男の葛藤と友情を描いた長篇小説。

2018:10./ 271p

978-4-10-590153-0

本体 ¥2,255〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



法廷遊戯

五十嵐 律人 著

講談社

法曹の道を目指してロースクールに通う、久我清義と織本美鈴。2 人の過去を告発する差出人不明の手紙をきっかけに、不可解な事件が続く。清義は異端の天才ロースクール生・結城馨に相談を持ち掛け…。

2020:7./ 344p

978-4-06-518447-9

本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



星の王子さまの気づき

周保松 著

三和書籍

香港自由主義新世代の旗手が、星の王子さまの目で見た社会に、自身の思想や体験を重ね合わせる。人と人との関わり方、恋愛の意味、社会を変えるために一人一人がやらなければならないことを問いかける。

2021:6./ 301p

978-4-86251-425-7

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



カード師

中村文則 著

朝日新聞出版

占いを信じていない占い師、そして客を翻弄する違法カジノのディーラーでもある「僕」はある組織から依頼され、正体を隠して奇妙な資産家の顧問占い師になるが…。『朝日新聞』連載に加筆して単行本化。

2021:5./ 457p

978-4-02-251758-6

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



鏡のなかのアジア(集英社文庫 た 95-1)

谷崎 由依 著

集英社

まぼろしのアジアへ。雨降る集落でひっそり交わされる人々の営みを描く「Jiufen の村は九つぶん」、熱帯雨林にそびえる巨樹であった過去を持つ男の物語「天蓋歩行」など、全5編を収録した幻想短編集。

2021:7./ 252p

978-4-08-744276-2

本体 ¥616〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



ゲド戦記<6> アースシーの風(岩波少年文庫 593)

アーシュラ・K.ル=グウィン 著

岩波書店

故郷で暮らすゲドのもとを、まじない師のハンノキが訪れ、奇妙な夢の話をする。そのころ、再び竜が暴れ出し、アースシーにかつてない緊張が走る。世界を救うのは誰か?アースシー世界の光と闇を描く壮大な物語。

2009:3./ 386p

978-4-00-114593-9

本体 ¥836〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



人生斯くの如くか〜東西お墓巡り〜

永峯 清成 著

彩流社

著名な人の死は多くの場合、劇的であり、葬られた場所は厳粛な処だ。たとえその人物が、世に悪人だと言われたとしても…。その厳粛さに惹かれた著者が、若い頃から訪ねた墓地に眠る人の生き様に思いを馳せる紀行書。

2021:7./ 267p

978-4-7791-2770-0

本体 ¥2,200〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



宝島〜HERO's ISLAND〜<上>(講談社文庫 し 106-2)

真藤 順丈 著

講談社

米軍基地を襲撃した夜、“英雄”のオンちゃんが消えた。彼の帰還を待ちつつ、故郷を取り戻すため立ち上がる、グスク、ヤマコ、レイ。長じて警官、教師、テロリストとなった幼馴染たちは、米軍統治下の沖縄を生き抜き…。

2021:7./ 448p

978-4-06-524373-2

本体 ¥924〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



リラとわたし(ナポリの物語 1)

エレナ・フェッランテ、飯田 亮介 著

早川書房

本好きで真面目なエレナと、天才的な頭脳を持つ反逆児リラ。10歳で出会ったふたりは、たよりあい、反発しあいながらも、変わりゆく1950年代のナポリで成長してゆく…。ナポリが生んだ個性豊かな2人の少女の物語。

2017/7/ 427p

978-4-15-209698-2

本体 ¥2,310〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



中国共産党、その百年(筑摩選書 0214)

石川 禎浩 著

筑摩書房

結党100周年を迎える中国共産党は、いかにして超巨大政権党となったのか。わずか30年足らずで中華人民共和国を建国し、70年以上にわたって国を統治してきた中国共産党の歩みを世界史的な展開を視野に収めつつ描く。

2021/6/ 376p

978-4-480-01733-8

本体 ¥1,980〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



縄文の狼(くもんの児童文学)

今井恭子 著

くもん出版

狼と人とは住む世界が違った。父さんたちが、こえてはならぬ一線をあえてこえたのは…。赤ん坊のころ狼にさらわれ、狼とともに育った少年キセキ。1万年以上前の縄文時代に繰り上げられる、少年と狼たちの絆と進化の物語。

2021/6/ 290p

978-4-7743-3201-7

本体 ¥1,650〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



星落ちて、なお

澤田 瞳子 著

文藝春秋

不世出の絵師、河鍋暁斎が死に、これまで家の中で辛うじて保たれていた均衡が崩れた。一門の行末は、娘とよ(暁翠)の双肩にかかっているのだが…。激動の時代を生きた女絵師の一代記。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

2021/5/ 321p

978-4-16-391365-0

本体 ¥1,925〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



月にトンジル(読書の時間 8)

佐藤 まどか 著

あかね書房

トール、ダイキ、シュン、マチは、「テツヨン」とよびあう仲良し4人組。ある日、ムードメーカーのダイキが引っ越すことになった。トールはテツヨンの友情は変わらないと信じていたのだが…。友情の変化を描いた成長物語。

2021/5/ 191p

978-4-251-04478-5

本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



護られなかった者たちへ(宝島社文庫 このミス大賞 C な-6-11)

中山 七里 著

宝島社

仙台市で拘束状態の餓死死体が発見された。被害者は人格者として知られ、怨恨が理由とは考えにくく、捜査は暗礁に乗り上げる。一方、死体発見から遡ること数日、模範囚が出所し…。2021年10月公開の同名映画の原作。

2021/8/ 477p

978-4-299-00633-2

本体 ¥858〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



夜に駆ける〜YOASOBI 小説集〜

星野舞夜／いしき蒼太／しなの／水上下波 著
双葉社

「小説を音楽にするユニット」YOASOBI の恋愛ソングの原作小説集。Ayase×ikura のインタビューも掲載。ikura の朗読動画を視聴できる QR コード付き。『monogatary.com』掲載を加筆修正。

2020/9/ 195p
978-4-575-24321-5
本体 ¥1,485〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



サリドマイド〜復活した「悪魔の薬」〜

栢森 良二 著
PHPエディターズ・グループ

サリドマイドを服用した妊婦から手足が欠損した子どもが生まれるという薬禍が、社会に大きな衝撃を与えてから 60 年。世界的第一人者が、副作用の発覚から回収までの経緯、被害者の努力と成長、各国の裁判と補償などを語る。

2021/6/ 298p
978-4-909417-74-9
本体 ¥2,420〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



わたしのともだちポルポちゃん(講談社の創作絵本)

もとした いづみ／北見 葉胡 著
講談社

たこのポルポちゃんは、とってもはずかしがりやです。お友だちが遊びに来ると隠れたり、変身したり。だけどわたしたちは、とってもなかよし。遊ぶときもお茶の時間も、いつも一緒に。ある日、わたしはお城に招待されて...

2021/6/ 32p
978-4-06-523376-4
本体 ¥1,485〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



コロナの時代の僕ら

パオロ・ジョルダノーノ 著
早川書房

この災いに立ち向かうために、僕らは何をするべきだったのだろう。何をしてはいけないなかったのだろう。そしてこれから、何をしたらよいのだろう。コロナの時代を生きる人々に、イタリア人作家が贈る痛切で誠実なエッセイ集。

2020/4/ 126p
978-4-15-209945-7
本体 ¥1,430〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



近代台湾女性史～日本の植民統治と「新女性」の誕生～

洪 郁如 著
勁草書房

纏足を解き、日本による新式教育を受けた女性たちの誕生と軌跡を追い、婚姻様式の変化、エリート家庭の形成などにわけいつて、植民地社会の変容を明らかにする。「新女性」の誕生と位相を軸に追う台湾社会の構造的変動過程。

2001/11/ 409,14p
978-4-326-60147-9
本体 ¥10,450〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



ぼくは川のように話す

ジョーダン・スコット 著
偕成社

ぼくには、うまく言えない音がある。学校でもうまく話せず落ち込んでいる僕を、お父さんは川へ連れて行ってきて...。吃音のある詩人を支えた少年の日のできごとを、心情あふれる言葉とみずみずしい絵で描いた胸にせまる絵本。

2021/7/ 42p
978-4-03-425370-0
本体 ¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2021/07/31



貝に続く場所にて

石沢 麻依 著

講談社

ドイツの学術都市に暮らす私の元に、2011年3月の震災で行方不明になったはずの友人が現れる。コロナ禍が影を落とす異国の街に、9年前の光景が重なり合い…。静謐な祈りをこめて描く鎮魂の物語。『群像』掲載を単行本化。

朝日新聞 2021/07/31

2021/7/ 151p

978-4-06-524188-2

本体 ¥1,540〔税込〕



宝島〜HERO's ISLAND〜<下>(講談社文庫 し 106-3)

真藤 順丈 著

講談社

“英雄”だったオンちゃんが消えた夜、彼が手にしていたという「予定にない戦果」。沖縄の本土復帰に向けた大きな流れに翻弄されつつ、ひたすらに走り続けた幼馴染たちがたどり着いた、オンちゃんが命を懸けた「秘密」とは…。

朝日新聞 2021/07/31

2021/7/ 256p

978-4-06-524374-9

本体 ¥715〔税込〕



ブラザーズ・ブラジャー

佐原 ひかり 著

河出書房新社

父の再婚で、新しい母・瞳子さんと弟・晴彦と暮らすことになった高校1年生のちぐさ。ある日、晴彦がブラジャーを着けているところに遭遇し…。「きみのゆくえに愛を手を」を改題した表題作に、「ブラザーズ・ブルー」を併録。

朝日新聞 2021/07/31

2021/6/ 198p

978-4-309-02964-1

本体 ¥1,672〔税込〕



これだけは見ておきたい世界のお墓 199 選

ローレン・ローズ 著

国書刊行会

凝った作りの墓石や地下納骨堂の魅力、高名な被葬者や墓地の歴史…。パリのペール・ラシェーズ、ニューヨークのグリーンウッド墓地など世界中から最も心を打つ 199 の墓地を厳選し、大陸ごとにまとめてオールカラーで紹介。

朝日新聞 2021/07/31

2021/7/ 11p,235p

978-4-336-07182-8

本体 ¥7,480〔税込〕



K-POP はなぜ世界を熱くするのか

田中 絵里菜 著

朝日出版社

K-POP は、どんなふうになられ、どんな仕掛けによって広まっているのか。K-POP のクリエイターたちが語るリアルな声とともに、プロモーションの視点から世界的なムーブメントを体系的に論じる。

東京・中日新聞 2021/07/04

2021/4/ 239p

978-4-255-01212-4

本体 ¥1,870〔税込〕



満天の花

佐川 光晴 著

左右社

時は幕末、長崎。オランダ人商館員と遊女の間に生まれた青い目の少女・花。勝海舟と出会ったことで、花は激動の世界史の渦の中に投げ込まれる。女性通訳を主人公に、幕末を外交の視点で捉えた時代小説。

東京・中日新聞 2021/07/04

2021/5/ 549p

978-4-86528-026-5

本体 ¥2,530〔税込〕





喰うか喰われるか～私の山口組体験～

溝口 敦 著

講談社

ヤクザが日常的に一般人を追詰めていた時代、どう脅され、どう報じてきたのか。日本最大の組織暴力と真っ向から立ち向かい続けた著者による、半世紀にわたった戦いの記録。講談社 PR 誌『本』連載を加筆し書籍化。

東京・中日新聞 2021/07/04

2021.5./ 317p

978-4-06-522104-4

本体 ¥1,980〔税込〕



女の子はどう生きるか～教えて、上野先生!～(岩波ジュニア新書 929)

上野 千鶴子 著

岩波書店

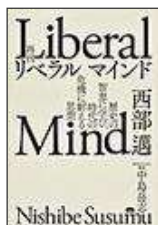
生徒会長はなぜ男子だけ？ 男女で進路がわけられるのはなぜ？ 痴漢にあうのは私が悪い？ 女の子たちが日常的に抱くモヤモヤや疑問に上野先生が全力で答えます。自分らしい選択をする力を身につけるための一冊。

東京・中日新聞 2021/07/10

2021.1./ 9p,224p

978-4-00-500929-9

本体 ¥968〔税込〕



リベラルマインド～歴史の智慧に学び、時代の危機に耐える思想～

西部 邁 著

エイアンドエフ

「自由と秩序」においてよく平衡のとれた言論だけがデモクラシーを墮落から防ぐ。日本人がリベラル・マインドを、つまり「自由の心性」を獲得することの必要と可能を論じた名著。中島岳志の解説も収録。

東京・中日新聞 2021/07/11

2021.4./ 247p

978-4-909355-24-9

本体 ¥1,650〔税込〕



いつかたどりつく空の下

八幡 燈 著

双葉社

葬儀社の湯灌・納棺師として働く綾乃は、小学2年生で母親から棄てられ、孤独の中で生きてきた。様々な仕事を経験したのち、葬儀社での仕事を心得て同僚らと過ごすうち、綾乃は徐々にあることに気づいていく...

東京・中日新聞 2021/07/11

2021.5./ 228p

978-4-575-24407-6

本体 ¥1,980〔税込〕



アースダイバー 神社編

中沢 新一 著

講談社

神社という日本の聖地には、人間の精神の秘密にかかわる多くの謎が、ほとんど手つかずのままに残されている。山とは、海とは、蛇とは、太陽とは...。歴史の無意識の奥にしまいこまれた記憶を甦らせる魂の冒険。

東京・中日新聞 2021/07/11

2021.4./ 366p

978-4-06-521775-7

本体 ¥2,420〔税込〕



日本の道化師～ピエロとクラウンの文化史～(平凡社新書 974)

大島 幹雄 著

平凡社

道化師を意味する言葉として、日本では“クラウン”ではなく“ピエロ”が定着したのはなぜか。クラウンは日本でいかに受けとめられてきたか。サーカス研究の第一人者が、日本における「道化師」の歴史をたどる。

東京・中日新聞 2021/07/11

2021.5./ 247p

978-4-582-85974-4

本体 ¥968〔税込〕





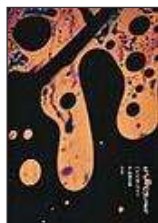
経済はロックに学べ!

アラン・B・クルーガー 著
ダイヤモンド社

なぜ、人々を熱狂させるビジネスは、音楽から生まれるのか。「ロックを支える人的資本」「バンドマンの契約理論」「中国で進む音楽革命」などをテーマに、「ビジネスとマネー」の本質を明かす。

東京・中日新聞 2021/07/17

2021:6./ 440p
978-4-478-10271-8
本体 ¥2,420〔税込〕



ヒッピーのはじまり

ヘレン・S・ペリー 著
作品社

既存の価値観が塗り潰したものを新しく掬い上げようとしていた。そのムーブメントは世界中で動き始めていた。ヒッピーのはじまりの地で、はじまりの時からフラワー・チルドレンに混じり、観察を続けた女性による鮮烈な記録。

東京・中日新聞 2021/07/17

2021:5./ 314p
978-4-86182-845-4
本体 ¥2,970〔税込〕



直向きに勝つ～近代コーチの祖・岡部平太～

橘 京平 著
忘羊社

争うのではない。競うのだ。学生最強の柔道家として大正初期に単身渡米し、科学的スポーツ論を引っさげ帰国。根拠なき精神論と権威に抗い、GHQ から「平和台」を奪還し、「スポーツの神様」と呼ばれた男の生涯を描く。

東京・中日新聞 2021/07/18

2021:7./ 270p
978-4-907902-28-5
本体 ¥2,090〔税込〕



月下のサクラ

柚月 裕子 著
徳間書店

事件現場で収集した情報を解析・プロファイリングする機動分析係に配属された森口泉は、早速当て逃げ事件の捜査を開始。そんな折、会計課の金庫から約1億円が盗まれていることが発覚し…。『アサヒ芸能』連載を加筆訂正。

東京・中日新聞 2021/07/18

2021:5./ 380p
978-4-19-865153-4
本体 ¥1,870〔税込〕



ランボーはなぜ詩を棄てたのか(インターナショナル新書 072)

奥本 大三郎 著
集英社インターナショナル

傲慢、粗暴の故に詩壇を追われ、20歳で詩を放棄した19世紀フランスの天才詩人・ランボー。詩や手紙などからその生涯を追い、最も難解な散文詩「イリュミネーション」に秘められた“詩を棄てた理由”を読み解く。

東京・中日新聞 2021/07/24

2021:6./ 269p
978-4-7976-8072-0
本体 ¥990〔税込〕



オリンピック反対する側の論理～東京・パリ・ロスをつなぐ世界の反対運動～

ジュールズ・ボイコフ／井谷 聡子／鵜飼 哲 著
作品社

オリンピック研究の世界的第一人者が、平昌、リオ、ロンドン、そして東京、ロス、パリのオリンピック開催地・予定地で調査・取材を行い、世界に広がる五輪反対の動き、その論理と社会的背景をまとめる。

東京・中日新聞 2021/07/25

2021:4./ 288p
978-4-86182-846-1
本体 ¥2,970〔税込〕





9条の戦後史(ちくま新書 1569)

加藤 典洋 著

筑摩書房

憲法 9 条をどのように使うことがいま必要なのか。日米安保条約締結から、冷戦終結後、対米従属を深め混迷にいたる現在まで。戦後史の深層を丹念に掘り起こし、ゼロからの問いを提起する。「9 条入門」の続篇。

東京・中日新聞 2021/07/25

2021:5./ 555p

978-4-480-07402-7

本体 ¥1,430〔税込〕



父ちゃんの料理教室

辻 仁成 著

大和書房

あのね、料理は特別なことじゃないんだよ。まずはキッチンに立ってごらん。シングルファザーとして毎日食事を作り続けてきた作家・辻仁成が、17 歳の息子に料理と人生のことを伝える。

東京・中日新聞 2021/07/31

2021:5./ 141p

978-4-479-39365-8

本体 ¥1,650〔税込〕



薔薇の名前<上>

ウンベルト・エーコ 著

東京創元社

読売新聞 2021/07/04

1990:1./ 413p

978-4-488-01351-6

本体 ¥2,530〔税込〕



薔薇の名前<下>

ウンベルト・エーコ 著

東京創元社

読売新聞 2021/07/04

1990:1./ 426p

978-4-488-01352-3

本体 ¥2,530〔税込〕



制度・制度変化・経済成果

ダグラス・C. ノース、竹下公視 著

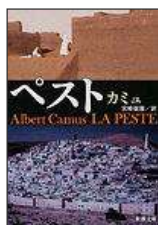
晃洋書房

読売新聞 2021/07/04

1994:12./ 213p

978-4-7710-0758-1

本体 ¥2,750〔税込〕



ペスト 改版(新潮文庫)

カミュ 著

新潮社

読売新聞 2021/07/04

2004:1./ 476p

978-4-10-211403-2

本体 ¥825〔税込〕



1976 に東京で

田澤 拓也 著

河出書房新社

津軽から東京、そして出版社へ。すべてが終わり、そして始まってもしなかった時代の中で、ルサンチマンを抱き生きる青年の苦悩と旅立ちを描いた 1976 年の物語。

読売新聞 2021/07/04

2021:4./ 201p

978-4-309-02957-3

本体 ¥1,980〔税込〕





10 年後の世界を生き抜く教育～日本語・英語・プログラミングをどう学ぶか～ (祥伝社黄金文庫 G も 5-1)

茂木健一郎／竹内薫 著

祥伝社

日本の古い教育では、AI 時代に必要とされる技能を習得できない。世界と互角に戦うために何を学ぶべきか、本当に創造的な知性を育む「トライリンガル教育」とは何か、科学的視点から徹底討論。

2021:6./ 257p

978-4-396-31807-9

本体 ¥836〔税込〕



読売新聞 2021/07/04



半分世界(創元 SF 文庫 SF い 1-1)

石川 宗生 著

東京創元社

ある朝突然、縦に半分になった家で、平然と暮らし続ける一家とその観察に没頭する人々を描く表題作をはじめ、会社から帰宅途中の吉田大輔氏が一瞬にして 19329 人となる「吉田同名」など、全 4 編を収録。

2021:1./ 338p

978-4-488-78801-8

本体 ¥924〔税込〕



読売新聞 2021/07/04



はじめて学ぶフランスの歴史と文化

上垣 豊 編

ミネルヴァ書房

フランスってどんな国? 中世?近現代フランスの歴史・文化を理解できる入門書。時代順の通史で主要な流れがつかめるとともに、モードや食、建築、音楽や映画など、数々の魅力あふれるトピックも盛り込む。

2020:3./

12p,313p,14p

978-4-623-08778-5

本体 ¥3,520〔税込〕



読売新聞 2021/07/04



げんじものがたり

講談社

“今”の京都の声で源氏物語がよみがえる! 「桐壺」帖から「葵」帖までの 9 帖を、原文に忠実に訳した、作家・いしいしんじによる平安京のダイベストセラー恋愛物語。『京都新聞』連載を加筆修正して単行本化。

2021:4./ 301p

978-4-06-521408-4

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/07/04



介助の仕事～街で暮らす/を支える～(ちくま新書 1558)

立岩 真也 著

筑摩書房

圧倒的に人手不足な介助の世界。どうすればこの状況をマシにできるのか。仕事のあり方から制度のことまで、利用者にとっても大事なことを述べ、介護の仕事への対価の問題も含めて厳しい状況も変えていけると説く。

2021:3./ 238p

978-4-480-07383-9

本体 ¥902〔税込〕



読売新聞 2021/07/04



冠(コロナ)<廃墟の光>～オリンピア 1996～(新潮文庫 さ-7-42)

沢木 耕太郎 著

新潮社

父祖の地アテネを押しわけ、グローバル資本を背景に開幕した 1996 年のアトランタ・オリンピック。全日程をつぶさにレポートした著者が、一見華やかだが、巨体に悶え、岐路に立たされる五輪の姿をレポートする。

2021:6./ 471p

978-4-10-123527-1

本体 ¥825〔税込〕



読売新聞 2021/07/04



自粛するサル、しないサル(幻冬舎新書 ま-14-1)

正高 信男 著
幻冬舎

自粛派は生物の本能として感染症を怖がる「サルの」で、反自粛派は理屈で恐怖感を抑制できる「ヒト的」。新型コロナ危機での対立はなぜ生まれたのか。両者は果たしてわかり合えるのか。サル学者によるコロナ文化論。

読売新聞 2021/07/04

2021:5./ 190p
978-4-344-98624-4
本体 ¥924〔税込〕



中国 vs. 世界～呑まれる国、抗う国～(PHP 新書 1260)

安田 峰俊 著
PHP研究所

政界の「中国化」が進むカナダ、人権問題に抗議する豪州…。中国に対峙する 12 か国のリアルを活写。日本にもあるスパイ養成機関(?)・孔子学院への潜入記なども収録する。『Voice』連載に加筆修正して新書化。

読売新聞 2021/07/04

2021:5./ 229p
978-4-569-84947-8
本体 ¥1,012〔税込〕



大林宣彦メモリーズ

キネマ旬報社 編
キネマ旬報社

1977 年「HOUSE ハウス」から 2020 年「海辺の映画館-キネマの玉手箱」まで。出演者、スタッフ、仲間たち、そして大林監督自身のことばによって、映画作家・大林宣彦その人と大林映画の魅力を語りつくす。

読売新聞 2021/07/04

2021:4./ 583p
978-4-87376-477-1
本体 ¥6,160〔税込〕



立ち上がれ、何度でも～STRONG STYLE～(文春文庫 ゆ 14-1)

行成 薫 著
文藝春秋

小学校の同級生・大河と虎太郎はプロレスを通して仲良くなるが、ある事故を機に離れる。その後、大河はトップレスラーへの道を駆け上がり、虎太郎は教師から悪役レスラーに。強さとは何かを求め続けるふたりはやがて…。

読売新聞 2021/07/04

2021:6./ 349p
978-4-16-791707-4
本体 ¥935〔税込〕



舟越直木

舟越直木 著
求龍堂

彫刻と絵画の間を自在に行き来し、形式にとらわれない、みずみずしさと神話性に満ちた多様な作品を生み出した舟越直木の、珠玉の作品 95 点を収録。彫刻家・舟越桂らによるテキスト、直木自身の言葉、年譜なども掲載する。

読売新聞 2021/07/04

2021:4./ 143p
978-4-7630-2115-1
本体 ¥5,500〔税込〕



エーコ『薔薇の名前』～迷宮をめぐる<はてしない物語>～(世界を読み解く一冊の本)

図師 宣忠 著
慶應義塾大学出版会

エーコ「薔薇の名前」の緻密な物語はディテールを押さえてこそ楽しめる。エーコの想像力の源泉にして“舞台装置”である中世ヨーロッパを、背景知識から解説。知の巨人が作り上げた世界を、鳥の目と虫の目を通じて読み解く。

読売新聞 2021/07/04

2021:4./ 4p,235p
978-4-7664-2559-8
本体 ¥2,640〔税込〕





悲劇の世界遺産～ダークツーリズムから見た世界～(文春新書 1313)

井出 明 著
文藝春秋

世界遺産には、光と影の両義性が含まれている。戦争や災害などの悲劇の記憶を巡る旅=ダークツーリズムの視点から、アウシュビッツ強制収容所、産業遺産、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産、震災遺構等を掘り下げる。

2021:5./ 220p
978-4-16-661313-7
本体 ¥1,210〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 6 1 3 1 3 7 *

読売新聞 2021/07/04



博覧男爵

志川節子 著
祥伝社

信州飯田で生まれ育った田中芳男。幕末の巴里万博で欧米文化の底力を痛感し、町田久成や大久保利通らと挑戦し続け、現代の東京国立博物館や国立科学博物館等の礎を築いていく…。『小説 NON』掲載に加筆・訂正して単行本化。

2021:5./ 400p
978-4-396-63606-7
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 3 9 6 6 3 6 0 6 7 *

読売新聞 2021/07/04、東京・中日新聞 2021/07/18



高地文明～「もう一つの四大文明」の発見～(中公新書 2647)

山本 紀夫 著
中央公論新社

アンデス、メキシコ、チベット、エチオピアの熱帯高地に生まれ、発展してきた 4 つの古代文明を紹介。精巧な建築物から、環境に根ざした独特な栽培技術や家畜飼育の方法、特色ある宗教まで、知られざる文明の全貌を解き明かす。

2021:6./ 4p,323p
978-4-12-102647-7
本体 ¥1,155〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 1 0 2 6 4 7 7 *

読売新聞 2021/07/04、毎日新聞 2021/07/17



物理法則はいかにして発見されたか(岩波現代文庫)

R. P. ファインマン、江沢 洋 著
岩波書店
物理の世界に万人を誘う楽しい入門書

2001:3./ 329p
978-4-00-600048-6
本体 ¥1,496〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 6 0 0 0 4 8 6 *

読売新聞 2021/07/11



ロウソクの科学(岩波文庫)

マイケル・ファラデー 著
岩波書店

一本のロウソクに火を点(とも)せば、深遠な科学の世界への扉が開く。製本工から夢を叶え、偉大な科学者になったファラデー(1791-1867)が、もっとも愛した聴衆一少年少女に語りかけ、実験をくりひろげる名講義。世界中で愛読されてきた本書は今なお科学の精神を生き生きと伝える。現代の読者のために詳細な訳注を付す。(新訳)

2010:9./ 280p
978-4-00-339091-7
本体 ¥858〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 3 3 9 0 9 1 7 *

読売新聞 2021/07/11



ホーキング、宇宙を語る～ビッグバンからブラックホールまで～(ハヤカワ文庫 NF)

スティーヴン・W・ホーキング 著
早川書房

読売新聞 2021/07/11

1995:4./ 268p
978-4-15-050190-7
本体 ¥814〔税込〕
* 9 7 8 4 1 5 0 5 0 1 9 0 7 *



頭の体操<第1集> パズル・クイズで脳ミソを鍛えよう(光文社文庫)

多湖 輝 著

光文社

読売新聞 2021/07/11

1999/4/ 214p

978-4-334-72805-2

本体 ¥544〔税込〕



科学者に委ねてはいけないこと～科学から「生」をとりもどす～

調 麻佐志 編

岩波書店

科学は信頼を失ったのか? “3.11”から 2 年間の雑誌『科学』掲載の論文をもとに原則に立ち返り、科学と科学者の望ましいあり方を模索する。

読売新聞 2021/07/11

2013/9/ 6p,136p

978-4-00-005218-4

本体 ¥2,860〔税込〕



ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー～The Real British Secondary School Days～(新潮文庫 ふ-57-2)

ブレイディ みかこ 著

新潮社

優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜの「元・底辺中学校」。世界の縮図のような日常を、思春期真っ只中の「ぼく」と著者である母は、ともに考え悩み乗り越え...

読売新聞 2021/07/11

2021/7/ 332p

978-4-10-101752-5

本体 ¥693〔税込〕



ゲッチョ先生と行く沖縄自然探検(岩波ジュニア新書 936)

盛口 満 著

岩波書店

博物学者ゲッチョ先生が、生き物の宝庫・沖縄を案内! 沖縄島、宮古島、石垣島、西表島、与那国島を中心として、島々の個性的な自然や文化を、臨場感あふれるイラストと共に紹介します。

読売新聞 2021/07/11

2021/6/ 11p,237p,5p

978-4-00-500936-7

本体 ¥1,012〔税込〕



蠅の王 新訳版(ハヤカワ epi 文庫 90)

ウィリアム・ゴールディング、黒原 敏行 著

早川書房

飛行機が墜落し、無人島にたどりついた少年たち。協力して生き抜こうとするが、次第に緊張が高まり、暗闇に潜むという<獣>に対する恐怖が募り...。ノーベル賞作家の代表作を新訳で紹介する。

読売新聞 2021/07/11

2017/4/ 367p

978-4-15-120090-8

本体 ¥1,100〔税込〕



伊藤整日記<1> 一九五二-一九五四年

伊藤 礼 編

伊藤 整 著

平凡社

詩人、小説家、評論家、翻訳家、裁判被告にして大学教授-。戦後文壇代表者、伊藤整の日記。1 は、「日本文壇史」が始まり、伊藤整ブームがやって来た 1952?1954 年を収録。英文日記も掲載。

読売新聞 2021/07/11

2021/3/ 355p

978-4-582-36531-3

本体 ¥4,620〔税込〕





リボルバー

原田 マハ 著
幻冬舎

ゴッホは本当にピストル自殺をしたのか? フィンセント・ファン・ゴッホと彼にまつわる物語を、現代に生きるオークションスト・高遠冨の目線で描いたアート・ミステリ。『小説幻冬』連載に加筆修正し単行本化。

読売新聞 2021/07/11

2021:5./ 321p
978-4-344-03769-4
本体 ¥1,760〔税込〕



伊藤整日記<2> 一九五五-一九五六年

伊藤 礼 編
伊藤 整 著
平凡社

詩人、小説家、評論家、翻訳家、裁判被告にして大学教授-。戦後文壇代表者、伊藤整の日記。2 は、「感傷夫人」を終え、「ユリシイズ」改訳を出し、文学全集の編集に参加するなどした 1955?1956 年を収録。

読売新聞 2021/07/11

2021:4./ 305p
978-4-582-36532-0
本体 ¥4,620〔税込〕



ピダハン〜「言語本能」を超える文化と世界観〜

ダニエル・L.エヴェレット、屋代 通子 著
みすず書房

ブラジルの先住民「ピダハン」には、数も、右と左の概念も、色名も、神もない。30 年にわたり何度も彼らの村を訪ねてきた著者が、あらゆる西欧的な普遍幻想を揺さぶるピダハンの言語とユニークな認知世界を描く。

読売新聞 2021/07/11

2012:3./ 390p,8p
978-4-622-07653-7
本体 ¥3,740〔税込〕



完本アイヌの碑(朝日文庫 か 11-2)

萱野茂 著
朝日新聞出版

アイヌの一人として、アイヌ民具の保存継承とアイヌの言葉の再生に取り組んだ著者。北海道二風谷を背景に、一族が背負った過酷な歴史から豊かな文化までを静かな筆致で記した名著。続編「イヨマンテの花矢」も収録。

読売新聞 2021/07/11

2021:7./ 436p
978-4-02-262052-1
本体 ¥1,100〔税込〕



数の発明〜私たちは数をつくり、数につくられた〜

ケイレブ・エヴェレット 著
みすず書房

数万年前の狩人が骨に残した刻み目、1+1 を理解する新生児のまなざし。数を持たないピダハン族と暮らした著者が、考古学、言語学、認知科学、生物学、神経科学を横断し、数の発明の経緯を探り、その影響を展望する。

読売新聞 2021/07/11

2021:5./ 286p,33p
978-4-622-08964-3
本体 ¥3,740〔税込〕





回顧百年～相沢英之オーラルヒストリー～

中澤 雄大 編

相沢 英之、伊藤 隆、清家 彰敏 著

かまくら春秋社

日中戦争、シベリア抑留、角福戦争、ロッキード事件、バブル崩壊…。大蔵官僚、衆議院議員として激動の時代・政界を生き抜いた相沢英之が、時に虫の目で、時に鳥の目で語った国家百年の歴史と政治・人間ドキュメント。

2021:4./ 742p

978-4-7740-0827-1

本体 ¥7,700〔税込〕



読売新聞 2021/07/11



独楽の科学～回転する物体はなぜ倒れないのか?～(ブルーバックス B-2078)

山崎 詩郎 著

講談社

コマの首振り運動はどうして起こる? コマが示す「歳差運動」や「ジャイロ効果」を科学実験でわかりやすく解説。おもちゃのコマから、電子のスピン、ブラックホールの回転まで、世界を支える回転の秘密を解き明かす。

2018:11./ 253p

978-4-06-513855-7

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/07/11



囚人のメロスたち～関東大震災と二十四時間の解放～(集英社文庫 さ 66-1)

坂本 敏夫 著

集英社

1923年9月1日、巨大な地震が関東を襲った。横浜刑務所の典獄・椎名通蔵は、囚人たちの安全のため、彼らを“解放”することに決めた。条件は一つ、24時間以内に再び帰ってくる。ノンフィクションノベル。

2021:5./ 366p

978-4-08-744246-5

本体 ¥814〔税込〕



読売新聞 2021/07/11



こちら副業推進部、事件です(宝島社文庫 このミス大賞 C あ-27-1)

阿部 考二 著

宝島社

全社員に副業が義務づけられたレッツ株式会社の社長が殺害された。容疑者は3人の役員。副業推進部の若槻早苗は、「赦しのサクラメント」なる副業を始めた変人・お客様相談室の西園寺を頼って会社の危機に立ち向かう!

2021:6./ 276p

978-4-299-01575-4

本体 ¥770〔税込〕



読売新聞 2021/07/11



ひきなみ

千早 茜 著

KADOKAWA

瀬戸内の島で小学校最後の年を過ごすことになった葉。からかう男子から守ってくれたことを機に、同級生の真以に心を寄せ始めるが、真以は何も告げずに脱獄犯の男と姿を消し…。『小説野性時代』連載に加筆修正し単行本化。

2021:4./ 261p

978-4-04-110855-0

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/07/11



犬と歩けばワンダフル～密着! 猟犬猟師の春夏秋冬～

北尾 トロ 著

集英社

「猟犬」ってどんな犬? 彼らはいったい何をする犬で、ペット犬とどう違うのか、飼い主との関係はいかなるものなのか。犬が好きすぎる“猟犬猟師”の春夏秋冬に密着したドキュメンタリー。『青春と読書』連載に加筆修正。

2021:4./ 255p

978-4-08-781698-3

本体 ¥1,760〔税込〕



読売新聞 2021/07/11



伊藤整日記<3> 一九五七-一九五八年

伊藤 礼 編
伊藤 整 著
平凡社

詩人、小説家、評論家、翻訳家、裁判被告にして大学教授-。戦後文壇代表者、伊藤整の日記。3 は、チャタレー有罪確定、ペンクラブ国際大会など、渦巻のごとき日常からヨーロッパへと飛び出した 1957?1958 年を収録。

2021.5./ 453p
978-4-582-36533-7
本体 ¥4,840〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 2 3 6 5 3 3 7 *

読売新聞 2021/07/11



『失敗』の日本史(中公新書ラクレ 719)

本郷 和人 著
中央公論新社

健康に気を配るべきだった上杉謙信、明智光秀に惚れ込みすぎた織田信長…。日本史を彩る英雄たちの失敗を取り上げ、その時代の特徴を分析しつつ、なぜそれが失敗だったのかを解明。「もし成功していたら」という推測も示す。

2021.3./ 286p
978-4-12-150719-8
本体 ¥946〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 1 5 0 7 1 9 8 *

読売新聞 2021/07/11



ここまで変わった!日本の歴史~24の最新説~(中公ムック 歴史と人物 5)

中央公論新社

歴史研究が深まるにつれて見直される日本史のトピック。「縄文時代、平等はウソ」「信長に全国統一の野望なし」など、研究成果を反映した、古代から近現代までの 24 の最新説を、広く知られた従來說と比較しながら紹介する。

2021.6./ 110p
978-4-12-800139-2
本体 ¥1,210〔税込〕
* 9 7 8 4 1 2 8 0 0 1 3 9 2 *

読売新聞 2021/07/11



私が作って私がときめく自家発電ブローチ集

光浦 靖子 著
文藝春秋

黒沢かずこ、清水ミチコ、ワサオ…。友達、先輩、憧れの人たちの笑い顔とかわいい動物が満載。手芸作家としても活動する光浦靖子のブローチ集。手芸エッセイ、大久保佳代子・目つきの悪い猫等のブローチの作り方も収録する。

2021.5./ 118p
978-4-16-391379-7
本体 ¥1,650〔税込〕
* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 3 7 9 7 *

読売新聞 2021/07/11



伊藤整日記<4> 一九五九-一九六〇年

伊藤 礼 編
伊藤 整 著
平凡社

詩人、小説家、評論家、翻訳家、裁判被告にして大学教授-。戦後文壇代表者、伊藤整の日記。4 はヨーロッパから帰国し「泉」「虹」を連載、谷崎全集解説を終え、コロンビア大学で学者生活を送った 1959?1960 年を収録。

2021.6./ 482p
978-4-582-36534-4
本体 ¥4,840〔税込〕
* 9 7 8 4 5 8 2 3 6 5 3 4 4 *

読売新聞 2021/07/11



ハルコロ<1>(岩波現代文庫 文芸 338)

石坂 啓、本多 勝一 著
岩波書店

和人が本格的に侵入する前の豊かな自然の中で、アイヌの人々はどんな暮らしを営んでいたのか。アイヌの少女・ハルコロが成長していく中で出会う様々な出来事、心ときめく青春の物語を通じて、アイヌの世界を生き生きと描く。

2021.6./ 277p
978-4-00-602338-6
本体 ¥1,430〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 6 0 2 3 3 8 6 *

読売新聞 2021/07/11、朝日新聞 2021/07/17



ハルコロ<2>(岩波現代文庫 文芸 339)

石坂 啓、本多 勝一 著

岩波書店

厳しくも豊かな自然のふところに抱かれたアイヌモシリの暮らしに、ゆつくりと戦乱の予兆が忍び寄る頃。アイヌ女性・ハルコロの生涯を軸に、日々の暮らしや祭り、誕生と死にまつわる文化など、アイヌの世界を生き生きと描く。

読売新聞 2021/07/11、朝日新聞 2021/07/17

2021:6./ 284p

978-4-00-602339-3

本体 ¥1,430〔税込〕



ロボット<R. U. R. >(岩波文庫)

チャペック、千野 栄一 著

岩波書店

読売新聞 2021/07/18

1989:4./ 207p

978-4-00-327742-3

本体 ¥726〔税込〕



「ハーフ」ってなんだろう?～あなたと考えるイメージと現実～(中学生の質問箱)

下地 ローレンス吉孝 著

平凡社

「ハーフ」などの言葉は浸透しているが、現実にはそれぞれの人がさまざまな経験をしている。社会構造やイメージを問い直し、一人ひとりの声を聞き、人権やメンタルヘルスについて考える。

読売新聞 2021/07/18

2021:4./ 223p

978-4-582-83866-4

本体 ¥1,760〔税込〕



スニーカーの文化史～いかにスニーカーはポップカルチャーのアイコンとなったか～

ニコラス・スミス、中山 有 著

フィルムアート社

競技場からストリートへ、ストリートから SNS へ。スニーカーはいかにして独自の地位を築き上げたのか? ライフスタイルとカルチャーの変革を見つめ、スニーカーの誕生から現在までをたどる。

読売新聞 2021/07/18

2021:4./ 349p,32p

978-4-8459-2017-4

本体 ¥2,200〔税込〕



社会思想としてのクラシック音楽(新潮選書)

猪木 武徳 著

新潮社

バッハが「薄給の公務員」に甘んじたのはなぜか? モーツァルトはなぜ「革新的な名曲」を連発できたか? 音楽と政治経済の深い結びつきを、社会科学の視点で描く。『考える人』連載に加筆修正。

読売新聞 2021/07/18

2021:5./ 291p,10p

978-4-10-603867-9

本体 ¥1,760〔税込〕



爆発する宇宙～138 億年の宇宙進化～(ブルーバックス B-2175)

戸谷 友則 著

講談社

ビッグバン、インフレーション、ガンマ線バースト、超新星爆発...宇宙は今も、いたるところで爆発している。宇宙の爆発現象を手がかりに、138 億年の宇宙進化を紐解き、科学の根源的な問いに迫る。

読売新聞 2021/07/18

2021:6./ 278p

978-4-06-524084-7

本体 ¥1,100〔税込〕





蝶のゆくへ(集英社文庫 は 45-3)

葉室 麟 著
集英社

明治 28 年、星りょう(後の相馬黒光)は、自分らしく生きたいと願い、北村透谷や島崎藤村らが教師を務める明治女学校へ入学する。りょうは、新しい生き方を希求する明治の女性たちと心を通わせていき…。

2021.6./ 386p
978-4-08-744260-1
本体 ¥836〔税込〕



読売新聞 2021/07/18



平井呈一 生涯とその作品

荒俣 宏 編
紀田 順一郎 著
松籟社

ラフカディオ・ハーンの諸作品や、英米怪奇文学の翻訳者として著名な平井呈一の生涯を、広範な資料調査と関係者への綿密な取材をもとにたどる。未発表の小説 3 作、評論や随筆、俳句、縁者の回想録等も併載。

2021.5./ 471p
978-4-87984-407-1
本体 ¥2,640〔税込〕



読売新聞 2021/07/18



評伝福田赳夫～戦後日本の繁栄と安定を求めて～

岩波書店

「平和大国」をめざした外交活動を展開、抜群の政策能力で経済危機を抑え込み、戦後社会を繁栄と安定へと導いた福田赳夫元総理。未公開の「福田メモ」や日記、外交文書などを活用し、その実像に迫った本格評伝。

2021.6./ 22p,680p
978-4-00-024544-9
本体 ¥5,280〔税込〕



読売新聞 2021/07/18



三国志入門(文春新書 1302)

宮城谷 昌光 著
文藝春秋

中国歴史小説の第一人者が、雄大な「三国志」の世界へいざなう入門書。「演義」と「正史」の違いから、曹操、劉備、孫権、呂布など英雄たちの生涯、「泣いて馬謖を斬る」などの名言の由来までを易しく解説する。

2021.3./ 307p
978-4-16-661302-1
本体 ¥1,045〔税込〕



読売新聞 2021/07/18



ひみつのたべもの

松井玲奈 著
マガジンハウス

レストランで出会う特別な一皿から深夜に衝動的にすすりたくなるカップ?、実家の忘れられない味まで、「食」をテーマに過去のことや日々感じたことを綴ったエッセイ。『anan』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021.4./ 223p 図版 8 枚

978-4-8387-3147-3
本体 ¥1,540〔税込〕



読売新聞 2021/07/18



わたしはイモムシ

桃山 鈴子 著
工作舎

体長わずか数センチのイモムシを虫眼鏡で覗き込むと、そこには小さな天の川のような世界が広がっていた。虫愛づる画家による、細密点描イモムシ画譜。飼育観察しながら描いた作品 68 点を収録する。エッセイも掲載。

2021.6./ 147p
978-4-87502-527-6
本体 ¥4,180〔税込〕



読売新聞 2021/07/18



そもそも植物とは何か
フロランス・ビュルガ 著
河出書房新社

植物は人間の五感に相当する感覚を持つのか。フッサールやメルロ＝ポンティの現象学をベースに「植物の生命と存在」について考察。「植物は人間や動物とは異なる存在であり、感覚も知性もない」ことを丁寧に解説する。

読売新聞 2021/07/18

2021:4./ 232p
978-4-309-25422-7
本体 ¥2,585〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 2 5 4 2 2 7 *



愛についてのデッサン〜野呂邦暢作品集〜(ちくま文庫 16-1)

岡崎 武志 編
野呂 邦暢 著
筑摩書房

古本屋稼業に静かな情熱を燃やす若き店主・佐古啓介が、謎めいた恋や絡みあう人間模様を、古書を通してそれぞれの事情を解き明かし…。異色の青春小説として人気の表題作ほか、現在は入手困難な短篇小説も収録した作品集。

読売新聞 2021/07/18

2021:6./ 414p
978-4-480-43749-5
本体 ¥990〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 7 4 9 5 *



カモフラージュ(集英社文庫 ま 33-1)

松井 玲奈 著
集英社

メイドになりたい一心で上京した 18 歳の“いとうちゃん”は、メイド喫茶で働き始めるものの、ストレスから体重が増加して…。恋愛からホラーまで、「食」にまつわる多彩な物語を収めた短編集。書き下ろしを加えて文庫化。

読売新聞 2021/07/18

2021:5./ 269p
978-4-08-744244-1
本体 ¥660〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 4 4 2 4 4 1 *



イラストで見る昭和の消えた仕事図鑑(角川ソフィア文庫 J134-1)

澤宮 優 著
KADOKAWA

渡し船の船頭、水芸人、灯台守、新聞社伝書鳩係…。懐かしの職業から裏商売、過酷な肉体労働まで。激動の時代を支え、高度経済成長と合理化の末に消えていった昭和の仕事 114 種の収入や業務内容をイラスト付きで紹介する。

読売新聞 2021/07/18

2021:2./ 503p
978-4-04-400498-9
本体 ¥1,628〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 4 0 0 4 9 8 9 *



累々
松井 玲奈 著
集英社

2 年付き合った彼氏からプロポーズを受けた 23 歳の小夜。自分の年齢が結婚に適しているのかわからず、煮え切らない返事をしてしまうが…。松井玲奈による、たくらみに満ちた「恋愛」小説集。『小説すばる』掲載を加筆修正。

読売新聞 2021/07/18

2021:1./ 206p
978-4-08-771735-8
本体 ¥1,540〔税込〕
* 9 7 8 4 0 8 7 7 1 7 3 5 8 *



輝け!キネマ〜巨匠と名優はかくして燃えた〜(ちくま文庫 に 20-1)

西村 雄一郎 著
筑摩書房

小津安二郎と原節子、溝口健二と田中絹代、木下恵介と高峰秀子ら日本映画の黄金期を支えた巨匠と名優たち。名作の誕生の裏に隠された壮絶な人間ドラマを紹介。NHK 第 2「カルチャーラジオ」の放送内容を大幅に改稿し文庫化。

読売新聞 2021/07/18

2021:6./ 285p
978-4-480-43747-1
本体 ¥880〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 0 4 3 7 4 7 1 *



越境者(創元推理文庫 Mホ 16-2)

C・J・ボックス 著

東京創元社

巨大製薬会社の跡取りが失踪。暗殺業を営んでいるらしきテンプレートンの標的となった可能性があるという。事件の影に盟友ネイトが!? 猟区管理官のジョーは、情報収集のためテンプレートンの本拠地へ赴くが…。冒険サスペンス。

2021:6./ 489p

978-4-488-12714-5

本体 ¥1,430〔税込〕



読売新聞 2021/07/18



昭和十八年幻の箱根駅伝～ゴールは靖国、そして戦地へ～(集英社文庫 さ 60-4)

澤宮 優 著

集英社

軍部の圧力で中止された箱根駅伝は、昭和18年、戦勝祈願という名目で、靖国神社をスタート地点として開催にこぎつけた。しかし多くの関係者はその後なぜ口を閉ざしたのか。幻の大会の全貌を徹底取材で描くノンフィクション。

2020:12./ 261p

978-4-08-744193-2

本体 ¥660〔税込〕



読売新聞 2021/07/18



武士道シックスティーン(文春文庫)

誉田 哲也 著

文芸春秋

日舞から剣道に飛び込んだ柔の早苗と剣道エリート of 剛の香織。青春を剣道にかけろ傑作エンターテインメント。この春映画化決定！

2010:2./ 414p

978-4-16-778001-2

本体 ¥814〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



バッテリー(角川文庫)

あさの あつこ 著

角川書店

中学入学を目前に控えた春休み、父の転勤で岡山の県境の街に引っ越してきた巧。ピッチャーとしての自分の才能を信じ、ストイックにトレーニングに励む巧の前に同級生の豪が現れ、バッテリーを組むが……。

2003:12./ 262p

978-4-04-372101-6

本体 ¥572〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



ダイブ！！<上>(角川文庫)

森 絵都／藤田 知子 著

角川書店

高さ 10 メートルから時速 60 キロで飛び込み、技の正確さと美しさを競うダイビング。赤字経営のクラブ存続の条件はなんとオリンピック出場だった。少年たちの長く熱い夏が始まる。小学館児童出版文化賞受賞作。

2006:6./ 367p

978-4-04-379103-3

本体 ¥704〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



ダイブ！！<下>(角川文庫)

森 絵都／藤田 知子 著

角川書店

運命のオリンピック選考会を前に少年たちに襲いかかるプレッシャーや故障。自分の内定が大人達の都合だと知った要一は、辞退して実力で枠を勝ち取ると言い出したのだが…。感動のラストへ向けて、勢いは止まらない！

2006:6./ 381p

978-4-04-379104-0

本体 ¥704〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



2001 年宇宙の旅 決定版(ハヤカワ文庫 SF)

アーサー・C・クラーク 著

早川書房

三百万年前に地球に出現した謎の石板は、ヒトザルたちに何をしたか。月面に発見された同種の石板は、人類にとって何を意味するのか。宇宙船のコンピュータ HAL9000 は、なぜ人類に反乱を起こしたのか。唯一の生存者ポーマンはどこへ行き、何に会い、何に変貌したのか.....作者の新版序文を付した傑作の決定版!

1993:2./ 330p

978-4-15-011000-0

本体 ¥880〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



一瞬の風になれ<第1部> イチニツイテ(講談社文庫)

佐藤 多佳子 著

講談社

春野台高校陸上部、1年、神谷新二。スポーツ・テストで感じたあの疾走感.....ただ、走りたい。天才的なスプリンター、幼なじみの連と入ったこの部活。すげえ走りを俺にもいつか。デビュー戦はもうすぐだ。「おまえらが競うようになったら、ウチはすげえチームになるよ」。青春陸上小説、第1部、スタート! 2006 年本の雑誌が選ぶノンジャンルベスト 10 第1位。(講談社文庫) 春野台高校陸上部、1 年、神谷新二。スポーツ・テストで感じたあの疾走感.....ただ、走りたい。天才的なスプリンター、幼なじみの連と入ったこの部活。すげえ走りを俺にもいつか。デビュー戦はもうすぐだ。「おまえらが競うようになったら、ウチはすげえチームになるよ」。青春陸上小説、第一部、スタート!

2009:7./ 254p

978-4-06-276406-3

本体 ¥660〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



水を打つ~4×100~<上>(実業之日本社文庫)

堂場 瞬一 著

実業之日本社

読売新聞 2021/07/24

2010:10./ 398p

978-4-408-55002-2

本体 ¥712〔税込〕



仏果を得ず(双葉文庫 み-22-01)

三浦 しをん 著

双葉社

読売新聞 2021/07/24

2011:7./ 325p

978-4-575-51444-5

本体 ¥660〔税込〕



さよならドビュッシー(宝島社文庫 C な-6-1)

中山 七里 著

宝島社

読売新聞 2021/07/24

2011:1./ 415p

978-4-7966-7992-3

本体 ¥618〔税込〕



ひやくはち(集英社文庫 は 38-1)

早見 和真 著

集英社

読売新聞 2021/07/24

2011:6./ 366p

978-4-08-746714-7

本体 ¥748〔税込〕





あと少し、もう少し(新潮文庫 せ-12-3)

瀬尾 まいこ 著
新潮社

あの手に襷をつないで、力を振りしぼって、ゴールまであと少し。寄せ集めメンバーと頼りない先生の元で、最後の駅伝にのぞむ中学生たちの夏を描く青春小説。

読売新聞 2021/07/24

2015:3./ 361p
978-4-10-129773-6
本体 ¥693〔税込〕



アンチ整理術

森 博嗣 著
日本実業出版社

ものは散らかっているが、生き方は散らかっていない。散らかっても、作業が進めば、それが正解だろう。人気作家が、自由に楽しんで生きるために大切な思考・価値観を伝える。

読売新聞 2021/07/24

2019:11./ 253p
978-4-534-05735-8
本体 ¥1,540〔税込〕



小さな声、光る棚〜新刊書店 Title の日常〜

辻山 良雄 著
幻冬舎

荻窪に本屋を構えて5年。本を並べ、客の手に渡るまでを見届ける日々から見えること。効率、拡大、利便性...いまだ高速回転する世界に響く日常エッセイ。『幻冬舎plus』連載に加筆・修正。

読売新聞 2021/07/24

2021:6./ 238p
978-4-344-03804-2
本体 ¥1,760〔税込〕



楽園のカンヴァス(新潮文庫 は-63-1)

原田 マハ 著
新潮社

ニューヨーク近代美術館の学芸員ティムは、スイスの大邸宅で巨匠アンリ・ルソーの大作「夢」とそっくりな絵を目にした。ティムは絵の真贋をめぐる、日本人研究者の早川織絵と火花を散らす。

読売新聞 2021/07/24

2014:7./ 440p
978-4-10-125961-1
本体 ¥781〔税込〕



蜜蜂と遠雷<下>(幻冬舎文庫 お-7-15)

恩田 陸 著
幻冬舎

2次予選での課題曲「春と修羅」。マサルの演奏は素晴らしかった。が、明石は自分の「春と修羅」に自信を持ち、勝算を感じていた。3次、本選に勝ち進むのは誰か。そして優勝を手にするのは...

読売新聞 2021/07/24

2019:4./ 508p
978-4-344-42853-9
本体 ¥803〔税込〕



うん古典〜うんこで読み解く日本の歴史〜

大塚 ひかり 著
新潮社

うんこから神が生まれる「古事記」、「風土記」の神のうんこ我慢比べ、「万葉集」の糞の歌、「往生要集」のうんこ地獄...。古典の「うんこ話」が生まれた時代背景や歴史状況、当時の日本人の心性に迫る。

読売新聞 2021/07/24

2021:4./ 182p
978-4-10-335094-1
本体 ¥1,705〔税込〕





ボックス!<下>(講談社文庫 ひ 43-6)

百田 尚樹 著

講談社

稲村に勝つため、鎬矢は階級転向を希望するが監督はそれを認めない。一方、優紀は鎬矢と戦いたい一心で、デビュー戦に向けた練習を重ねていた。そして幼なじみ 2 人がグローブを重ねる瞬間がやってくる...

2013:4./ 418p

978-4-06-277536-6

本体 ¥858〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



なぜとき深海 1 万メートル〜暗黒の「超深海」で起こっていること〜

蒲生 俊敬/窪川 かおる 著

講談社

太陽の光が届かない、暗黒と高圧の世界、深海。そこにはどのような地形があるのだろうか？ 深海の水はどのように動いているのだろうか？ 人類の潜航の歴史をふりかえり、深海・超深海科学の最前線に迫る。

2021:3./ 255p

978-4-06-522548-6

本体 ¥1,980〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



蜜蜂と遠雷<上>(幻冬舎文庫 お-7-14)

恩田 陸 著

幻冬舎

芳ヶ江国際ピアノコンクール。自宅に楽器を持たない少年・風間塵、かつての天才少女・栄伝亜夜、サラリーマン・高島明石、優勝候補・マサル。天才たちによる、競争という名の自らの闘い。その火蓋が切られた。

2019:4./ 454p

978-4-344-42852-2

本体 ¥803〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



安全保障戦略

兼原 信克 著

日本経済新聞出版社

日本の安全保障政策体制の発展過程から官邸の機能、日米同盟、歴史戦、中国・韓国との付き合い方、日本の領土の現状まで、安全保障政策について網羅的に解説。制度の背景、歴史的経緯、日本の課題を明らかにする。

2021:4./ 5p,429p

978-4-532-17696-9

本体 ¥3,630〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



相棒(中公文庫 か 18-15)

金子 光晴/森 三千代 著

中央公論新社

貧乏暮らしあり浮気ありで 50 年、放浪詩人とその妻はよき相棒-。金子光晴の日本論、女性論から交友録、森三千代のパリ印象記、金子の肖像まで、ふたりの自選によるエッセイ集。全集未収録の夫婦往復書簡を増補。

2021:5./ 333p

978-4-12-207064-6

本体 ¥1,100〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



海の鎖(未来の文学)

ガードナー・R・ドゾワ 著

国書刊行会

トミーだけは気づいていた-。異星人による侵略を少年の視点から緻密かつ鮮烈に描き、破滅 SF の傑作として名高いガードナー・R・ドゾワの表題作ほか、SF 翻訳家・伊藤典夫が独自の審美眼で精選した全 8 篇を収録。

2021:6./ 335p

978-4-336-05325-1

本体 ¥2,860〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



ボックス!<上>(講談社文庫 ひ 43-5)

百田 尚樹 著

講談社

天才的なボクシングセンスをもつお調子者の鐺矢義平と、勉強は得意だが運動は苦手な木樽優紀。真逆な性格の幼なじみ 2 人が恵比寿高校ボクシング部に入部した。そして、鐺矢の前にボクシング界最強の男、稲村が現れて...

2013:4./ 401p

978-4-06-277535-9

本体 ¥814〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



狼たちの城(扶桑社ミステリー ヘ 9-1)

アレックス・ペール 著

扶桑社

第二次世界大戦の末期、ニュルンベルクのユダヤ人古書店主イザークにポーランド移送の通知が届いた。彼は絶望のなか、レジスタンスに関わる元恋人に助けを求めるが、彼女が用意したのはゲシュタポ犯罪捜査官の身分証で...

2021:6./ 463p

978-4-594-08803-3

本体 ¥1,320〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



氷上のフェニックス(角川文庫 こ 50-2)

小宮 良之 著

KADOKAWA

フィギュアスケートの盛んな岡山市で生まれた星野翔平は、7 歳で競技を始めた。幼馴染のライバル・凌太を追いかけながら、高みを目指していき...。高橋大輔、宇野昌磨らを取材してきた著者が描く、フィギュアスケート小説。

2020:12./ 238p

978-4-04-109577-5

本体 ¥836〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



月と六ペンス(新潮文庫 モ-5-5)

サマセット・モーム 著

新潮社

ロンドンで、仕事、家庭と何不自由ない暮らしを送っていた男がある日、忽然と行方をくらませた。40 をすぎた男が、すべてを捨てて挑んだこととは...。天才画家の情熱の生涯を描き、正気と狂気が混在する人間の本質に迫る。

2014:4./ 378p

978-4-10-213027-8

本体 ¥693〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



エレジーは流れない

三浦 しをん 著

双葉社

のどかでさびれた温泉街に暮らす高校2年生の怜は、複雑な家庭の事情、迫りくる進路選択、自由奔放な友人たちに振り回される日々を送っている。そんななか、博物館から縄文式土器が盗まれ...。『小説推理』連載に加筆・修正。

2021:4./ 256p

978-4-575-24397-0

本体 ¥1,650〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



若冲(文春文庫 さ 70-1)

澤田 瞳子 著

文藝春秋

伊藤若冲は、妻を亡くしてからひたすら絵に打ち込み、やがて独自の境地を極めた。若冲を姉の仇と憎み、贋作を描き続ける義弟・弁蔵との確執や、池大雅、与謝蕪村らとの交流、政治的背景から若冲の画業の秘密に迫る時代長篇。

2017:4./ 393p

978-4-16-790825-6

本体 ¥825〔税込〕



読売新聞 2021/07/24



野球が好きすぎて

東川 篤哉 著
実業之日本社

アリバイは阪神 vs. 広島戦? 捜査一課刑事の神宮寺つばめと謎のカープ女子が、野球ファンが起こす珍事件を名推理。カープファンである著者が全力投球した痛快ミステリ。『web ジェイ・ノベル』等掲載に書き下ろしを追加。

読売新聞 2021/07/24

2021.5./ 248p
978-4-408-53781-8
本体 ¥1,760〔税込〕



山崎正和の遺言

片山 修 著
東洋経済新報社

劇作家・批評家として日本の「知」を牽引し、「サントリー文化財団」を舞台に「知のサロン」を創造・演出した山崎正和。時代背景やキーパーソンの歴史的証言をもとに、「戦後最大の知識人」の肖像を描く。インタビューも収録。

読売新聞 2021/07/24

2021.6./ 5p,332p,5p
978-4-492-22399-4
本体 ¥2,420〔税込〕



近世蝦夷地の地域情報～日本北方地図史再考～

米家 志乃布 著
法政大学出版局

諸外国にも和人にも未知の土地であった蝦夷地は、どのようにして<北海道>になったのか? 日本の北方地図史の展開をたどり、蝦夷地という異域が日本の国土に編入され、新たな国土空間が生み出されていく過程を明らかにする。

読売新聞 2021/07/24

2021.5./ 7p,250p,8p
978-4-588-38201-7
本体 ¥3,190〔税込〕



こじらせ美術館

ナカムラ クニオ 著
ホーム社

歴史に残る芸術は偉大なる「こじらせ」から生まれた!? ゴッホ、ダリなど巨匠たちのエピソードを紹介する。美術鑑賞がもっと楽しくなる、イラスト挿絵満載の美術ネタ帳。ホーム社文芸図書 WEB サイト『HB』連載を書籍化。

読売新聞 2021/07/24

2021.5./ 125p
978-4-8342-5346-7
本体 ¥1,980〔税込〕



熊(くま)撃ちのサムライ(河出文庫 い 44-1)

井原 忠政 著
河出書房新社

箱館戦争で敗残兵となり、深手を負った奥平八郎太は、兄と重傷の本多佐吉とともに蝦夷地の深い森へと落ち延びる。犬死しても意味はないと、八郎太はひとり兄を逃すが、残された瀕死の2人を待っていたものは、人外の脅威で...

読売新聞 2021/07/24

2021.7./ 271p
978-4-309-41825-4
本体 ¥913〔税込〕



花は咲けども噺せども～神様がくれた高座～(PHP 文芸文庫 た 9-1)

立川 談慶 著
PHP研究所

「立川談志」の落語に魅せられ、安定した職を辞め、落語家を目指した杉崎。なんとか二つ目になり「山水亭錦之助」を命名されるも、食えない日々が続く…。現役落語家が綴る、心に沁みる人情物語。『PHP 増刊号』連載に加筆。

読売新聞 2021/07/24、東京・中日新聞 2021/07/25

2021.5./ 340p
978-4-569-90124-4
本体 ¥858〔税込〕





疫病の精神史～ユダヤ・キリスト教の穢れと救い～(ちくま新書 1580)

竹下 節子 著
筑摩書房

古代から現代まで、人類は疫病とどのように向き合ってきたのか。律法により衛生管理を徹底したユダヤ教。病者に寄り添い「魂の救い」の必要性を説いたキリスト教。疫病に翻弄される世界の歴史を描き、精神の変遷を追う。

2021:6./ 238p

978-4-480-07406-5

本体 ¥902〔税込〕



読売新聞 2021/07/24、日本経済新聞 2021/07/24



沈黙 改版(新潮文庫)

遠藤 周作 著
新潮社

島原の乱が鎮圧されて間もないころ、キリシタン禁制の厳しい日本に潜入したポルトガル人司祭ロドリゴは、日本人信徒たちに加えられる残忍な拷問と悲惨な殉教のうめき声に接して苦悩し、ついに背教の淵に立たされる……。神の存在、背教の心理、西洋と日本の思想的断絶など、キリスト信仰の根源的な問題を衝き、〈神の沈黙〉という永遠の主題に切実な問いを投げかける長編。

2003:5./ 312p

978-4-10-112315-8

本体 ¥649〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



漂流記の魅力(新潮新書)

吉村 昭 著
新潮社

日本経済新聞 2021/07/03

2003:4./ 191p

978-4-10-610002-4

本体 ¥748〔税込〕



「ネオ・チャイナリスク」研究～ヘゲモニーなき世界の支配構造～

柯 隆 著
慶應義塾大学出版会

中国の国際社会でのなりふり構わぬ挙動に、世界はどう対峙するか。新旧体制が複雑に混在しつつも覇権奪取へと邁進する強国の実態を、中国人エコノミストが切れ味よく解説する。

2021:5./ 10p,339p

978-4-7664-2747-9

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



24 フレームの映画学～映像表現を解体する～

北村 匡平 著
晃洋書房

映画の誕生からその文法までを丁寧に紐解き、さまざまな映像表現を真摯に見つめ、フレームの奥深い内部だけでなく、フレームの外部や裏側までを考察。映像表現の醍醐味に光をあてなおす、新しい映像論。

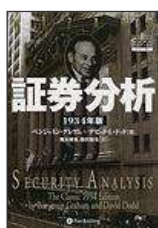
2021:5./ 4p,276p,5p

978-4-7710-3451-8

本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



証券分析～1934年版～(ウィザードブックシリーズ)

ベンジャミン・グレアム、デビッド・L. ドッド、関本 博英、増沢 和美 著
パンローリング

アメリカで最も大きな成功を収めた投資家たちの入門書であり、またウォール街でグレアムとドッドの名を不滅のものにした古典的傑作。今なお投資家の間で人気が高い1934年版の第1版を翻訳したもの。

2002:9./ 955p

978-4-7759-7005-8

本体 ¥10,780〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



日本戦争経済史～戦費、通貨金融政策、国際比較～

小野 圭司 著

日本経済新聞出版社

戊辰戦争から太平洋戦争まで日本が直面したすべての戦争をマクロ経済面から分析。明治・大正・昭和(戦前)を通した戦時経済政策の軸を通貨金融政策にあると捉え、戦争を数字で把握し、国際比較を行う。

2021.5./ 3p,293p

978-4-532-13515-7

本体 ¥4,950〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



実践行動経済学～健康、富、幸福への聡明な選択～

リチャード・セイラー、キャス・サンスティーン 著

日経BP社

医療、貯蓄、借金、投資など、社会生活上の複雑でまれにしか直面しない場面において、選択の自由を守りながら、人々の生活がよくなる方向に“ナッジ”(注意を喚起)する選択アーキテクチャーを具体的に提案。

2009.7./ 415p

978-4-8222-4747-8

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



リベラリズムとは何か(ちくま学芸文庫 フ 46-1)

マイケル・フリーデン 著

筑摩書房

「リベラリズム」という用語自体の歴史の変遷や思想的広がりを 5 つの層という視点から捉えなおし、そこに 7 つの中核的概念を見いだす。リベラリズム研究の泰斗が、その起源・展開・内実をていねいに解きほぐす。

2021.3./ 264p

978-4-480-51040-2

本体 ¥1,210〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



最高の戦略教科書 孫子

守屋 淳 著

日本経済新聞出版社

ビジネスや生き方にも通ずる、卓越した戦略の数々。偉人たちに読み継がれ、いまなお絶大な影響力を誇る兵法書「孫子」を、「孫子」は何が言いたいのか」「孫子」は現代でも活用可能か」の 2 部に分けて解説する。

2014.1./ 384p

978-4-532-16925-1

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



子どもを迎えるまでの物語～生殖、不妊治療、親になる選択～

ベル・ボグス 著

サウザンブックス社

望めばすぐに子どもは授かるものだと思っていた。でも私はなにもわかっていなかった。著者が体外受精治療を経て子どもを迎える体験を中心に、治療に踏み切る決断をするなかで出会った様々な人物の声を上げる。

2021.6./ 351p

978-4-909125-27-9

本体 ¥2,310〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



本心

平野 啓一郎 著

文藝春秋

ロスジェネ世代に生まれ、シングルマザーとして生きてきた母が、生涯隠し続けた事実とは-。急逝した母を、AI/VR 技術で再生させ、その死の真実を追う青年が経験する魂の遍歴。『北海道新聞』他連載を単行本化。

2021.5./ 449p

978-4-16-391373-5

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



モンテ・クリスト伯<1>(ワイド版岩波文庫 363)

アレクサンドル・デュマ、山内 義雄 著

岩波書店

無実の罪によって投獄された若者ダンテスは、14 年間の忍耐と努力ののち脱出に成功。モンテ・クリスト島の宝を手に入れて報恩と復讐の計画を進めてゆく。200 年の間、世界各国で人気をあつめてきた「巖窟王」の完訳。

2013:6./ 421p

978-4-00-007363-9

本体 ¥1,540〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



余命 3000 文字(小学館文庫 む 4-1)

村崎 羯諦 著

小学館

「あなたの余命はあと 3000 文字きっかりです」ある日、医者から文字数で余命を宣告された男に待ち受ける数奇な運命とは? 5 分で読めて、あっと驚き、わっと泣ける 26 編を収録。『小説家になろう』掲載を文庫化。

2020:12./ 274p

978-4-09-406849-8

本体 ¥715〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



バイデンの光と影

エヴァン・オスノス 著

扶桑社

中国の台頭という大きな変化の中でバイデンはどんなリーダーシップをとれるのか。アメリカ大統領として何を重視し、どういう選択をしていくのか。100 人以上におよぶ綿密な取材に基づき、バイデンの人となりを描いた評伝。

2021:4./ 244p

978-4-594-08794-4

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



ある北朝鮮テロリストの生と死～証言・ラングーン事件～(集英社新書 1069)

羅 鍾一 著

集英社

67 人の死傷者を出した韓国大統領暗殺未遂事件「ラングーン事件」。実行犯が自ら明かす、その真相とは? 北朝鮮テロリスト、カン・ミチョルの証言を記録し、周辺資料も拾い集めながら、事件の全貌と南北関係の矛盾に迫る。

2021:5./ 270p

978-4-08-721169-6

本体 ¥968〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



権威主義の誘惑～民主政治の黄昏～

アン・アプルボーム 著

白水社

トランプとトランプ主義を可能にしたものは何なのか。欧米各国の現場で、民主政治の衰退と権威主義の台頭を観察し分析した思索的エッセイ。「民主政治の危機の根源」を考察する警鐘の書。特別寄稿「日本語版への序文」も収録。

2021:4./ 203p,11p

978-4-560-09836-3

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



近代世界システム<1> 農業資本主義と「ヨーロッパ世界経済」の成立

I.ウォーラーステイン、川北 稔 著

名古屋大学出版会

歴史・経済・政治・社会の記述を大きく塗り替えて、現代の古典となった記念碑的著作。第 1 巻は今日の世界を覆う「資本主義的世界経済」の出発点となった、16 世紀ヨーロッパを中心とする近代世界システムの誕生の軌跡を描く。

2013:10./

24p,423p,35p

978-4-8158-0743-6

本体 ¥5,280〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/03



ともに食えるということ～共食にみる日本人の感性～

福田 育弘 著
教育評論社

コロナ後の世界において、だれかと食をともにすることをやめてしまうのか。共食を楽しむ「感性」を失ってしまうのか。飲食表象論の専門家が、「共食と団欒」「鍋をかこむということ」等をテーマに日本人と共食について論じる。

2021:4./ 319p
978-4-86624-038-1
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 6 2 4 0 3 8 1 *

日本経済新聞 2021/07/03



四分の一世界旅行記

石川 宗生 著
東京創元社

2017 年初夏。作家・石川宗生は日本を発った。時に旅先で出会った仲間と、時にイマジナリーフレンドを連れて、現実と虚構を自在に旅した半年間の物語。宮内悠介との対談も収録。『Web ミステリーズ!』掲載を単行本化。

2021:4./ 301p
978-4-488-02836-7
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 4 8 8 0 2 8 3 6 7 *

日本経済新聞 2021/07/03、読売新聞 2021/07/04



ツボちゃんの話～夫・坪内祐三～

佐久間 文子 著
新潮社

「僕が死んだらさびしいよ?」と口にしていたあの頃。けんかばかりだけど憎めなかった。博覧強記の東京っ子。類まれな同時代史の書き手が急逝して1年半。妻が語る25年間の記憶。『新潮』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2021:5./ 197p
978-4-10-353981-0
本体 ¥1,870〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 3 5 3 9 8 1 0 *

日本経済新聞 2021/07/03、読売新聞 2021/07/04、毎日新聞 2021/07/17、東京・中日新聞 2021/07/18



海外 M&A 新結合の経営戦略

松本 茂 著
東洋経済新報社

知識創造、モノづくりに続く、競争力の源泉「海外 M&A」成功の法則とは。ダイキン工業、日本板硝子、村田製作所など日本を代表する製造業企業のケースを紹介し、その経営戦略を分析する。

2021:4./ 13p, 299p, 5p
978-4-492-53437-3
本体 ¥3,520〔税込〕
* 9 7 8 4 4 9 2 5 3 4 3 7 3 *

日本経済新聞 2021/07/03、読売新聞 2021/07/11



スペース・コロニー宇宙で暮らす方法(ブルーバックス B-2172)

向井 千秋／東京理科大学 スペース・コロニー研究センター 著
講談社

宇宙で人が暮らす時代が始まっている! 極限環境ともよべる宇宙において、人が暮らすためには? 酸素や水、食料や電気・エネルギーを作るには? さまざまな課題を、技術開発の最前線とともに徹底解説する。

2021:5./ 254p
978-4-06-523566-9
本体 ¥1,100〔税込〕
* 9 7 8 4 0 6 5 2 3 5 6 6 9 *

日本経済新聞 2021/07/03、読売新聞 2021/07/11



株式会社規範のコペルニクス的転回～脱・株主ファーストの生存戦略～

コリン・メイヤー 著
東洋経済新報社

株主利益最大化が企業と地球を破壊する! 世界トップクラスのビジネススクール教授が、格差、倫理、信頼、社会、環境にやさしい、分断をなくすための革命的な株式会社の作り方を論じる。

2021:4./
32p, 457p, 13p
978-4-492-53434-2
本体 ¥5,500〔税込〕
* 9 7 8 4 4 9 2 5 3 4 3 4 2 *

日本経済新聞 2021/07/10



下剋上(講談社現代新書 2624)

黒田 基樹 著

講談社

上杉謙信、斎藤道三、織田信長…。なぜ「主殺し」は引き起こされたのか? 下位の者が上位の者にとって代わる下剋上。戦国時代の下剋上の特徴をよく示した事例を取り上げ、その実像に迫る。

日本経済新聞 2021/07/10

2021:6./ 222p

978-4-06-523630-7

本体 ¥968〔税込〕



巨大企業の呪い〜ビッグテックは世界をどう支配してきたか〜(朝日選書 1020)

ティム・ウー 著

朝日新聞出版

格差拡大、世界経済の停滞は、GAFAなど巨大企業の独占に原因がある。独占禁止法の歴史をひもとく、日本の財閥とナチス・ドイツの経済政策についても検証し、現状を打開する方策を提言する。

日本経済新聞 2021/07/10

2021:4./ 193p,11p

978-4-02-263107-7

本体 ¥1,540〔税込〕



トマス・アキナス『神学大全』(講談社学術文庫 2591)

稲垣 良典 著

講談社

神とは何か。創造とは、悪とは、人間の幸福とは。13世紀に著された中世最大の哲学書にして神学の集大成と名高い「神学大全」。そのエッセンスと現代人へのメッセージを、第一人者がやさしく読み解く。

日本経済新聞 2021/07/10

2019:11./ 205p

978-4-06-518086-0

本体 ¥990〔税込〕



関係人口の社会学〜人口減少時代の地域再生〜

田中輝美 著

大阪大学出版会

住む人が減ったら、地域は再生できないのか? 関係人口を社会学の見地から定義し、その役割を論じた書。事例と新たな理論の枠組みによって関係人口を位置づけ直し、人口減少時代の地域再生の方向性を示す。

日本経済新聞 2021/07/10

2021:4./ 385p

978-4-87259-729-5

本体 ¥3,520〔税込〕



関係人口をつくる〜定住でも交流でもないローカルイノベーション〜

田中輝美 著

木楽舎

関係人口とは、住んでいなくても、地域に多様に関わる人々=仲間のこと。島根県が東京で始めた講座「しまコアカデミー」を取り上げ、その概要や、キーパーソンたちの物語、関係人口のつくり方を紹介します。

日本経済新聞 2021/07/10

2017:10./ 255p

978-4-86324-118-3

本体 ¥1,540〔税込〕



経理から見た日本陸軍(文春新書 1312)

本間 正人 著

文藝春秋

軍隊のなかで、物と金を握っていた経理局(部)。予算、兵器の調達、衣食住、給与事情…。大組織を裏方として支えた日本陸軍経理部将校たちの活躍に焦点をあて、さまざまな側面から兵士たちの生活を紹介します。

日本経済新聞 2021/07/10

2021:5./ 349p

978-4-16-661312-0

本体 ¥1,320〔税込〕





菌の声を聴け～タルマーリーのクレイジーで豊かな実践と提案～

渡邊格・麻里子 著

ミシマ社

パンとビールの源泉をとことん探って見えた、モノ作りに欠かせないもの。それは地域で循環する環境と経済、そして技術と機械だった。菌に導かれ、原理主義的な息苦しさを脱し、未来への手ごたえをつかんだ記録。

2021.5./ 255p

978-4-909394-51-4

本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/10



自分探するアジアの国々～揺らぐ国民意識をネット動画から見る～

小川 忠 著

明石書店

インドネシア、マレーシア、韓国などの映画、ロック、ヒップホップ等、若者に支持される文化を主な素材としながら、アジア各国の国民意識のあり様を描写。現代アジアが包含するダイナミズムと多様性を浮き彫りにする。

2021.3./ 245p

978-4-7503-5174-2

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/10



自然のしくみがわかる地理学入門(角川ソフィア文庫 K138-1)

水野 一晴 著

KADOKAWA

リアルな自然の姿が伝わってくる自然地理学の入門書。「なぜ新宿に高層ビルが集まっているのか」「なぜアフリカと南米は植物が似ているのか」など、地形・気候・植生・土壌の不思議について、著者の体験も交えて解説する。

2021.6./ 252p

978-4-04-400647-1

本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/10



ボード・サクセッション～持続性のある取締役会の提言～

山田 英司 著

中央経済社

取締役会の監督機能を持続的に高めるには。ガバナンス改革のトレンドを整理し、米国・英国企業の状況も踏まえながら、日本企業が持続的に監督機能を発揮する仕組みの構築を「ボード・サクセッション」をコンセプトに解説する。

2021.3./ 4p,2p,222p

978-4-502-38231-4

本体 ¥2,970〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/10



今夜、すべてのパーで 新装版(講談社文庫 な 41-23)

中島 らも 著

講談社

酒を断てず、緊急入院するはめになった小島容。ユニークな患者たち、シラフで現実と対峙する憂鬱、親友の妹が繰り出す激励の往復パンチ。実体験をベースに生と死のはざままで揺らぐ人々を描く。すべての酒飲みに捧ぐアル中小説。

2020.12./ 352p

978-4-06-522097-9

本体 ¥814〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/10



チャイニーズ・タイプライター～漢字と技術の近代史～

トーマス・S・マラニー 著

中央公論新社

中国語タイプライターの<不可能性>から繙く、近代中国の情報技術史。漢字についての発想の転換や戦時中の日中関係、入力や予測変換といった技術の起源など、波瀾と苦渋に満ちた中国語タイプライター開発の軌跡を辿る。

2021.5./ 390p

978-4-12-005437-2

本体 ¥4,950〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/10、朝日新聞 2021/07/17



帰還兵の戦争が終わるとき～歩き続けたアメリカ大陸 2700 マイル～

トム・ヴォス／レベッカ・アン・グエン 著
草思社

イラク戦争で経験した上官の死により、退役後も精神を苛まれるトム。アメリカ大陸を自らの脚で横断し、自分と向き合うことを決断する。戦争のトラウマから立ち直り、心の平穏を取り戻すまでの「精神の旅」の記録。

2021:6./ 330p
978-4-7942-2517-7
本体 ¥2,200〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/10、朝日新聞 2021/07/25



不定性からみた科学～開かれた研究・組織・社会のために～

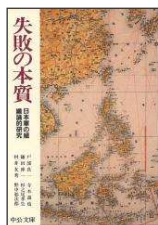
吉澤 剛 著
名古屋大学出版会

不確実性・偶然性・規範性などさまざまな形をとり、研究から組織・評価・大学・社会・未来まであらゆる次元に現れる不定性。これらの「モヤモヤ」と向きあい、科学のリアルを捉え直すことで、知と未知への態度を鍛える学問論。

2021:5./ 4p,320p
978-4-8158-1025-2
本体 ¥4,950〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/10、読売新聞 2021/07/11



失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部 良一 著
中央公論新社

大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとつての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

2000:4./ 413p
978-4-12-201833-4
本体 ¥838〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



訴歌～あなたはきっと橋を渡って来てくれる～

阿部 正子 編
皓星社

ある日突然隔離されたハンセン病療養者たちの命の一行詩。「ハンセン病文学全集」から抜粋した短歌・俳句・川柳を、詩情や日常生活語といった約千の小見出しで分類して収録する。

2021:5./ 301p
978-4-7744-0741-8
本体 ¥1,980〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



昭和史 1926-1945(平凡社ライブラリー)

半藤 一利 著
平凡社

日本人はなぜ戦争を繰り返したのか?満州事変、日中戦争、太平洋戦争、ポツダム宣言などを授業形式で語る。「昭和史」シリーズ戦前・戦中篇。講演録「ノモンハン事件から学ぶもの」を増補。

2009:6./ 546p
978-4-582-76671-4
本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



昭和史<戦後篇> 1945-1989(平凡社ライブラリー)

半藤 一利 著
平凡社

日本はどんな道を歩んできたのか?焼け跡からの復興、講和条約、高度経済成長、バブル崩壊の予兆を授業形式で語る。「昭和史」シリーズ完結篇。講演録「昭和天皇・マッカーサー会談秘話」を増補。

2009:6./ 612p
978-4-582-76672-1
本体 ¥990〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



バブルの経済理論～低金利、長期停滞、金融劣化～

櫻川 昌哉 著

日本経済新聞出版社

利利率が成長率を下回るとき、バブルは必然化する。理論経済学者が世界のバブルを分析し、「バブル経済」の本質を歴史と理論から解明。バブルを介して、低金利に直面する現代のマクロ経済を捉え直す。

2021.5./ 497p

978-4-532-35886-0

本体 ¥4,950〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



臨床の砦

夏川 草介 著

小学館

この戦、負けましたね。「神様のカルテ」著者によるドキュメント小説。命がけでコロナに立ち向かった小さな病院の知られざる物語を描き出す。『STORY BOX』掲載に書き下ろしを追加し単行本化。

2021.4./ 206p

978-4-09-386611-8

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



動物意識の誕生～生体システム理論と学習理論から解き明かす心の進化～<下>

シモーナ・ギンズバーグ／エヴァ・ヤブロンカ 著

勁草書房

意識の進化的起源は、制約なき「学習」にある。意識を生物学的形質と捉え、その進化的起源を明らかにする研究の成果を集大成。下は、最低限の意識を構成する部品、無制約連合学習への移行などを収録。

2021.5./ 4p,341p,68p

978-4-326-15475-3

本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



動物意識の誕生～生体システム理論と学習理論から解き明かす心の進化～<上>

シモーナ・ギンズバーグ／エヴァ・ヤブロンカ 著

勁草書房

意識の進化的起源は、制約なき「学習」にある。意識を生物学的形質と捉え、その進化的起源を明らかにする研究の成果を集大成。上は、生命と意識に対する進化的アプローチ、心の組織化と進化などを収録。

2021.5./ 10p,340p

978-4-326-15474-6

本体 ¥3,960〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



彭明敏～?介石と闘った台湾人～

近藤 伸二 著

白水社

?介石の虚構を暴き、反乱罪容疑で逮捕。軟禁生活が続く中、米国に脱出し…。李登輝と同時代を生き、台湾民主化運動のシンボルと言われた彭明敏の波瀾万丈の人生を、貴重な証言と史料で再現した初の本格評伝。

2021.5./ 283p

978-4-560-09824-0

本体 ¥2,750〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



パッケージツアーの文化誌

吉田 春生 著

草思社

「商品としての旅」はどのように開発され、進化してきたのか? 旅の現場を知悉する著者が、日本人の旅の大半を担ってきた「パッケージツアー」の成り立ちと進化の方向性を考察。「コロナ以後」にも言及する。

2021.6./ 293p

978-4-7942-2523-8

本体 ¥2,420〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



挑発する少女小説(河出新書 033)

斎藤 美奈子 著
河出書房新社

大人になって読む少女小説は、新たな発見に満ちている。あの名作には、いったい何が書かれていたのか? 「小公女」「若草物語」「ハイジ」「赤毛のアン」「あしながおじさん」など、翻訳少女小説 9 冊を読み直す。

日本経済新聞 2021/07/17

2021:6./ 273p
978-4-309-63134-9
本体 ¥946〔税込〕



万引き～犯人像からみえる社会の陰～

伊東 ゆう 著
青弓社

換金率が高い商品をねらう常習犯、生活苦から食品に手を出す高齢者、遊び半分の高校生…。被疑者像から垣間見える現代社会の陰。万引き G メンの著者が、さまざまな社会問題と直結している万引きの現場の実態を伝える。

日本経済新聞 2021/07/17

2021:5./ 251p
978-4-7872-3487-2
本体 ¥1,760〔税込〕



シルクロード～仏の道をゆく～

安部龍太郎 著
潮出版社

東アジア、特に中国の歴史を抜きにして、日本の歴史と文化は理解できない。西安、蘭州、敦煌、クチャ、カシュガル、パミール高原…。直木賞作家が仏教伝来の足跡から日本の源流を探った、延べ 20 日間にわたる取材紀行。

日本経済新聞 2021/07/17

2021:7./ 285p
978-4-267-02255-5
本体 ¥1,760〔税込〕



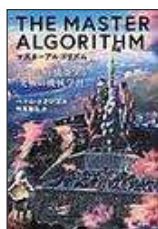
てにをは俳句・短歌辞典

阿部 正子 編
三省堂

江戸から昭和まで、有名・無名を問わず、約 6 万の俳句・短歌を形容詞や動詞を大見出しにして 1 ページ単位で分類した、ひとつ上の表現をめざす「歌詠み」のための表現辞典。作者名一覧、分野別大見出し、五十音順索引付き。

日本経済新聞 2021/07/17

2020:8./ 166p,948p
978-4-385-13642-4
本体 ¥3,520〔税込〕



マスターアルゴリズム～世界を再構築する「究極の機械学習」～

ペドロ・ドミンゴス 著
講談社

Siri、Amazon のお薦め機能、金融投資、癌治療、AI…。すでに生活の一部となっている機械学習はどう生まれたのか。アルゴリズムの歴史を神経科学、進化生物学、物理学、統計学、計算機科学の観点から解き明かす。

日本経済新聞 2021/07/17

2021:4./ 516p
978-4-06-219223-1
本体 ¥4,950〔税込〕



中東 新秩序の形成～「アラブの春」を超えて～(NHKブックス 1188)

山内 昌之 著
NHK出版

2011 年アラブ諸国を覆った民衆運動は、自由・法の支配・豊かさへの普遍的な欲求から生まれた。好調に見えた民主化はなぜ膠着したのか。イラク戦争を経た諸国の社会情勢を丹念に追い、生成しつつある勢力構図を描き出す。

日本経済新聞 2021/07/17

2012:2./ 286p
978-4-14-091188-4
本体 ¥1,210〔税込〕





戦争体験～一九七〇年への遺書～(ちくま学芸文庫 ヤ 26-2)

安田 武 著

筑摩書房

わかりやすい伝承は何を取りこぼしてきたのか。異常で圧倒的であり、自らの現在を決定づけた戦争体験とその伝承の難しさについて、戦中派である著者が切々と書き綴る。断片的で矛盾に満ちた体験を直視し、その「無念」を問う。

2021.6./ 297p

978-4-480-51056-3

本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



難訳・和英口語辞典

松本 道弘 著

さくら舎

「春はあけぼの」「しっくりいかない」「揚げ足とり」「すれすれ」「ペコペコする」「手切れ金払って別れなさいよ」…。英語にしにくい口語日本語を、どうすればシンプルな英語にできるか、著者の独特な表現・文例で解説する。

2017.4./ 336p

978-4-86581-096-7

本体 ¥2,640〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17



つながり続ける子ども食堂

湯浅 誠 著

中央公論新社

誰にでも開かれた子ども食堂は、コロナ禍にも負けず全国に爆発的に増え続ける。人びとの生きづらさをやわらげる子ども食堂の現在とその可能性を問う。『Yahoo!ニュース個人』連載をもとに書き下ろし等を加えて単行本化。

2021.6./ 261p

978-4-12-005438-9

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/17、毎日新聞 2021/07/17



何者かになりたい

熊代亨 著

イースト・プレス

なぜ、「自分」についてこんなに考えてしまうのか。なぜ、「何者にもなれない」と悩むのか。「何者かになりたい」という気持ちの背景にあるメカニズムとよくある問題を解説し、対処法を紹介する。

2021.6./ 215p

978-4-7816-1983-5

本体 ¥1,650〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/24



分断されるアメリカ(集英社文庫 ハ 20-1)

サミュエル・ハンチントン、鈴木 主税 著

集英社

この国はどこへ向かうのか? 20 世紀末以降、多様性を重んじた結果、国が分断される危機に陥ったアメリカ合衆国。差別主義、排他主義へと向かう危うさを孕む現代アメリカを予見した、警告の書。

2017.1./ 589p

978-4-08-760730-7

本体 ¥1,320〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/24



ブラック・ライヴズ・マター回想録～テロリストと呼ばれて～

パトリス・カーン＝カラズ／アーシャ・バンデリ 著

青土社

アメリカで黒人女性として生きる経験とはいかなるものか。ブラック・ライヴズ・マター運動を牽引するクィア・フェミニストが綴る、あらたな公民権運動を展開する人々をめぐる、詩的で力強い半生記。

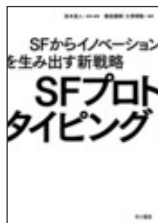
2021.2./ 333p

978-4-7917-7352-7

本体 ¥2,860〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/24



SF プロトタイピング～SF からイノベーションを生み出す新戦略～

宮本 道人／難波 優輝／大澤 博隆 著
早川書房

SF を通じて未来をプロトタイプし、そこからの逆算＝バックキャストで製品開発や組織変革の突破口を開く。「SF プロトタイピング」を実践してきた人々による座談会と論考で、その最前線に迫る。

2021:6./ 281p
978-4-15-210026-9
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 1 5 2 1 0 0 2 6 9 *

日本経済新聞 2021/07/24



移民国家アメリカの歴史(岩波新書 新赤版 1744)

貴堂 嘉之 著
岩波書店

移民国家アメリカはどう形成され、いかに変貌してきたのか。移民をグローバル・ヒストリーのなかに位置づけるとともに、日本や中国などアジア系移民の歴史経験に着目して、アメリカ史をとらえなおす。

2018:10./ 3p,235p,7p
978-4-00-431744-9
本体 ¥924〔税込〕
* 9 7 8 4 0 0 4 3 1 7 4 4 9 *

日本経済新聞 2021/07/24



貿易戦争は階級闘争である～格差と対立の隠された構造～

マッシュー・C・クレイン／マイケル・ペティス 著
みすず書房

貿易戦争とは、超富裕層とその他大勢の対立である。貿易黒字国である中国やドイツの国内所得の不均衡が、アメリカの巨額な貿易赤字を生み、貿易紛争を引き起こす構造を解明し、解決のための道筋を示す。

2021:5./ 290p,25p
978-4-622-08999-5
本体 ¥3,960〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 2 0 8 9 9 9 5 *

日本経済新聞 2021/07/24



沈黙(フィクションの楽しみ)

ドン・デリーロ、日吉 信貴 著
水声社

2022 年 2 月、ある日曜日。原因不明の大停電が日常を覆った。ネットや電話など通信の途絶、暗闇と静寂。非常事態に困惑する人々が徘徊し、暴動に揺れる真夜中の大都会。闇を怖れるように集まった 5 人は...

2021:6./ 150p
978-4-8010-0550-1
本体 ¥2,200〔税込〕
* 9 7 8 4 8 0 1 0 0 5 5 0 1 *

日本経済新聞 2021/07/24



お金か人生か～給料がなくても豊かになれる 9 ステップ～

ヴァイツキー・ロビン／ジョー・ドミンゲス 著
ダイヤモンド社

やみくもに稼ぐだけが正解じゃない。スマートな質素倹約×クールな仕事選び×クレバーな投資で本当の富を手に入れる。お金との関わり方を根本から変え、経済的自立到達の手助けをする 9 つのステップを紹介する。

2021:5./ 415p
978-4-478-11198-7
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 4 7 8 1 1 1 9 8 7 *

日本経済新聞 2021/07/24



世界を動かす変革の力～ブラック・ライブズ・マター共同代表からのメッセージ～

アリシア・ガーザ 著
明石書店

3 人の女性たちによって始まった運動はいかにして生まれ、人種や国境を超え、成長してきたのか。ブラック・ライブズ・マター共同代表が語る、はじめての本。組織化して変革を遂げるための理念とノウハウが満載。

2021:1./ 356p
978-4-7503-5115-5
本体 ¥2,420〔税込〕
* 9 7 8 4 7 5 0 3 5 1 1 5 5 *

日本経済新聞 2021/07/24



穴あきエフの初恋祭り(文春文庫 た 107-1)

多和田 葉子 著
文藝春秋

10年ぶりに再訪したはずの日本。何千何万年も共存してきたはずの寄生虫。歴史ある建物が壊されてゆくキエフでの月夜のコンサート…。手紙、携帯電話、変換ミスなど、コミュニケーションの妙味を巧みに描いた短篇集。

日本経済新聞 2021/07/24

2021.7./ 182p
978-4-16-791723-4
本体 ¥726〔税込〕



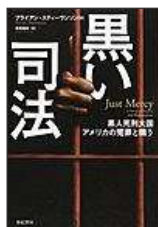
アンダーコロナの移民たち～日本社会の脆弱性があらわれた場所～

鈴木 江理子 著
明石書店

コロナ禍で移民たちが困難に直面している。雇用環境が元々脆弱な上、就職差別にも遭遇する。学びやつながりの困難を抱える人も多い。この状況下でなお「社会の一員」の可能性を奪い、排除し続けることの意味を問う。

日本経済新聞 2021/07/24

2021.6./ 309p
978-4-7503-5215-2
本体 ¥2,750〔税込〕



黒い司法～黒人死刑大国アメリカの冤罪と闘う～(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 2-9)

ブライアン・ステイーヴンソン 著
亜紀書房

白人の人妻と関係を持った黒人。それだけで犯してもいない殺人の罪を着せられ、死刑を宣告されたウォルターを弁護士は救えるのか。仕組まれた証言、大半が白人の陪審員…。米国司法の闇に迫る法廷ノンフィクション。

日本経済新聞 2021/07/24

2016.9./ 421p, 17p
978-4-7505-1439-0
本体 ¥2,860〔税込〕



落合博満論(集英社新書 1073)

ねじめ 正一 著
集英社

孤高の天才打者にして名監督。圧倒的な実績を残しながらプロ野球界を去った落合博満。プロ野球通の作家が、彼の諸相を訪ね歩き、絵本作家・武田美穂、女優・富士真奈美らとの対談を交えながら、その魅力の淵源を探る。

日本経済新聞 2021/07/24

2021.6./ 222p
978-4-08-721173-3
本体 ¥902〔税込〕



薬を食う女たち

五所 純子 著
河出書房新社

覚醒剤や大麻、睡眠薬…女性ドラッグ中毒者たちを取材。トラウマと逸脱、カネとセックス、生きざまと死生観。現代を生きる女性たちの身に起こるさまざまな事柄、葛藤し抵抗する姿を丹念に描いた、ルポ+文学の金字塔。

日本経済新聞 2021/07/24

2021.6./ 237p
978-4-309-22824-2
本体 ¥1,892〔税込〕



百間、まだ死なざるや～内田百間伝～

山本 一生 著
中央公論新社

怖がりで気難しくて涙もろい不世出の名文章家・内田百間の評伝。すべての作品と日記を逍遙し、結婚と別居、漱石への敬愛、学生たちとの深い交流、名作誕生の経緯など、その人生と昭和戦前・戦中期という時代を活写する。

日本経済新聞 2021/07/24

2021.6./ 567p
978-4-12-005439-6
本体 ¥3,960〔税込〕





藤原仲麻呂～古代王権を動かした異能の政治家～(中公新書 2648)

仁藤 敦史 著

中央公論新社

古代王権が安定した奈良時代に現れた異能の権力者・藤原仲麻呂。表面的な官歴や政策、事件史だけでなく、その政治的理念にまで立ち入り、皇位篡奪をも目論んだ生涯について、近年の研究を踏まえ新たな観点から記述する。

2021:6./ 4p,258p

978-4-12-102648-4

本体 ¥946〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/24



大学教授、発達障害の子を育てる(光文社新書 1117)

岡嶋 裕史 著

光文社

自閉スペクトラム症の息子と自分もその傾向があった父親。情報ネットワークが専門の大学教授である父親は文献を読み込み、医師や世間とのズレに挑むが…。軽妙なタッチで描く日常生活奮闘記。『本がすき。』連載を加筆・修正。

2021:2./ 317p

978-4-334-04509-8

本体 ¥1,034〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/24



超訳ケインズ『一般理論』

山形 浩生 編

ジョン・メイナード・ケインズ 著

東洋経済新報社

社会科学史上で最も影響力のある世界的名著、ケインズ著『一般理論』。山形浩生による超訳・抄訳で、ケインズが本当に伝えたかったことをわかりやすく、エッセンスを凝縮して解説する。

2021:3./ 8p,235p

978-4-492-31535-4

本体 ¥1,870〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/31



人工知能が俳句を詠む～AI一茶くんの挑戦～

川村秀憲／山下倫央／横山想一郎 著

オーム社

俳句を生成する人工知能「AI一茶くん」の活動を通して、現在の人工知能のできることの限界、そして人工知能が「強い人工知能」になるために考えるべきことに迫る。AI俳句百句選も収録。

2021:7./ 292p

978-4-274-22733-2

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/31



海神の子

川越 宗一 著

文藝春秋

明の海寇を父に、日本人を母に生まれた福松は、台頭する清に抗い、海に居場所を求めて闘い続け…。『国性爺合戦』のモデルとなった英雄・鄭成功の半生を描く。『オール讀物』掲載を加筆し書籍化。

2021:6./ 381p

978-4-16-391387-2

本体 ¥1,760〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/31



チャリティの帝国～もうひとつのイギリス近現代史～(岩波新書 新赤版 1880)

金澤 周作 著

岩波書店

弱者への共感と同情が生んだ無数のチャリティと、それらを組み込む重層的なセーフティネット。長い歴史に立脚し、社会の錨として働き続けるチャリティという現象を軸にしてイギリス近現代史を描く。

2021:5./

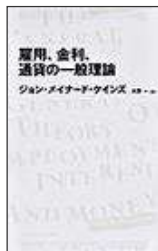
19p,231p,26p

978-4-00-431880-4

本体 ¥946〔税込〕



日本経済新聞 2021/07/31



雇用、金利、通貨の一般理論(NIKKEI BP CLASSICS)

ジョン・メイナード・ケインズ(John Maynard Keynes) 著

日経BP社

有効需要、非自発的失業、流動性選好、美人コンテスト、アニマルスピリット…。資本主義の危機に天才ケインズが捻りだした処方箋とは。大恐慌後の 1936 年に刊行され、経済学を変え、世界を救った古典の新訳。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:4./ 591p

978-4-296-00015-9

本体 ¥2,860〔税込〕



戦争の新しい10のルール～慢性的無秩序の時代に勝利をつかむ方法～

ショーン・マクフェイト 著

中央公論新社

なぜアメリカは戦争に勝利できなくなったのか。人類の戦争史全体を振り返り、従来型戦争と未来型戦争の違いを区分。膨大な歴史事例と数々のエピソードとともに、次なる戦争に勝利するための10のルールを提示する。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:6./ 299p

978-4-12-005440-2

本体 ¥2,970〔税込〕



数学独習法(講談社現代新書 2623)

富島 佑允 著

講談社

仮説を明確にする代数学、イメージをカタチ化し、カタチを数値化する幾何学、複雑なものを単純化する微積分学、大きな視点で全体を俯瞰する統計学…。AI時代に重要視される、学んでおきたい数学をわかりやすく解説。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:6./ 301p

978-4-06-524358-9

本体 ¥1,100〔税込〕



壊れた脳と生きる～高次脳機能障害「名もなき苦しみ」の理解と支援～(ちくまプリマ新書 376)

鈴木 大介、鈴木 匡子 著

筑摩書房

脳が「壊れ」て、病前のようにできなくなった辛さ、しんどさをわかってほしい。脳に傷を負った当事者と、高次脳機能障害を専門とする医師が「見えない障害」を語りつくす。2019年に行われた講演会をもとに書籍化。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:6./ 287p

978-4-480-68402-8

本体 ¥1,012〔税込〕



マイケル・ジェンセンとアメリカ中産階級の解体～エージェンシー理論の光と影～

ニコラス・レマン(Nicholas Lemann) 著

日経BP社

金融の時代からネットワーク資本主義へと向かうアメリカ社会の変容を活写。マイケル・ジェンセンをはじめとする、時代を象徴する3人の学者・事業家とそのアイデアからアメリカ資本主義の変質を描いたノンフィクション。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:6./ 522p

978-4-296-00021-0

本体 ¥3,080〔税込〕



後悔するイヌ、?をつくるニワトリ～動物たちは何を考えているのか～(ハヤカワ文庫NF 576)

ペーター・ヴォールレーベン 著

早川書房

叱られるとバツが悪そうな顔をするイヌ、餌がある振りをしてメンドリをおびき寄せるオンドリ…。森林の管理をしながら動物と交流してきた著者が、動物たちの多彩な内面を温かく綴る。「樹木たちの知られざる生活」の続篇。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:7./ 322p

978-4-15-050576-9

本体 ¥990〔税込〕





FOOTPRINTS～未来から見た私たちの痕跡～

デイビッド・ファリアー 著
東洋経済新報社

5000 万キロにわたって延びる道路、放射能で 2 万年後まで住めない土地、10 万年後も残り続ける二酸化炭素…。人新世が地球に刻む負の遺産とは？ 新たな視点で捉えた地球環境問題と私たちが負うべき未来への責任を記す。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:5./ 315p,15p
978-4-492-80091-1
本体 ¥2,640〔税込〕
* 9 7 8 4 4 9 2 8 0 0 9 1 1 *



極(エッセンシャル)アウトプット～「伝える力」で人生が決まる～(小学館 YouthBooks)

樺沢 紫苑 著
小学館

コミュニケーション力の差は、単に「こなした数」の差。話す・書く・行動するというアウトプットを毎日続ければ、学力が劇的に向上し、人間関係も改善し、人生は大きく変わる。アウトプットのノウハウをやさしく解説します。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:4./ 238p
978-4-09-227283-5
本体 ¥990〔税込〕
* 9 7 8 4 0 9 2 2 7 2 8 3 5 *



マオとミカド～日中関係史の中の「天皇」～

城山 英巳 著
白水社

日中関係史の中で、中国側指導者は日本をどう戦略的に利用したのか。1945 年の日本敗戦、49 年の共産党による新中国成立を挟み、毛沢東、鄧小平、?介石、天皇、日本の中国通外交官らによる相手への認識や行動を解明する。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:6./ 537p,62p
978-4-560-09798-4
本体 ¥3,080〔税込〕
* 9 7 8 4 5 6 0 0 9 7 9 8 4 *



ヘヴィ～あるアメリカ人の回想録～

キエセ・レイモン 著
里山社

黒人女性政治学者としてキャリアを築く一方で、私生活では息子を一人で育てる不安に満ちていた母。アメリカ社会で黒人が意味のある人生をまっとうする難しさを知る母は、息子を厳しく教育するが…。黒人の生の価値を問う手記。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:6./ 331p
978-4-907497-14-9
本体 ¥3,190〔税込〕
* 9 7 8 4 9 0 7 4 9 7 1 4 9 *



日本の体罰～学校とスポーツの人類学～

アーロン・L・ミラー 著
共和国/editorial republica

現在も過剰な暴力性が問題となる「体罰」。海外では宗教コミュニティで形成される道徳や倫理規範が、なぜ日本では公教育で担われるのか。カリフォルニア在住の気鋭の日本研究者が日本の体罰の現実とその思想的背景を検証する。

日本経済新聞 2021/07/31

2021:6./ 402p
978-4-907986-11-7
本体 ¥3,960〔税込〕
* 9 7 8 4 9 0 7 9 8 6 1 1 7 *



ビジネスマンの父より息子への30通の手紙(新潮文庫)

キングスレイ・ウォード 著
新潮社
毎日新聞 2021/07/03

1994:4./ 292p
978-4-10-242801-6
本体 ¥693〔税込〕
* 9 7 8 4 1 0 2 4 2 8 0 1 6 *



エルサレム<以前>のアイヒマン～大量殺戮者の平穏な生活～

ベッティーナ・シュタングネト 著

みすず書房

アドルフ・アイヒマンは本当に「悪の陳腐さ」を体現する人物なのか？ 放置されていたアイヒマン自身の文章や音声録音といった膨大な史料に初めて取り組み、これまでの通念を覆した重要著作。

2021.5./ 581p,95p

978-4-622-08960-5

本体 ¥6,820〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



墨子よみがえる～“非戦”への奮闘努力のために～(平凡社ライブラリー 919)

半藤 一利 著

平凡社

2500 年前、中国で「義」を重んじ、「兼愛」と「非攻」を説いた墨子。古今東西のさまざまな事象や逸話をユーモラスに駆使し、今こそ読まれるべき墨子の思想を紹介する。中村哲との対話も収載。

2021.5./ 279p

978-4-582-76919-7

本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



感染症文学論序説～文豪たちはいかに書いたか～

石井 正己 著

河出書房新社

コレラ、結核、腸チフス、赤痢、ペスト、疱瘡、百日咳、スペイン風邪、梅毒…。感染症を近代日本の文豪たちはどう書いたのか。文学を感染症の実態をリアルに伝える重要な歴史的証言として読み直す。

2021.5./ 194p

978-4-309-02958-0

本体 ¥1,892〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



八木義徳 野口富士男往復書簡集

平井 一麥・土合 弘光 ほか 編 編

田畑書店

40 年以上にわたって互いの作品を評し合い、生活のこもごもを語り合った奇跡！ 同じ時代を生き、ともに「私小説」を極めようと志したふたりの文士による往復書簡集。交友録、略年譜なども収録する。

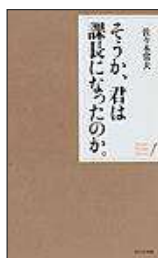
2021.5./ 390p

978-4-8038-0383-9

本体 ¥6,600〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



そうか、君は課長になったのか。(Sasaki Pocket Series)

佐々木 常夫 著

WAVE出版

課長時代、病に倒れた妻と自閉症の長男を守りながら部下をまとめ、数々の事業を成功させた著者。「石田君」という架空の新任課長に向けた手紙という形で、自身の経験から導き出した「上司力」の真髄を語る。

2013.3./ 207p

978-4-87290-616-5

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



葉山嘉樹短篇集(岩波文庫 緑 072-3)

道簾 泰三 編

岩波書店

長篇「海に生くる人々」で知られる葉山嘉樹。下級船員、工場底辺労働者ら最下層の人たちに共感の眼を向け、自らも貧しい農夫として戦争の混乱のなかに倒れた特異なプロレタリア文学者の短篇を精選して収録する。

2021.5./ 359p

978-4-00-310723-2

本体 ¥891〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



独ソ戦～絶滅戦争の惨禍～(岩波新書 新赤版 1785)

大木 毅 著

岩波書店

これは絶滅戦争なのだ。ヒトラーが断言したとき、ドイツとソ連との血で血を洗う皆殺しの闘争が始まった。想像を絶する独ソ戦の惨禍。歴史修正主義の歪曲を正し、現代の野蛮とも呼ぶべき戦争の本質をえぐり出す。

毎日新聞 2021/07/03

2019:7./ 20p,248p

978-4-00-431785-2

本体 ¥946〔税込〕



働く君に贈る25の言葉

佐々木 常夫 著

WAVE出版

何があっても、自分を見捨てるな。とことん自分を大切にしろ。自閉症の長男、病に倒れた妻。過酷な運命を引き受けながら社長に上りつめたビジネスマンが説く、逆風をしなやかに生き抜く「仕事力」と「人間力」。

毎日新聞 2021/07/03

2010:10./ 190p

978-4-87290-500-7

本体 ¥1,540〔税込〕



後期中日戦争～太平洋戦争下の中国戦線～(角川新書 K-354)

広中 一成 著

KADOKAWA

真珠湾攻撃の裏で起きていた敗北…。太平洋戦争開戦後、日本軍は中国でどのような作戦を展開していたのか？ その成否は？ 主要作戦に従軍し続けた名古屋第三師団の軌跡から泥沼の戦いとなった中国戦線の実像を描く。

毎日新聞 2021/07/03

2021:4./ 277p

978-4-04-082366-9

本体 ¥1,012〔税込〕



わが荷風(岩波現代文庫B(文芸))

野口 富士男 著

岩波書店

小石川、深川、麻布…。永井荷風作品の背景となった土地を実際に自分の脚で歩き、目で確かめ、また作品世界へ戻るといった往復運動によって、荷風の生涯と作品の特色、作風の推移の全貌を、自身の青春への追憶と重ねて語る。

毎日新聞 2021/07/03

2012:3./ 4p,290p,8p

978-4-00-602198-6

本体 ¥1,144〔税込〕



まとまらない言葉を生きる

荒井 裕樹 著

柏書房

言葉が「降り積もる」とすれば、どんな言葉が降り積もった社会を次の世代に引き継ぎたいですか-。「言葉の壊れ」を考え、抗い、息苦しさをそっと弛めるエッセイ集。『WEB asta*』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2021/07/03

2021:5./ 254p

978-4-7601-5349-7

本体 ¥1,980〔税込〕



人びとのなかの冷戦世界～想像が現実となるとき～

益田 肇 著

岩波書店

冷戦とは何だったのか。現実とは人びとにどのように想像され、どのように新しい現実をつくり出したのか。無数の名もなき人びとの日常的な想像、その行為の連鎖、そして現実政治との影響関係から、冷戦初期の歴史を描きなおす。

毎日新聞 2021/07/03

2021:4./ 8p,351p,74p

978-4-00-024543-2

本体 ¥5,500〔税込〕





南葵音楽文庫案内～紀州徳川 400 年～

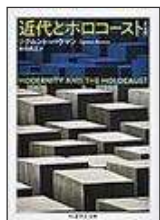
和歌山県教育委員会 編
中央公論新社

紀州徳川家第 16 代当主・頼貞侯が収集した世界的な音楽資料のコレクション「南葵音楽文庫」を公開。ローマ教会のミサ典書をはじめ、至宝の数々をオールカラーで紹介する。ジャケット裏面にベートーヴェンの自筆楽譜を掲載。

2021.3./ 95p
978-4-12-005418-1
本体 ¥3,300〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



近代とホロコースト 完全版(ちくま学芸文庫 ハ 35-4)

ジグムント・バウマン 著
筑摩書房

近代文明こそ、ホロコーストの必要条件であった。アーレント、レヴィナスなど諸分野の先行研究を傍に、社会学の視点からホロコーストを現代社会の本質に深く根ざしたものとして捉え、西欧思想界に衝撃を与えたバウマンの主著。

2021.4./ 497p
978-4-480-51021-1
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



大伴旅人(人物叢書 新装版 通巻 309)

鉄野 昌弘 著
吉川弘文館

名族大伴氏に生まれた万葉歌人・大伴旅人。栄達の過程、藤原氏との確執、大宰府への下向、山上憶良との交友などを、歌とともに辿る。個人の内奥の心情を表出した歌の世界を切り開き、「文章の力」を信じた生涯を明らかにする。

2021.3./ 16p,280p
978-4-642-05302-0
本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03



琥珀の夏

辻村 深月 著
文藝春秋

かつてカルト集団として批判された団体の敷地から子どもの白骨が発見された。弁護士の子は、遺体は自分の知る少女ではないかと胸騒ぎを覚える。30 年前の記憶が蘇り、忘れて大人になった者と取り残された者はやがて法廷へ。

2021.6./ 548p
978-4-16-391380-3
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/03、朝日新聞 2021/07/17、産経新聞 2021/07/18



還らざる聖域

樋口 明雄 著
角川春樹事務所

202X 年、内戦に揺れる北朝鮮の最強部隊・特殊作戦軍が屋久島に上陸。多くの島民を虐殺し、あらゆる通信を遮断した。山岳救助隊員・高津夕季と山岳ガイド・狩野哲也らは生き残りを賭けて、山嶺を駆け巡る!

2021.6./ 399p
978-4-7584-1381-7
本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/04



うらんぼんの夜

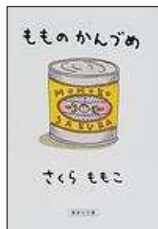
川瀬七緒 著
朝日新聞出版

地蔵を信仰する集落で育ち、都会に焦がれる高校生の奈穂は、東京からの転校生・亜矢子の言葉に違和感を覚える。一方、村の老人達が余所者に対して警戒心を募らせるにつれ、奈穂は自分までもが囚われていた村の呪縛に気づき…。

2021.6./ 309p
978-4-02-251759-3
本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/07/04



もものかんづめ(集英社文庫)

さくら ももこ 著

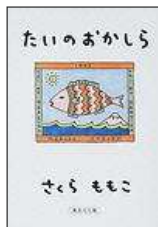
集英社

毎日新聞 2021/07/10

2001:3./ 287p

978-4-08-747299-8

本体 ¥704〔税込〕



たいのおかしら(集英社文庫)

さくら ももこ 著

集英社

毎日新聞 2021/07/10

2003:3./ 279p

978-4-08-747551-7

本体 ¥484〔税込〕



きみは知らない(韓国文学セレクション)

チョン・イヒョン 著

新泉社

11 歳の少女ユジの失踪をきっかけに、次第に明るみになっていく家族それぞれの秘密…。巧みなストーリー展開と観察眼で、現代社会と家族の問題を鋭い視点で緻密に描いた長篇小説。

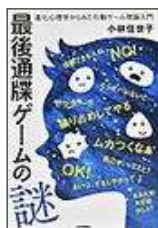
2021:4./ 439p

978-4-7877-2121-1

本体 ¥2,530〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10



最後通牒ゲームの謎～進化心理学からみた行動ゲーム理論入門～

小林佳世子 著

日本評論社

見知らぬ人に、なぜ親切にしようのか？ 自粛警察の心理とは？ なぜ人の目が気になるのか？ 最後通牒ゲームを題材に、進化心理学の考え方を使い、「経済人」ではない人間行動の原理に迫る。

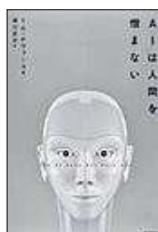
2021:6./ 6p,305p

978-4-535-55986-8

本体 ¥2,090〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10



AI は人間を憎まない

トム・チヴァース 著

飛鳥新社

AI は人類の敵か、味方か。気鋭の英国人ジャーナリストが、AI 開発のカギを握る(=人類の未来を左右する)「合理主義者」たちへの取材をもとに、人工知能の可能性と暴走リスクを徹底検証する。

2021:6./ 357p

978-4-86410-771-6

本体 ¥2,420〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10



ぼくとねこのすれちがい日記

北澤 平祐 著

ホーム社

時にすれちがい、時によりそって生きる「ぼく」と「ねこ」。ささやかな日常におきたドラマの数々を、絵日記風に色鮮やかに描く。ねこにまつわる英語のことわざも満載。WEB サイト『HB』連載を加筆し単行本化。

2021:6./ 119p

978-4-8342-5348-1

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10



モヤる言葉、ヤバイ人～自尊心を削る人から心を守る「言葉の護身術」～

アルテイシア 著

大和書房

マウンティング・セクハラ・パワハラ…。女子を困らせる「モヤる言葉」や「ヤバイ人」から身を守る「言葉の護身術」を紹介。太田啓子との対談も収録。『ウートピ』『マイナビウーマン』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2021.6./ 255p

978-4-479-77232-3

本体 ¥1,540〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10



あなたが消された未来～テクノロジーと優生思想の売り込みについて～

ジョージ・エストライク 著

みすず書房

テクノロジーが優生思想の裏口となっている現状を痛切に描き出す書。いわゆる「障害」の意味合いを、急速に発展・普及するバイオテクノロジーという文脈の中で、社会的・歴史背景と併せて考え、私たちの進むべき道を探る。

2021.5./ 304p,28p

978-4-622-09002-1

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10



小島

小山田 浩子 著

新潮社

当たり前の風景、繰り返される日々の営み。それがたしかに世界をかすかに震わせる。さまざまな場所で出会う何気ない出来事をつづさに描いた中短篇の他、広島カープと広島の人々の特別な関わりをテーマにした奇談連作も収録。

2021.4./ 345p

978-4-10-333644-0

本体 ¥2,090〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10



美しく、狂おしく～岩下志麻の女優道～(文春文庫 か 71-4)

春日 太一 著

文藝春秋

清純な娘役から悪女、鬼女、極道の妻まで、多彩なフィルモグラフィを持つ岩下志麻。結婚、出産、独立とタブーを打ち破りながら全身全霊で演じてきた、女優人生のすべてを語った濃密な一代記。文庫版特別インタビューも収録。

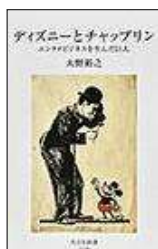
2021.6./ 335p

978-4-16-791710-4

本体 ¥880〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10



ディズニーとチャップリン～エンタメビジネスを生んだ巨人～(光文社新書 1139)

大野 裕之 著

光文社

ウォルト・ディズニーは、キャラクターの創作とストーリーの大切さ、権利の保持や配給会社との条件交渉などをチャールズ・チャップリンから学んだ。固い友情と時代に翻弄された離別…。知られざる2人の師弟関係を描く。

2021.6./ 293p

978-4-334-04547-0

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10、朝日新聞 2021/07/17、日本経済新聞 2021/07/17



彼岸花が咲く島

李 琴峰 著

文藝春秋

記憶を失くした少女・宇実が流れ着いたのは、ノロと呼ばれる指導者が統治し、男女が違う言葉を学ぶ島だった。宇実は島の少女・游娜と少年・拓慈と、この島の深い歴史に導かれていき。『文学界』掲載を単行本化。

2021.6./ 188p

978-4-16-391390-2

本体 ¥1,925〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10、朝日新聞 2021/07/31



安政コロリ流行記～幕末江戸の感染症と流言～

仮名垣 魯文／篠原 進／門脇 大 著

現代書館

未知の感染症に襲われ多くの死者を出した江戸の混乱と不安を、虚実とりまぜて活写した仮名垣魯文「安政箇労働流行記」の原文と現代語訳を収録。当時、語られた流言や怪事件の記録から近世後期の疫病観を分析した解説も併載。

2021:5./ 172p

978-4-7684-7985-8

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10、読売新聞 2021/07/18



本の力～私の絵本制作秘話～

酒井 京子 著

童心社

3年がかりで作り出した「おいしいのぼうけん」。社内の反対にあいながら出版した「14ひきのシリーズ」…。多くの絵本・紙芝居を生み出してきた編集者であり現童心社社長の著者が、傑作絵本がいかにして誕生したかを語る。

2021:6./ 125p

978-4-494-01740-9

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/07/10、日本経済新聞 2021/07/31



ベッドタイムアイズ(河出文庫)

山田詠美 著

河出書房新社

毎日新聞 2021/07/17

1987:8./ 158p

978-4-309-40197-3

本体 ¥440〔税込〕



銀河ヒッチハイク・ガイド(河出文庫)

ダグラス・アダムス 著

河出書房新社

毎日新聞 2021/07/17

2005:9./ 302p

978-4-309-46255-4

本体 ¥770〔税込〕



1%の努力

ひろゆき 著

ダイヤモンド社

「頭のいい生き方」とは-。「2ちゃんねる」を開発するなどしたインターネット第1世代の著者が、「生い立ち」「起業」「ビジネス」「これから」の話をマジメに語る。49の思考ツールも紹介。

2020:3./ 277p

978-4-478-10849-9

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



花森安治選集<1> 美しく着ることは、美しく暮すこと

花森 安治 著

暮しの手帖社

『暮しの手帖』の初代編集長・花森安治が、ペンの力で庶民の暮しをより良くしようと提言してきた散文、随筆、評論、コラムを厳選。1は、昭和21年から28年までの、服飾を中心とした著述を集成。

2020:6./ 476p

978-4-7660-0216-4

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



耳のなかの魚～翻訳=通訳をめぐる驚くべき冒険～

デイヴィッド・ベロス、松田 憲次郎 著

水声社

翻訳不可能性に抗いながら<翻訳=通訳>がなすものは何か。翻訳をめぐるさまざまな問いに真摯に取り組みながら、翻訳の多様な種類の文化的、社会的、人間的な問題について総括的な展望を提示する。

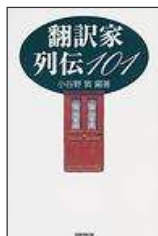
2021:5./ 347p

978-4-8010-0565-5

本体 ¥3,520〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



翻訳家列伝101

小谷野 敦 著

新書館

明治・大正期から現在まで、主要な翻訳家を101人選び出し、言語およびジャンル別において解説する。翻訳家の仕事のあらましを立体的に把握できるよう構成。意外な事実にも驚く近代日本の翻訳家列伝。

2009:11./ 289p

978-4-403-25102-3

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



伝承遊び大百科～現代アレンジで遊ぶ～

西村 誠／山口孝治／二澤善紀／榎岡義明 編

西村 誠／山口 孝治／二澤 善紀 著

昭和堂

だるまさんがころんだ、馬跳び、草花摘み、水切り…。隣近所の子どもたちが、年齢や性別を問わずに一緒になって遊んだ昔ながらの 254 種類の「伝承遊び」を、イラストとともにわかりやすく紹介する。

2021:4./ 11p,381p

978-4-8122-2028-3

本体 ¥3,850〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



花森安治選集<2> ある日本人の暮し

花森 安治 著

暮らしの手帖社

『暮らしの手帖』の初代編集長・花森安治が、ペンの力で庶民の暮らしをより良くしようと提言してきた散文、随筆、評論、コラムを厳選。2 は、連載「ある日本人の暮らし」30 編と、連載「日本紀行」3 編を収録。

2020:9./ 494p

978-4-7660-0217-1

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



なぜ、インテリジェンスは必要なのか

小林 良樹 著

慶應義塾大学出版会

インテリジェンスに理論はあるのか？ 実態はどうなっているのか？ 外交、安全保障等の問題を的確に把握するためのリテラシーを身につけ、「インテリジェンス」の理論と実践的な問題のすべてを解き明かす。

2021:6./ 10p,370p

978-4-7664-2752-3

本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



完本仏像のひみつ

山本 勉 著

朝日出版社

仏像たちにもソシキがある！ 仏像もやせたり太ったりする！ 仏像の眼は光る！ 仏像の10 のひみつをイラストや写真とともにわかりやすく解説。お寺や博物館で仏像に出会い、鑑賞するのが楽しくなる一冊。

2021:6./ 262p

978-4-255-01239-1

本体 ¥2,090〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



花森安治選集<3> ぼくらは二度とだまされない

花森 安治 著

暮しの手帖社

『暮しの手帖』の初代編集長・花森安治が、ペンの力で庶民の暮しをより良くしようと提言してきた散文、随筆、評論、コラムを厳選。3 は、「風の吹く町で」8 編のほか、『文藝春秋』『朝日新聞』掲載記事などを収録。

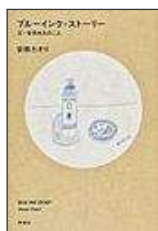
2020.11./ 482p

978-4-7660-0218-8

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



ブルーインク・ストーリー～父・安西水丸のこと～

安西 カオリ 著

新潮社

父がいなくなって世界はがらりと変わってしまったけれど、父との大切な時間を経て今の自分がある。海辺、灯台、スノードーム…。父・安西水丸の好きなもの、お気に入りの品々を眺めながら、大切な記憶を辿るエッセイ。

2021.4./ 165p

978-4-10-353951-3

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



文体練習

レーモン・クノー、朝比奈 弘治 著

朝日出版社

他愛もないひとつの出来事が、99 通りものヴァリエーションによって変幻自在に書き分けられてゆく。20 世紀フランス文学の急進的な革命を率いたクノーによる究極の言語遊戯が遂に完全翻訳された。前人未到のことば遊び。

1996.10./ 195p

978-4-255-96029-6

本体 ¥3,737〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



ママ～世界中の母のきもち～

エレヌ・デルフォルジュ 著

パイインターナショナル

あなたはブレーキではなく、私のエンジン。あなたは重荷ではなく、幸せをもたらしてくれる私のお守り。様々な立場や状況にいる世界中の女性たちの、その自ら抱く母親像への憧れや迷い、希望や苦悩を映し出した大人向け絵本。

2021.4./ 68p

978-4-7562-5444-3

本体 ¥2,640〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



習近平 父を破滅させた鄧小平への復讐～裏切りと陰謀の中国共産党建党 100 年秘史～

遠藤誉 著

ビジネス社

習近平の父・習仲勲の冤罪投獄。犯人は鄧小平だった。毛沢東から始まり習仲勲によって支えられた革命の道、文革後の権力闘争、鄧小平の野望と陰謀を描くとともに、習近平の鄧小平への「復讐の形」と国家戦略を明らかにする。

2021.3./ 399p

978-4-8284-2264-0

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/17



新型コロナ「正しく恐れる」<2> 問題の本質は何か

井上 亮 編
西村 秀一 著
藤原書店

新型コロナ発生から 1 年余。呼吸器系ウイルス感染症の第一人者が、医療資源・病床利用、ワクチンへの評価、「リスクコミュニケーション」の必要性など、新型コロナ問題への「本質的」な対策を提言する。

2021:6./ 244p
978-4-86578-316-2
本体 ¥1,980〔税込〕
* 9 7 8 4 8 6 5 7 8 3 1 6 2 *

毎日新聞 2021/07/17、産経新聞 2021/07/18



教室の片隅で青春がはじまる(BEAM COMIX)

谷口 菜津子 著
KADOKAWA

吉田まりもが主人公になれるのはいつだって一瞬だ。有名になりたいだけに、いつも空回りして、イタイ奴になってしまう。一方、宇宙人のネルは、地球で“〇〇〇がしたい”という夢があり……。でこぼこなふたりの夢は、どこへ向かう……。他にも、オタクであることを隠している子。SNSで理想の自分を演じる子。自分が特別だと信じて疑わない子。イイ男とやることで、自分の価値を確かめる子。教室には、たくさんの“秘密”があつて。隣にいるあの子のことだって、本当はわかっていなくて。大好きなあの子にだって、伝えられないことがあつて。ほんの少し窮屈で、ほんの少し愛しい関係を描く、青春オムニバス・ストーリー。

2021:6./ 256p
978-4-04-736685-5
本体 ¥924〔税込〕
* 9 7 8 4 0 4 7 3 6 6 8 5 5 *

毎日新聞 2021/07/24



子どもたちがつくる町～大阪・西成の子育て支援～

村上 靖彦 著
世界思想社

「日雇い労働者の町」と呼ばれる大阪・西成。生活保護受給率は 23%にのぼる。この町で型破りな子育て支援活動をする 5 人にインタビューし、自発的で変化に富んだセーフティーネットを紹介する。

2021:4./ 268p
978-4-7907-1753-9
本体 ¥2,750〔税込〕
* 9 7 8 4 7 9 0 7 1 7 5 3 9 *

毎日新聞 2021/07/24



嗅ぐ文学、動く言葉、感じる読書～自閉症者と小説を読む～

ラルフ・ジェームズ・サヴァリーズ 著
みすず書房

6 人の自閉症者と文学教授が、「白鯨」「アンドロイドは電気羊の夢を見るか?」などの名作をともに読んだ読書セッションの記録。自閉症者がユニークで鮮烈な読書体験をしていることを明らかにする。

2021:6./ 6p,309p,52p
978-4-622-09004-5
本体 ¥4,180〔税込〕
* 9 7 8 4 6 2 2 0 9 0 0 4 5 *

毎日新聞 2021/07/24



内臓とこころ(河出文庫 み 20-1)

三木 成夫 著
河出書房新社

「こころ」とは、内蔵された宇宙のリズムである。おねしょ、おっぱい、空腹感といった子どもの発育過程をなぞりながら、人間の中に「こころ」がかたちづくられるまでを解き明かす解剖学者の名著。

2013:3./ 207p
978-4-309-41205-4
本体 ¥858〔税込〕
* 9 7 8 4 3 0 9 4 1 2 0 5 4 *

毎日新聞 2021/07/24



＜世界史＞の哲学＜近代篇 1＞＜主体＞の誕生

大澤 真幸 著

講談社

貨幣経済の下に生きる現在のわれわれの価値観をなす概念はもとより、感受性すらも作られた近代。資本主義という宗教の二面性を、近代科学と小説という2つの言説から照らし出す。『群像』連載を単行本化。

2021.5./ 593p

978-4-06-522708-4

本体 ¥3,520〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24



新・日露異色の群像 30～文化・相互理解に尽くした人々～

長塚英雄 著

生活ジャーナル

芸術家・横山松三郎、ロシア帝国の従軍医・関餘作、モダニスト作家ボリス・ピリニャーク、ハチャトゥリヤンの唯一の日本人弟子・寺原伸夫…。日本とロシアの文化・相互理解に尽くした人々に関する論考を収録。

2021.6./ 571p

978-4-88259-175-7

本体 ¥3,080〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24



あなたにオススメの

本谷 有希子 著

講談社

身体に超小型電子機器を複数埋め込む推子にとって、オフライン志向にこだわるママ友が子育てに悩む姿は最高のエンターテインメントで…。「推子のデフォルト」と「マイイベント」を収録。『群像』掲載を書籍化。

2021.6./ 254p

978-4-06-523526-3

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24



エルサレム

ゴンサロ・M・タヴァレス 著

河出書房新社

死病を患うミリアは痛みのあまり通りへ飛び出した。時を同じくして自殺しようと窓から身を乗り出すミリアの元恋人、娼婦を求めてさまよう精神科医の元夫…。彼らの暗い運命は、精神病院の記憶につながっていく。

2021.5./ 264p

978-4-309-20828-2

本体 ¥3,245〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24



和田誠のたね～ISSUE～

和田 誠 著

スイッチ・パブリッシング

グラフィックデザイン、イラストレーション、タイポグラフィ、そしてシネマ、エッセイと、和田誠の多岐にわたる作品たちは、いかにして生まれたのか。少年時代の作品とロングインタビューから、和田誠の過去に迫る。

2021.7./ 159p

978-4-88418-564-0

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24



資本主義だけ残った～世界を制するシステムの未来～

ブランコ・ミラノヴィッチ 著

みすず書房

21世紀のグローバル化した資本主義の特徴が、格差と腐敗の拡大にあることを喝破。また、その拡大のメカニズムを、米国に代表されるリベラル能力資本主義と、中国に代表される政治的資本主義の2つの体制ごとに解き明かす。

2021.6./ 289p, 49p

978-4-622-09003-8

本体 ¥3,960〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24



姉の島

村田喜代子 著

朝日新聞出版

85 歳超えの退役海女たちは、後進の若者のために潜った海の家図作成に余念がない。天皇海山列、春の七草海山、海底につきささる潜水艦…。老女と潜水艦の異色冒険小説。『小説トリッパー』連載を改題、加筆修正し単行本化。

2021:6./ 242p

978-4-02-251762-3

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24



なぜ世界を知るべきなのか(小学館 YouthBooks)

池上 彰 著

小学館

多様な文化、多様な思考、多様な生き方。日本にいただけでは決して持ち得ない視点を持てたら、誰でも必ず成長する。世界を旅してきた池上彰が若者に、コロナ禍で内向き志向になっている今こそ世界に目を向けようと伝える。

2021:7./ 207p

978-4-09-227285-9

本体 ¥990〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24



清六の戦争～ある従軍記者の軌跡～

伊藤 絵理子 著

毎日新聞出版

太平洋戦争末期、爆撃下の洞窟で新聞を作り続けた東京日日新聞の従軍記者、伊藤清六。日米激戦のさなか新聞は何を伝え何を伝えなかったか。最期の時まで新聞を作り続けたひとりの記者の足跡を、75 年後その子孫がたどる。

2021:6./ 190p

978-4-620-32686-3

本体 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2021/07/24、朝日新聞 2021/07/31



毒姫<下> 愛蔵版(Nemuki+コミックス)

三原ミツカズ 著

朝日新聞出版

敵国と旧王族たちの罠に落ち同盟国イスキアに攻めこまれたグランドル王国。愛する人を見つけた毒姫リコリスが選択する道とは…。ロリータ少女達にいまなお愛される、毒と共に生きる可憐な毒姫リコリスの生涯。完結編。

2021:3./ 410p

978-4-02-214323-5

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/31



毒姫<上> 愛蔵版(Nemuki+コミックス)

三原ミツカズ 著

朝日新聞出版

毒と共に生きる可憐な毒姫の生涯——。赤子の頃から食事と一緒に毒を体内に取り込み、すべての体液を猛毒化した“毒姫”と呼ばれる美しい少女達。毒姫リコリスが送り込まれたグランドル王国の三つ子の王子達は秘密を持っていた。“忌み子”と称される王子は一体誰なのか!? 王子たちの葛藤と、王を暗殺するため送り込まれた寵姫・毒姫リコリスの生涯を描く、ドラマチック・ストーリー。

2021:3./ 491p

978-4-02-214322-8

本体 ¥1,980〔税込〕



毎日新聞 2021/07/31



ベルリン・オリンピック1936～ナチの競技～

デイヴィッド・クレイ・ラージ、高儀 進 著

白水社

独裁体制下における「平和の祭典」の全貌?。各国の思惑とボイコット運動、ユダヤ人や黒人への迫害、各競技の様子など、「スポーツと政治」の癒着を歴史的に徹底検証する。

毎日新聞 2021/07/31

2008/7./ 542p

978-4-560-03188-9

本体 ¥3,850〔税込〕



他者の靴を履く～アナーキック・エンパシーのすすめ～

ブレイディ みかこ 著

文藝春秋

意見の異なる相手を理解する知的能力「エンパシー」をめぐる思索の旅。“負債道徳”からジェンダーロールまで、現代社会の様々な思い込みを解き放つ。『文藝界』連載を単行本化。

毎日新聞 2021/07/31

2021/6./ 302p

978-4-16-391392-6

本体 ¥1,595〔税込〕



オリンピア～遺跡・祭典・競技～(ちくま学芸文庫 ム 10-1)

村川 堅太郎 著

筑摩書房

ゼウス神へ献ずる宗教儀礼=オリンピア祭はいかにして始まり、そこでの競技とはどのようなものであったのか。オリンピアの発掘史と遺跡の概要を述べ、興味深い逸話を交えつつ競技祭典の実像に迫る。

毎日新聞 2021/07/31

2020/6./ 247p

978-4-480-09988-4

本体 ¥1,100〔税込〕



花岡の心を受け継ぐ～大館市が中国人犠牲者を慰霊し続ける理由～

池田 香代子 著

かもがわ出版

戦争末期の中国人強制連行、強制労働事例の中のひとつ、花岡事件。地元では 70 年以上にわたって自治体主宰の中国人慰霊式が行われている。保革を超えて自治体が慰霊してきた理由を、関係者の証言で綴る。

毎日新聞 2021/07/31

2021/7./ 221p, 18p

978-4-7803-1168-6

本体 ¥1,980〔税込〕



生きのびるための流域思考(ちくまプリマー新書 378)

岸 由二 著

筑摩書房

水土砂災害は、豪雨ではなく、「流域」という地形や生態系が引き起こす現象。流域の基本構造や水循環機能、鶴見川流域の総合治水などを紹介し、流域思考の治水や自然保護、持続的な未来づくりについて考える。

毎日新聞 2021/07/31

2021/7./ 230p

978-4-480-68405-9

本体 ¥946〔税込〕



戦前昭和の猟奇事件(文春新書 1318)

小池 新 著

文藝春秋

「チフス菌馒头殺人」「津山三十人殺し」「翠川秋子の心中」「阿部定」…。日本中を戦慄させた猟奇事件を、戦前昭和の人々はどう受け止めたのか、新聞報道を中心に紹介する。『文春オンライン』掲載を書籍化。

毎日新聞 2021/07/31

2021/6./ 253p

978-4-16-661318-2

本体 ¥968〔税込〕





言語学バーリ・トウード<Round1> AI は「絶対に押すなよ」を理解できるか

川添 愛 著

東京大学出版会

ラッシャー木村の「こんばんは」になぜファンはズッコケたのか。AI は「絶対に押すなよ」を理解できるか。日常にある言語学的话题を、ユーモアあふれる巧みな文章で綴る。『UP』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2021/7/ 5p,210p

978-4-13-084101-6

本体 ¥1,870〔税込〕



毎日新聞 2021/07/31



究極の俳句(中公選書 118)

高柳 克弘 著

中央公論新社

俳人とは、疑りぶかい言葉の化学者。俳諧を芸術へと高めた芭蕉以降の数々の名句を味わいながら、その根底にはつねに、常識への批評精神にもとづく新しい価値の創造があったことを明らかにする。創見に満ちた俳句論。

2021/5/ 206p

978-4-12-110118-1

本体 ¥1,760〔税込〕



毎日新聞 2021/07/31



オリンピックという名の虚構〜政治・教育・ジェンダーの視点から〜

ヘレン・ジェファーソン・レンスキー 著

晃洋書房

オリンピックで得をしているのはだれか？ 歓喜や希望の水面下にうごめく政治的、経済的思惑を暴き、若者の教育やジェンダーなど人権的な視点からも鋭く切り込むことで、これからのスポーツメガイイベントのあり方を問う。

2021/3/

21p,219p,42p

978-4-7710-3446-4

本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/07/31



移り棲む美術〜ジャポニスム、コラン、日本近代洋画〜

三浦 篤 著

名古屋大学出版会

日本から西洋へ、西洋から日本へと海を越えた芸術の種子はどのように移動・変容・開花したのか。ジャポニスムの多面的展開から近代洋画の創出まで、フランスを中心に一望し、選択的な交雑による新たな芸術史を描きだす。

2021/2/

8p,460p,100p

978-4-8158-1016-0

本体 ¥6,380〔税込〕



毎日新聞 2021/07/31



酸素同位体比年輪年代法〜先史・古代の暦年と天候を編む〜

中塚 武 著

同成社

出土材等の年輪を分析し、暦年代の解明や過去の気候変動の復元に大きな成果をあげている酸素同位体比年輪年代法。近年、多様な分野と連携しながら、日本で急速に発展してきた同法の基礎と応用事例をわかりやすく解説する。

2021/6/ 6p,219p

978-4-88621-867-4

本体 ¥2,970〔税込〕



毎日新聞 2021/07/31



両義の表現

李禹煥 著

みすず書房

作ることと作らざるものの関係を問う「もの派」運動から半世紀。AI と新型コロナによって世界に大きな変化がもたらされたその先に、表現は、芸術と人間の在りようはどうなるのか。常に書き続けてきた著者の 68 の文章を収録。

2021/5/ 5p,341p

978-4-622-09014-4

本体 ¥5,280〔税込〕



毎日新聞 2021/07/31